

平成 26 年度
「まちづくりのための市民アンケート調査」
報告書

平成 26 年 8 月

座間市企画財政部企画政策課

目 次

1	調査の概要	1
	(1) 調査の目的	1
	(2) 調査仕様	1
	(3) 回収結果	1
	(4) 調査票の概要	1
2	回答件数属性別集計	4
	(1) 性別	4
	(2) 年齢別	4
	(3) 居住年数別	4
	(4) 居住地域別	5
3	調査結果の概要	6
	(1) 各施策の関心度について	6
	(2) 施策の重要性について	9
	(3) 最重要課題についての重点目標（戦略プロジェクト）について	11
4	施策ごとの結果	13
政策1	笑顔あふれる 健やかなまち	14
	1. 健康づくり	14
	2. 保健衛生	16
	3. スポーツ・レクリエーション	18
	4. 医療体制	20
	5. 国民健康保険	22
	6. 介護保険	24
政策2	支え合い 思いやりに満ちた やすらぎのまち	26
	7. 地域・高齢者福祉	26
	8. 障がい者福祉	28
	9. 保育対策	30
	10. 子育て支援	32
	11. 生活困窮対策	34
政策3	共に考え 共に歩む 安心のまち	36
	12. 市政広報	36
	13. 市民生活・広聴	38
	14. 男女共同参画	40
	15. 人権・平和	42
	16. NPO・ボランティア活動	44
	17. コミュニティ活動	46
	18. 市民参画	48
	19. 国内外交流	50
	20. 窓口サービス	52

21. 交通安全.....	54
22. 防犯.....	56
23. 防災・減災.....	58
24. 消防.....	60
政策4 のびやかに 豊かな心 はぐくむまち.....	62
25. 教育環境.....	62
26. 学校保健.....	64
27. 教育活動.....	66
28. 生涯学習.....	68
29. 市民文化.....	70
30. 青少年育成.....	72
政策5 暮らし快適 魅力あるまち.....	74
31. 公共交通.....	74
32. まちづくり.....	76
33. 景観形成.....	78
34. 公園・広場・緑地.....	80
35. 道路.....	82
36. 住宅環境.....	84
37. 基地対策.....	86
政策6 きよらかな水 大切に守るまち.....	88
38. 上水道.....	88
39. 下水道.....	90
政策7 地球にやさしい 活力あるまち.....	92
40. 環境保全.....	92
41. 湧水・地下水保全.....	96
42. 資源循環社会.....	98
43. 農業.....	100
44. 商・工業.....	102
45. 観光.....	104
政策8 未来志向 柔軟な発想 確かな行政経営.....	106
46. 戦略経営.....	106
47. 財政運営.....	108
48. 賦課・徴収.....	110
政策9 市民起点 的確な判断と行動 信頼される行政運営.....	112
49. 職員育成.....	112
50. 法務・情報公開.....	114
51. 電子自治体.....	116
52. 財務・財産管理.....	118
5 アンケート調査票.....	121

1 調査の概要

(1) 調査の目的

市では、目指すまちの姿を「ともに織りなす 活力と個性 きらめくまち」として、平成23年度から10年間を計画期間とした「第四次座間市総合計画」を策定しました。

この計画の実現に向け、現在、行政評価システムを活用した効率的で有効性の高い行政運営に努めており、今後も、市民と行政が「協働」のもとに取り組むことがますます重要になると考えています。

本アンケート調査は、外部評価の一環として行うもので、市民の生活者としての視点から、市の取組みに対する成果について調査し、総合計画の着実な進捗を図ろうとするものです。また、平成27年度から4年間、新たに取り組む戦略プロジェクトについて計画立案の参考として活用します。

(2) 調査仕様

- | | |
|--------------------|--------------------|
| ① 調査地域 | 座間市全域 |
| ② 調査対象 | 座間市内在住の満15歳以上の男女個人 |
| ③ 対象者数 | 4,000人 |
| ④ 抽出方法 | 住民登録から無作為抽出 |
| ⑤ 調査方法 | 郵送配付、郵送回収 |
| ⑥ 調査期間 | 平成26年4月26日～5月30日 |
| ⑦ 調査基準日（住民基本台帳抽出日） | 平成26年4月1日 |

(3) 回収結果

- | | |
|---------|---------------------|
| ① 標本数 | 3,988件 |
| ② 回収数 | 1,391票（回収率 34.9%） |
| ③ 有効回収数 | 1,380票（有効回収率 34.6%） |

(4) 調査票の概要

調査票の設問は、「第四次座間市総合計画」と「戦略プロジェクト」について、①各施策への関心度、②各施策を実現するための主体、③施策の重要性、④まちづくり指標の達成度、⑤戦略プロジェクトの重要性、⑥属性、として構成しています（詳しくは巻末記載のアンケート調査票をご覧ください）。

なお、施策とは総合計画において体系化している52の市政推進分野です。

① 施策への関心度

各施策について、「あなたは『〇〇〇』の施策について関心がありますか？」という設問で、市民の方々の関心の分布を調査しています。

② 各施策を実現するための主体

各施策について、『〇〇〇』の実現において、もっとも重要な役割を果たすべきとあなたが考えるものを選んでください。」という設問で、回答選択肢を「市、国・県、企業・NPO等、市民、関係団体」とし、施策の実現において重要となる主体をどのように考えているのかを調査しています。

③ 施策の重要性

52の施策について充実してほしい施策を5つまで選んでいただき、施策の重要性を調査しています。

④ まちづくり指標の達成度など

まちづくり指標とは、「第四次座間市総合計画」において、それぞれの施策で達成したい「目指す姿」を、成果がわかるような数値目標として表したものです。本調査ではそのうち、市の行政活動への評価などのアンケート調査による指標について設問しています。

また、指標以外にも、今後の計画に必要な実態把握のための設問が一部あります。

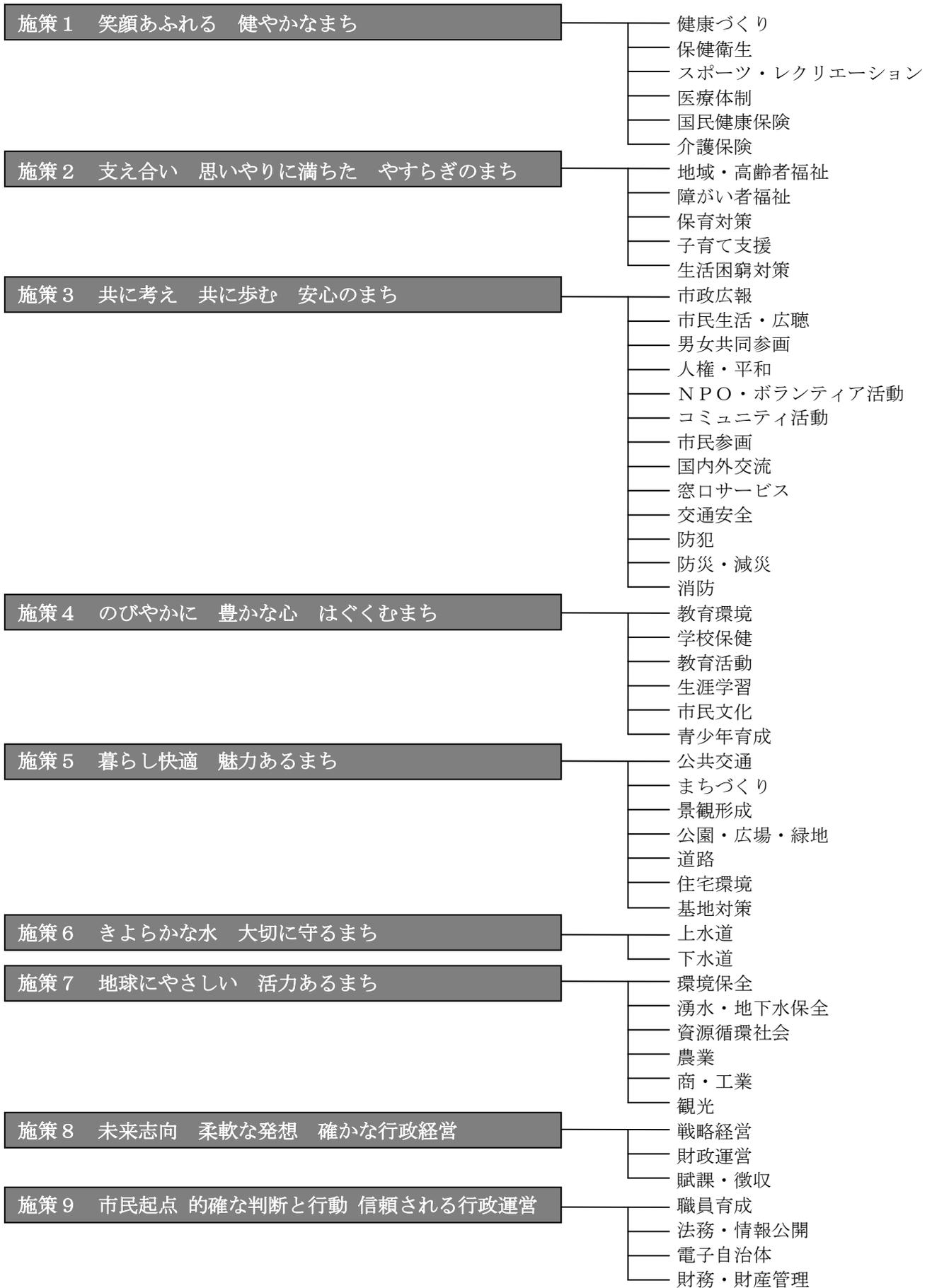
⑤ 戦略プロジェクトの重要性

戦略プロジェクトとは、市政上の最重要課題を中心に戦略目標として掲げ、その達成のための具体的な取組みを明確にするものです。市民が市政に取り組みを期待する重点目標について、充実してほしい分野を2つ選んでいただき、各戦略プロジェクトの重要性を調査しています。

⑥ 属性

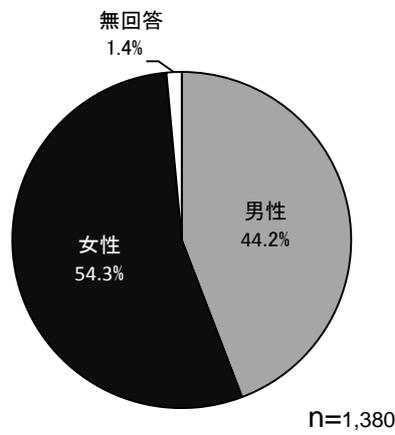
性別、年齢、居住期間、地区の4項目について設問をしています。

座間市の総合計画施策体系図

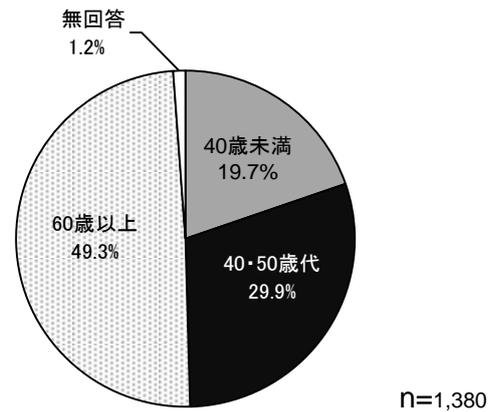
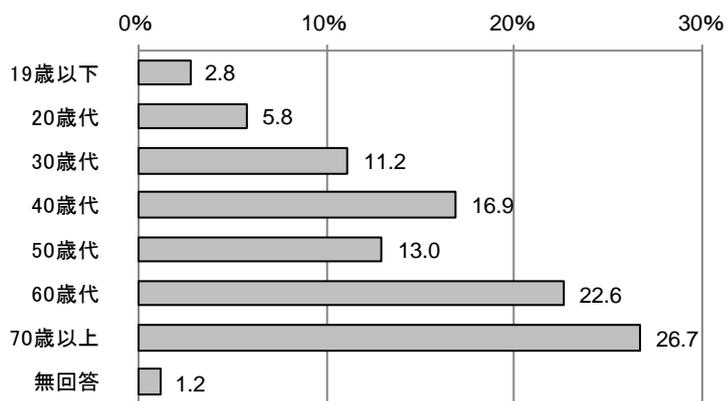


2 回答件数属性別集計

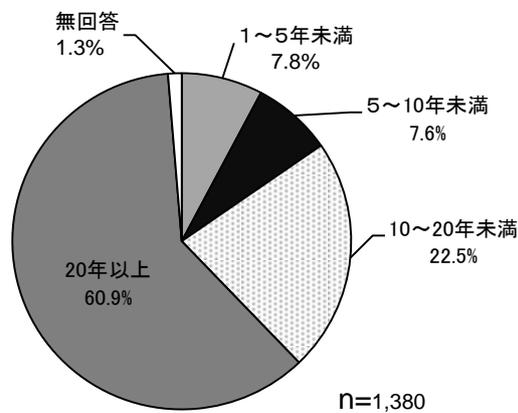
(1) 性別



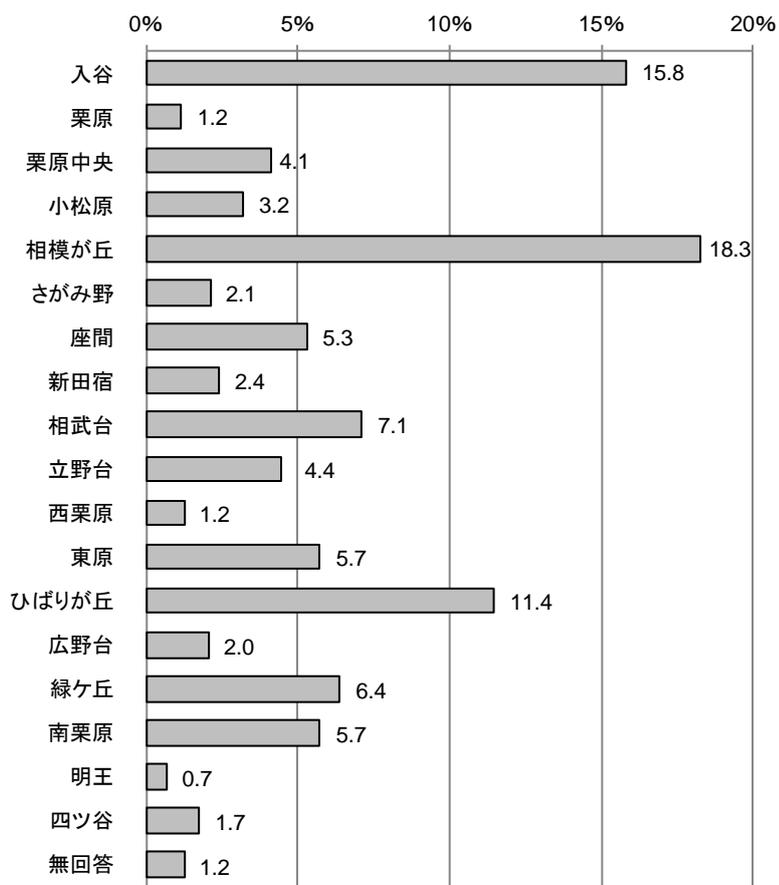
(2) 年齢別



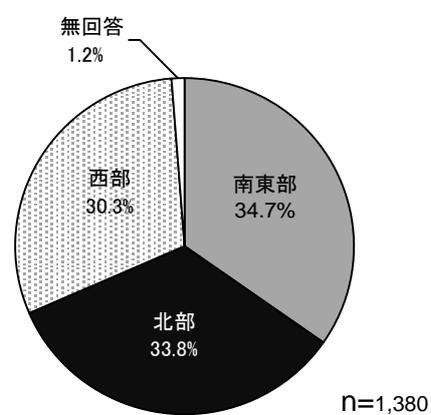
(3) 居住年数別



(4) 居住地域別



n=1,380



n=1,380

注) 地域区分 南東部：栗原、栗原中央、小松原、さがみ野、西栗原、東原、ひばりが丘、南栗原
 北 部：相模が丘、相武台、広野台、緑ヶ丘
 西 部：入谷、座間、新田宿、立野台、明王、四ツ谷

3 調査結果の概要

(1) 各施策の関心度について

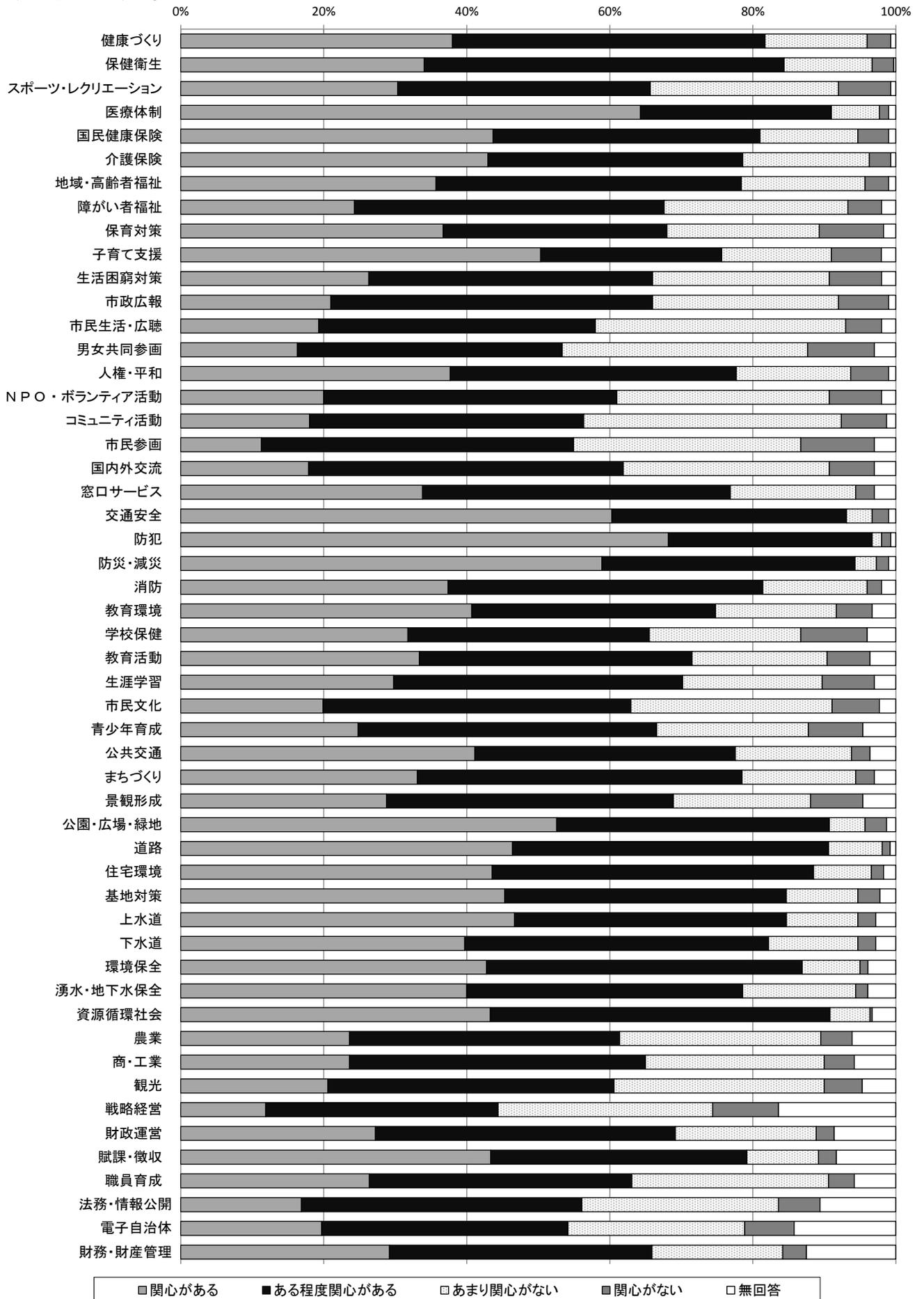
① 関心度の順位 ※関心度は「関心がある」「ある程度関心がある」の回答割合を合計したもの

順位	施策名称	関心度	関心がある (%)	ある程度関心がある (%)	あまり関心がない (%)	関心がない (%)	無回答 (%)
1	防犯	96.7	68.2	28.5	1.3	1.3	0.7
2	防災・減災	94.3	58.9	35.4	3.0	1.7	1.0
3	交通安全	93.1	60.3	32.8	3.6	2.3	1.0
4	医療体制	91.0	64.3	26.7	6.7	1.3	1.0
5	資源循環社会	90.8	43.3	47.5	5.6	0.3	3.3
6	公園・広場・緑地	90.7	52.6	38.1	5.0	3.0	1.3
7	道路	90.6	46.4	44.2	7.5	1.1	0.8
8	住宅環境	88.6	43.6	45.0	8.1	1.7	1.7
9	環境保全	87.0	42.8	44.2	8.1	1.1	3.9
10	上水道	84.8	46.7	38.1	10.0	2.5	2.8
11	基地対策	84.7	45.3	39.4	10.0	3.1	2.2
12	保健衛生	84.3	34.0	50.3	12.3	3.0	0.3
13	下水道	82.2	39.7	42.5	12.5	2.5	2.8
14	健康づくり	81.7	38.0	43.7	14.3	3.3	0.7
15	消防	81.4	37.4	44.0	14.6	2.0	2.0
16	国民健康保険	81.0	43.7	37.3	13.7	4.3	1.0
17	賦課・徴収	79.1	43.3	35.8	10.0	2.5	8.3
18	介護保険	78.7	43.0	35.7	17.7	3.0	0.7
19	湧水・地下水保全	78.6	40.0	38.6	15.8	1.7	3.9
20	まちづくり	78.5	33.1	45.4	15.9	2.6	3.0
21	地域・高齢者福祉	78.4	35.7	42.7	17.3	3.3	1.0
22	人権・平和	77.7	37.7	40.0	16.0	5.3	1.0
23	公共交通	77.5	41.1	36.4	16.2	2.6	3.6
24	窓口サービス	76.8	33.8	43.0	17.5	2.6	3.0
25	子育て支援	75.6	50.3	25.3	15.3	7.0	2.0
26	教育環境	74.8	40.7	34.1	16.9	5.0	3.3
27	教育活動	71.5	33.4	38.1	18.9	6.0	3.6
28	生涯学習	70.2	29.8	40.4	19.5	7.3	3.0
29	財政運営	69.1	27.2	41.9	19.7	2.5	8.6
30	景観形成	68.9	28.8	40.1	19.2	7.3	4.6
31	保育対策	68.0	36.7	31.3	21.3	9.0	1.7
32	障がい者福祉	67.6	24.3	43.3	25.7	4.7	2.0
33	青少年育成	66.5	24.8	41.7	21.2	7.6	4.6
34	生活困窮対策	66.0	26.3	39.7	24.7	7.3	2.0
35	市政広報	66.0	21.0	45.0	26.0	7.0	1.0
36	財務・財産管理	65.9	29.2	36.7	18.3	3.3	12.5
37	学校保健	65.6	31.8	33.8	21.2	9.3	4.0
38	スポーツ・レクリエーション	65.6	30.3	35.3	26.3	7.3	0.7
39	商・工業	65.0	23.6	41.4	25.0	4.2	5.8
40	職員育成	63.1	26.4	36.7	27.5	3.6	5.8
41	市民文化	62.9	19.9	43.0	28.1	6.6	2.3
42	国内外交流	61.9	17.9	44.0	28.8	6.3	3.0
43	農業	61.4	23.6	37.8	28.1	4.4	6.1
44	NPO・ボランティア活動	61.0	20.0	41.0	29.7	7.3	2.0
45	観光	60.6	20.6	40.0	29.4	5.3	4.7
46	市民生活・広聴	58.0	19.3	38.7	35.0	5.0	2.0
47	コミュニティ活動	56.3	18.0	38.3	36.0	6.3	1.3
48	法務・情報公開	56.1	16.9	39.2	27.5	5.8	10.6
49	市民参画	55.0	11.3	43.7	31.8	10.3	3.0
50	電子自治体	54.1	19.7	34.4	24.7	6.9	14.2
51	男女共同参画	53.3	16.3	37.0	34.3	9.3	3.0
52	戦略経営	44.4	11.9	32.5	30.0	9.2	16.4

② 属性別の関心度上位

	属性別	1位	2位	3位
性別	男性	防犯	道路	防災・減災
	女性	防犯	防災・減災	交通安全
年齢	40歳未満	防犯	交通安全	防災・減災
	40・50歳代	防犯	資源循環社会	防災・減災
	60歳以上	防犯	防災・減災	国民健康保険
居住地域	南東部 (栗原、栗原中央、小松原、さがみ野、西栗原、東原、ひばりが丘、南栗原)	防犯	防災・減災	交通安全
	北部 (相模が丘、相武台、広野台、緑ヶ丘)	防犯	防災・減災	交通安全
	西部 (入谷、座間、新田宿、立野台、明王、四ツ谷)	防犯	交通安全	防災・減災

③ 関心度の結果一覧



(2) 施策の重要性について

① 全体の順位

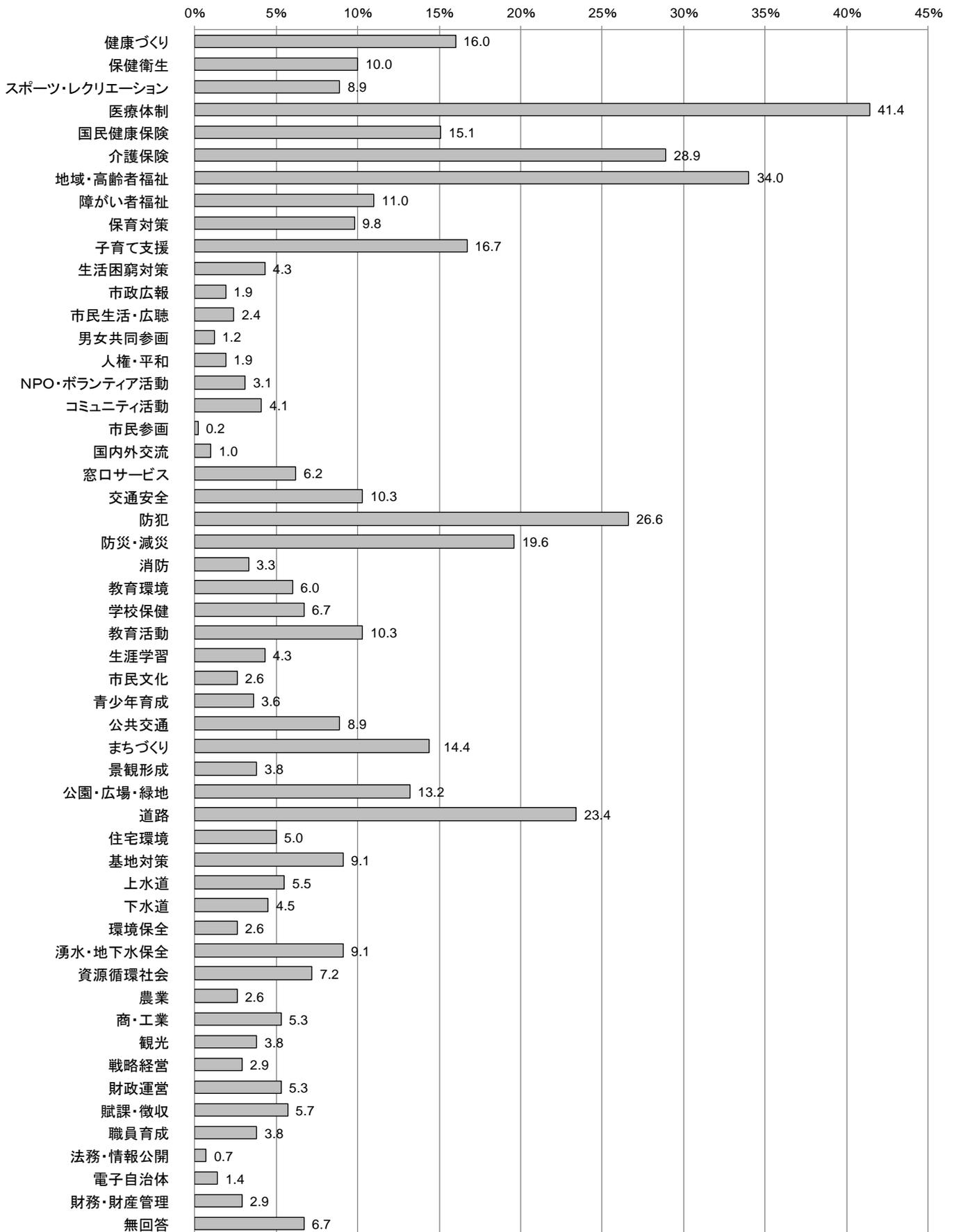
順位	施策名称	(%)
1	医療体制	41.4
2	地域・高齢者福祉	34.0
3	介護保険	28.9
4	防犯	26.6
5	道路	23.4
6	防災・減災	19.6
7	子育て支援	16.7
8	健康づくり	16.0
9	国民健康保険	15.1
10	まちづくり	14.4
11	公園・広場・緑地	13.2
12	障がい者福祉	11.0
13	交通安全	10.3
13	教育活動	10.3
15	保健衛生	10.0
16	保育対策	9.8
17	基地対策	9.1
17	湧水・地下水保全	9.1
19	スポーツ・レクリエーション	8.9
19	公共交通	8.9
21	資源循環社会	7.2
22	学校保健	6.7
23	窓口サービス	6.2
24	教育環境	6.0
25	賦課・徴収	5.7
26	上水道	5.5

順位	施策名称	(%)
27	商・工業	5.3
27	財政運営	5.3
29	住宅環境	5.0
30	下水道	4.5
31	生活困窮対策	4.3
31	生涯学習	4.3
33	コミュニティ活動	4.1
34	景観形成	3.8
34	観光	3.8
34	職員育成	3.8
37	青少年育成	3.6
38	消防	3.3
39	NPO・ボランティア活動	3.1
40	戦略経営	2.9
40	財務・財産管理	2.9
42	市民文化	2.6
42	環境保全	2.6
42	農業	2.6
45	市民生活・広聴	2.4
46	市政広報	1.9
46	人権・平和	1.9
48	電子自治体	1.4
49	男女共同参画	1.2
50	国内外交流	1.0
51	法務・情報公開	0.7
52	市民参画	0.2

② 属性別の重要性上位 ※同率1位の施策分野がある場合、2位は未記載

	属性別	1位	2位	3位
性別	男性	医療体制 地域・高齢者福祉	-	防犯
	女性	医療体制	地域・高齢者福祉	介護保険
年齢	40歳未満	医療体制	子育て支援	保育対策
	40・50歳代	医療体制	道路	防犯
	60歳以上	地域・高齢者福祉	医療体制	介護保険
居住地域	南東部 (栗原、栗原中央、小松原、さがみ野、西栗原、東原、ひばりが丘、南栗原)	医療体制	地域・高齢者福祉	介護保険 防犯
	北部 (相模が丘、相武台、広野台、緑ヶ丘)	地域・高齢者福祉	医療体制	道路
	西部 (入谷、座間、新田宿、立野台、明王、四ツ谷)	医療体制	介護保険	地域・高齢者福祉

③ 施策の重要性についての結果一覧



(3) 最重要課題についての重点目標（戦略プロジェクト）について

① 戦略プロジェクトの重要性についての結果

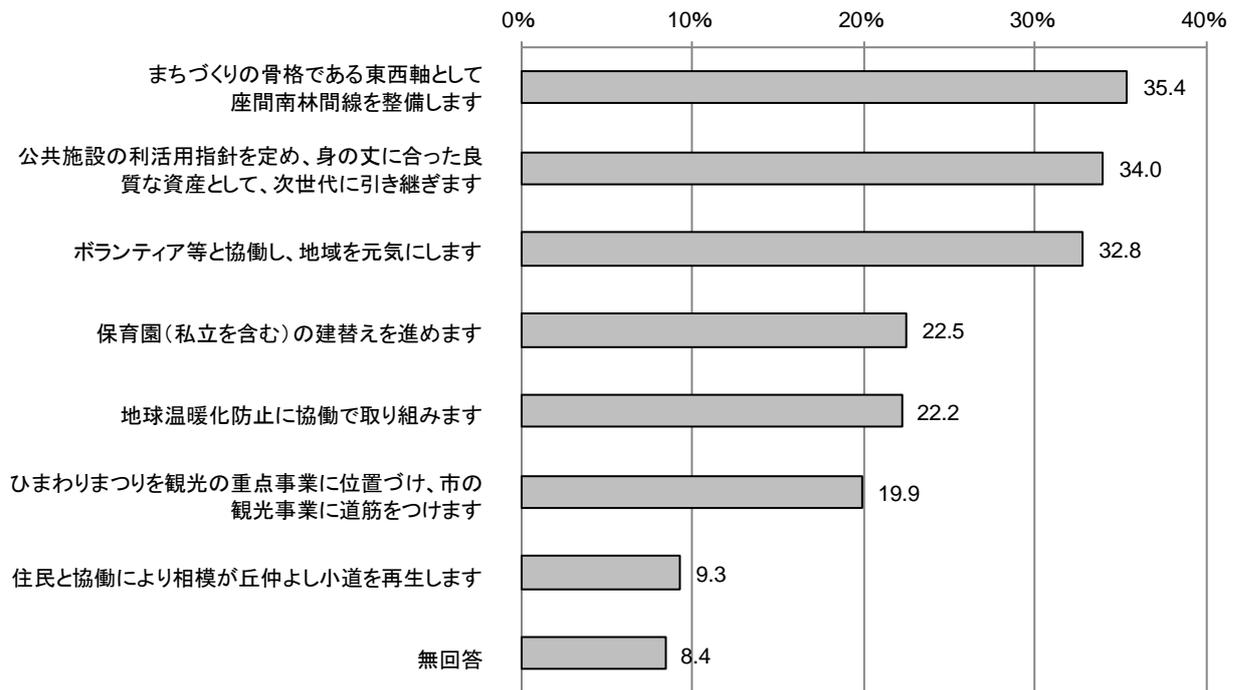
(%)

		地域を元気にします	保育園（私立を含む）の建替えを進めます	地球温暖化防止に協働で取り組みます	住民と協働を再生し相模が丘	光点事業に道筋をつけ、市の観光事業に位置づけ、観光の重	ひまわりまつりを観光の重	資産として、次世代に引き	公共施設の活用指針を定	整備します	西軸として座間南林間線を東	まちづくりの骨格である東	無回答
全体		32.8	22.5	22.2	9.3	19.9	34.0	35.4	8.4				
性別	男性	29.5	25.4	19.2	7.3	16.6	35.8	41.5	8.3				
	女性	37.4	20.1	23.8	11.7	23.8	31.3	31.3	7.0				
年齢	40歳未満	10.9	45.5	12.7	16.4	34.5	23.6	32.7	5.5				
	40・50歳代	34.4	17.8	22.2	8.9	21.1	46.7	38.9	2.2				
	60歳以上	37.2	19.7	23.8	8.2	16.7	31.6	35.3	10.4				
居住地域	南東部 (栗原、栗原中央、小松原、さがみ野、西栗原、東原、ひばりが丘、南栗原)	31.9	24.6	19.6	1.4	23.9	38.4	43.5	6.5				
	北部 (相模が丘、相武台、広野台、緑ヶ丘)	32.0	23.1	17.7	21.1	12.9	32.7	33.3	9.5				
	西部 (入谷、座間、新田宿、立野台、明王、四ツ谷)	35.9	20.3	28.9	4.7	24.2	29.7	30.5	7.8				

② 属性ごとの戦略プロジェクト重要性1位

		属性別	1位
性別	男性		・まちづくりの骨格である東西軸として座間南林間線を整備します
	女性		・ボランティア等と協働し、地域を元気にします
年齢	40歳未満		・保育園（私立を含む）の建替えを進めます
	40・50歳代		・公共施設の利活用指針を定め、身の丈に合った良質な資産として、次世代に引き継ぎます
	60歳以上		・ボランティア等と協働し、地域を元気にします
居住地域	南東部 (栗原、栗原中央、小松原、さがみ野、西栗原、東原、ひばりが丘、南栗原)		・まちづくりの骨格である東西軸として座間南林間線を整備します
	北部 (相模が丘、相武台、広野台、緑ヶ丘)		・まちづくりの骨格である東西軸として座間南林間線を整備します
	西部 (入谷、座間、新田宿、立野台、明王、四ツ谷)		・ボランティア等と協働し、地域を元気にします

③ 戦略プロジェクトの重要性についての結果一覧



4 施策ごとの結果

政策 1 笑顔あふれる 健やかなまち

1. 健康づくり

■目指す姿

市民一人ひとりが、運動習慣を持ち、健全な食生活を実践するなど、健康に関する取組を実践し健やかな生活を営んでいます。

■施策の方向

- 健康づくり事業の啓発
- 母子保健の充実
- 生活習慣病予防対策
- 市民健康センターの運営
- 関係団体の育成

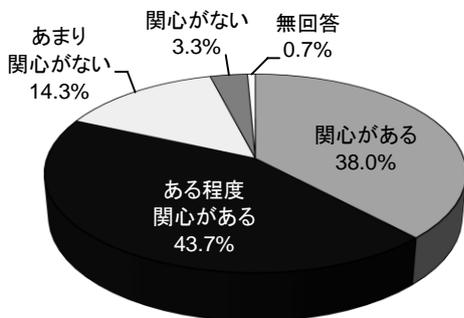
アンケート結果の概要

- ・ 関心度は高く、重要性は非常に高くなっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市民が4割を超え、市が3割台となっています。
- ・ 運動習慣がある人は全体で3割程度となっており、年齢別では60歳以上で高い割合となっています。

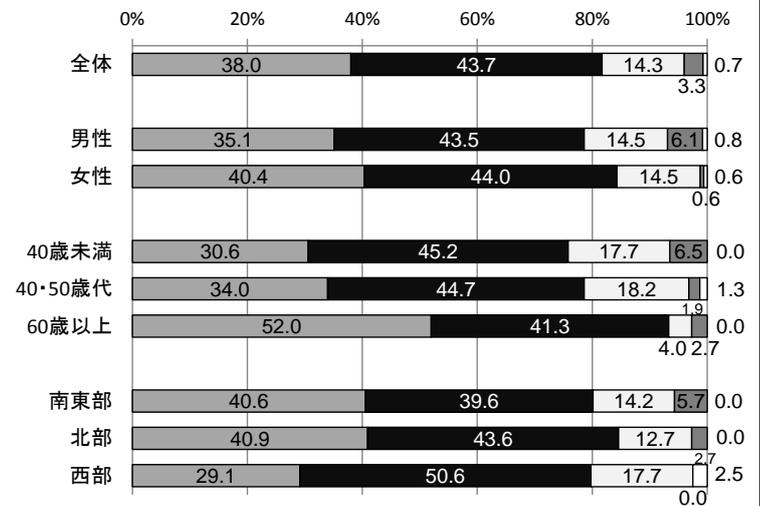
関心度

◇「健康づくり」への関心の有無

<全体>



<属性別>

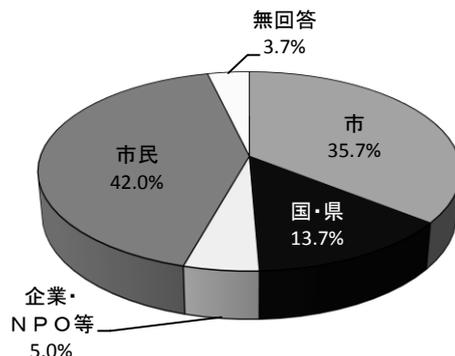


□関心がある ■ある程度関心がある □あまり関心がない ■関心がない □無回答

実現するための主体

◇「健康づくり」の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



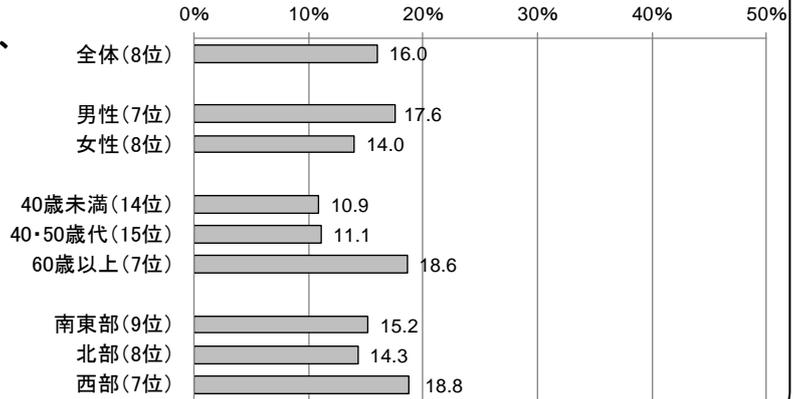
重要性

◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、充実してほしい施策として「健康づくり」を選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

「健康づくり」 52施策中8位 (16.0%)

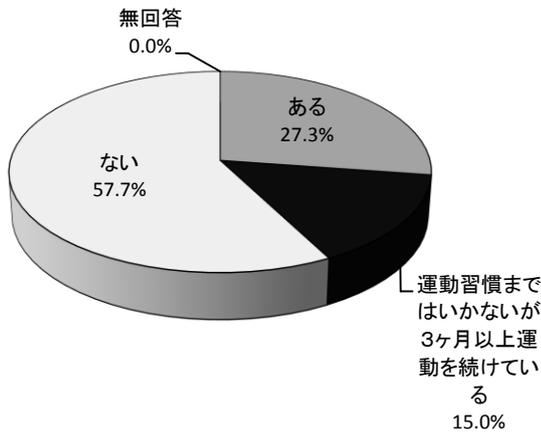
<属性別>



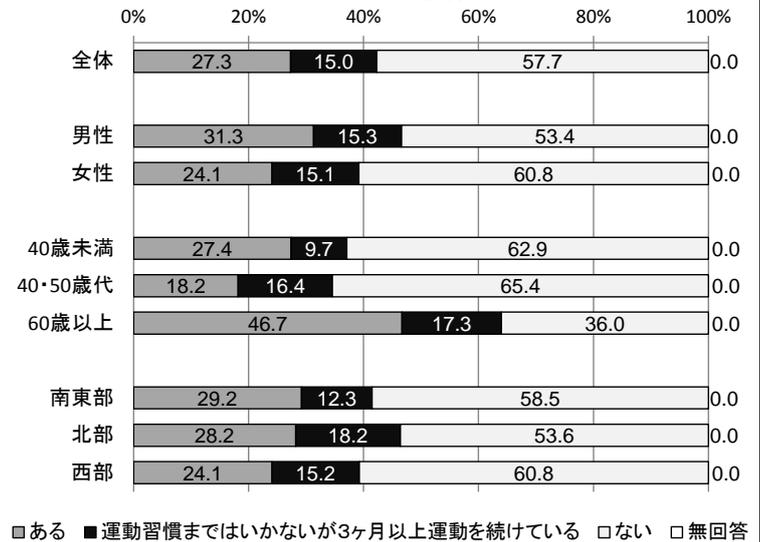
まちづくり指標の達成度

◇運動習慣（1回30分、週2回、1年以上運動を継続している）を持つ市民の割合

<全体>

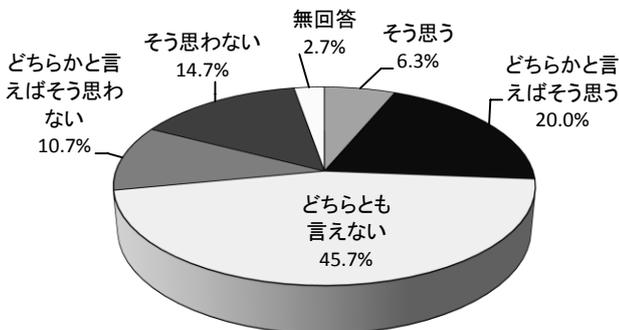


<属性別>

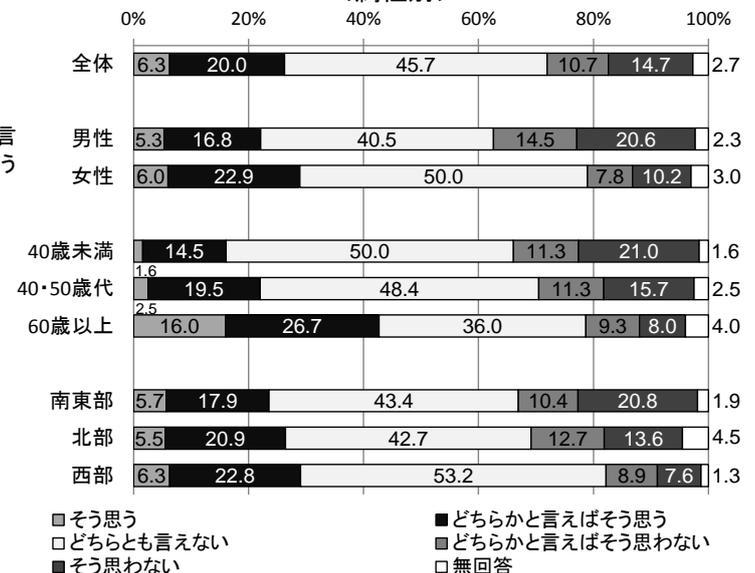


◇健康づくりのイベントや健康教育の実施などにより、運動習慣を持つ人が多くなってきていると思う市民の割合

<全体>



<属性別>



2. 保健衛生

■目指す姿

市民は、新型インフルエンザなど新興感染症に対する正しい知識を持ち、市による予防体制やライフラインの確保について理解を深め、保健衛生の向上の中で、安心して生活を営んでいます。

■施策の方向

- 予防接種の推進
- 感染症の知識普及
- 感染症の医療体制の構築
- 食中毒予防運動の推進
- 動物愛護思想の啓発
- 献血の推進
- 広域大和斎場の管理運営
- 薬物乱用防止
- 衛生環境の保全

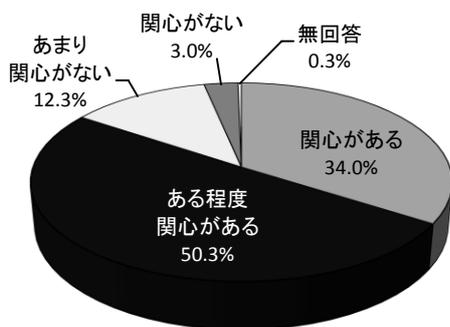
アンケート結果の概要

- ・ 関心度、重要性ともに高い施策となっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、国・県と市がそれぞれ4割程度となっています。
- ・ 感染症対策の認知度は8割程度であり、市で必要な感染症対策が行われてきていると思う人は4割程度です。

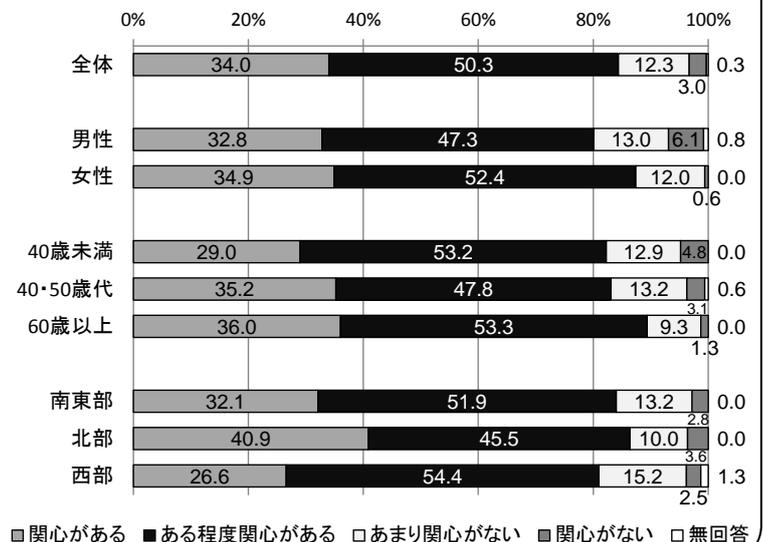
関心度

◇「保健衛生」への関心の有無

<全体>



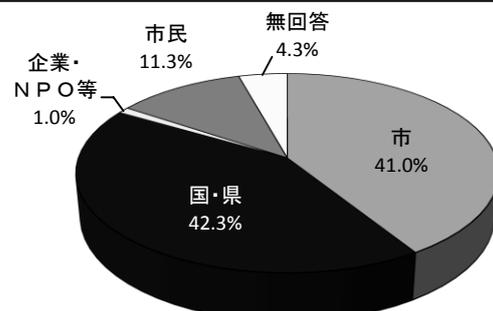
<属性別>



実現するための主体

◇「保健衛生」の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

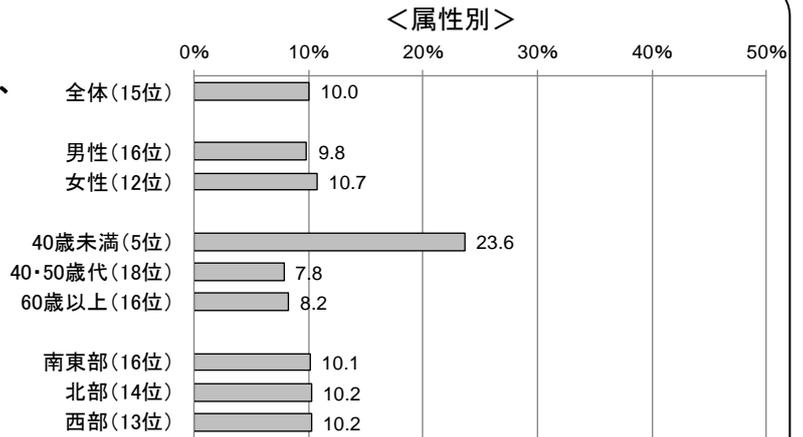


重要性

◇座間市が取り組んでいる 52 の施策の中で、
充実してほしい施策として「保健衛生」
を選んだ市民の割合

※52 の施策から 5 つまで選択

「保健衛生」 52 施策中 15 位 (10.0%)

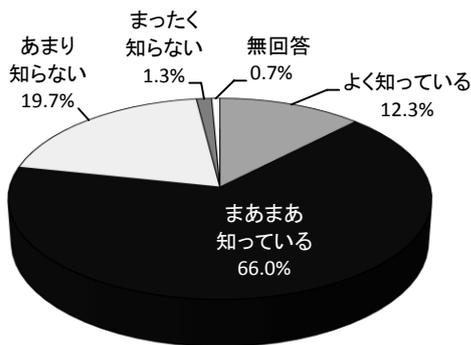


まちづくり指標の達成度

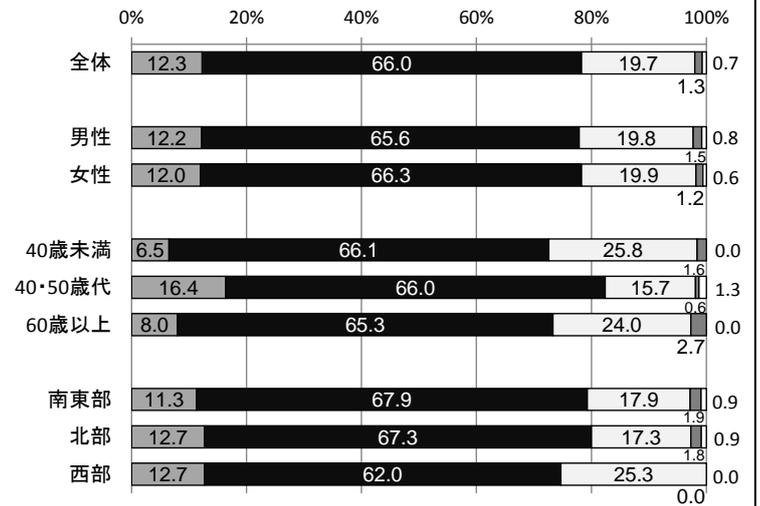
◇感染症対策の認知度

(「あなたは、エイズや性感染症、病原性大腸菌O157に対する予防方法を知っていますか?」)

<全体>



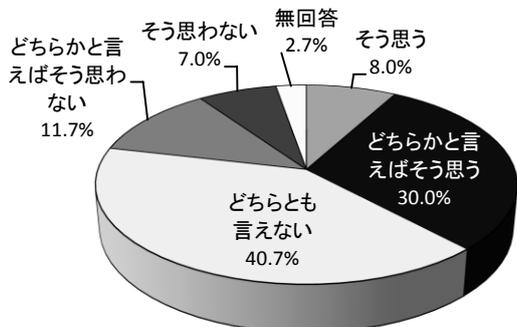
<属性別>



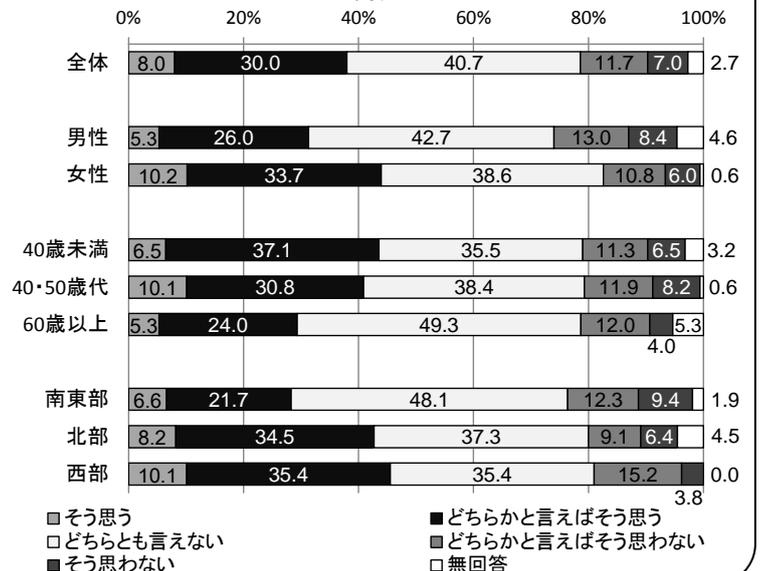
■よく知っている ■まあまあ知っている □あまり知らない ■まったく知らない □ 無回答

◇予防接種の実施などにより、必要な感染症対策が行われてきていると思う市民の割合

<全体>



<属性別>



■そう思う ■どちらかと言えばそう思う ■どちらかと言えばそう思わない ■どちらかと言えばそう思わない □無回答

3. スポーツ・レクリエーション

■目指す姿

市民は、日常的にスポーツ・レクリエーションに親しみ、生き生きと明るく豊かで心身とも健康な生活を営んでいます。

■施策の方向

- 施設の整備・充実
- 生涯スポーツの推進
- 指導者・団体の育成
- 地域の活動場所の確保
- 情報提供
- 総合運動施設の調査研究

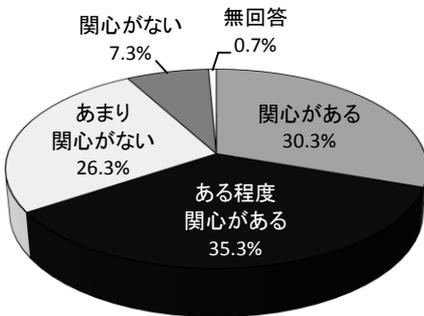
アンケート結果の概要

- ・関心度は低く、重要性は比較的高い施策となっています。
- ・施策の実現に最も重要とされる主体は、市が6割を超えています。
- ・スポーツ・レクリエーションを楽しむ機会が増えてきていると思う人は全体で3割程度おり、60歳以上では4割程度となっています。

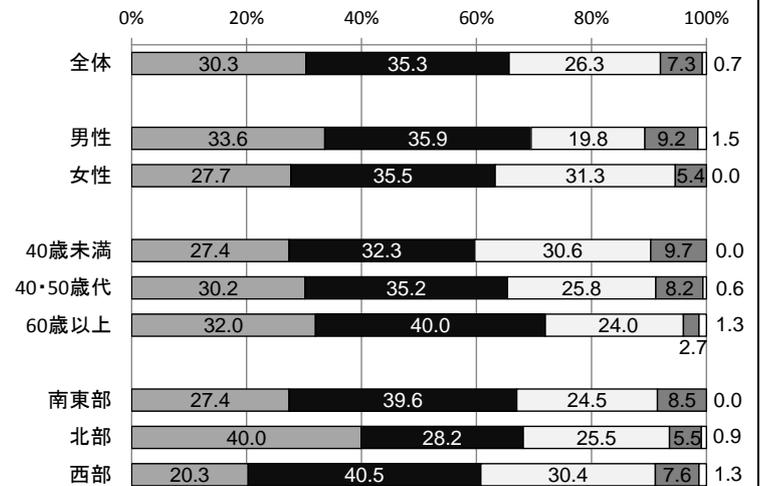
関心度

◇「スポーツ・レクリエーション」への関心の有無

<全体>



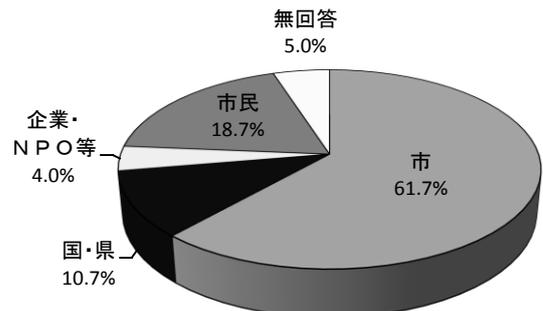
<属性別>



□関心がある ■ある程度関心がある □あまり関心がない ■関心がない □無回答

実現するための主体

◇「スポーツ・レクリエーション」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



重要性

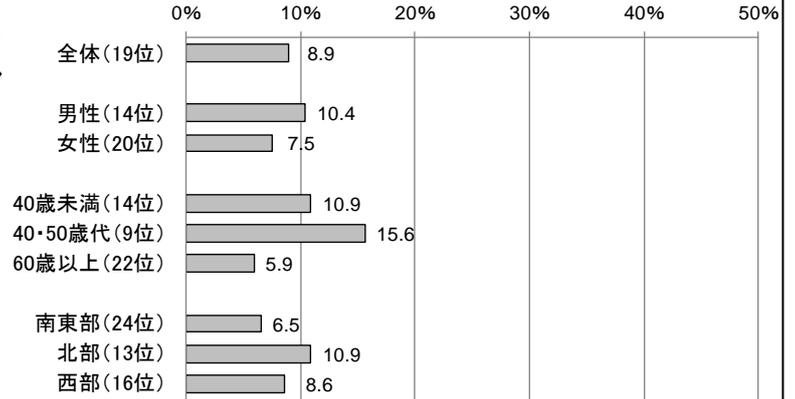
◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、
充実してほしい施策として「スポーツ・レ
クリエーション」を選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

「スポーツ・レクリエーション」

52施策中19位(8.9%)

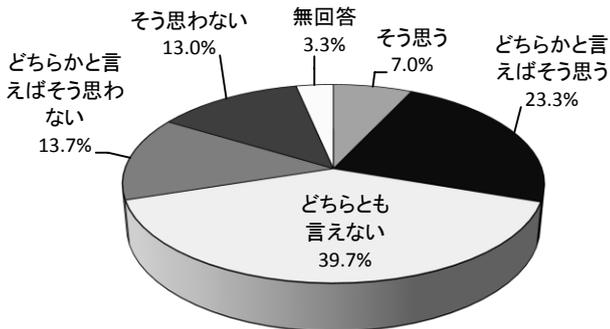
<属性別>



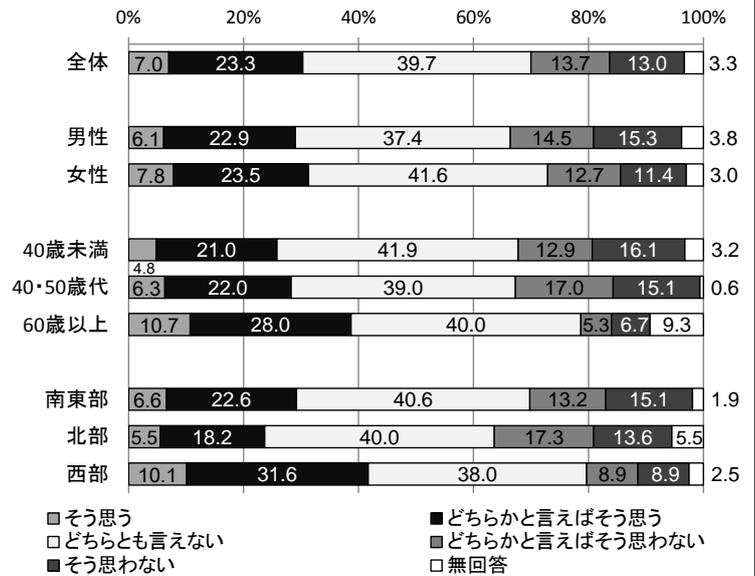
まちづくり指標の達成度

◇市民体育館などのスポーツ施設の設置・運営や放課後の学校施設(体育館や校庭)の開放などにより、
気軽にスポーツ・レクリエーションを楽しむ機会が増えてきていると思う市民の割合

<全 体>



<属性別>



4. 医療体制

■目指す姿

市民は、市内のかかりつけ医の存在や広域的な医療体制の整備により、適切な負担の下で安心して医療を受けることができます。

■施策の方向

- 適正受診の啓発
- 広域救急医療体制の推進と充実
- 休日急患センターの管理運営
- 各種医療費の助成
- 災害時医療体制の充実

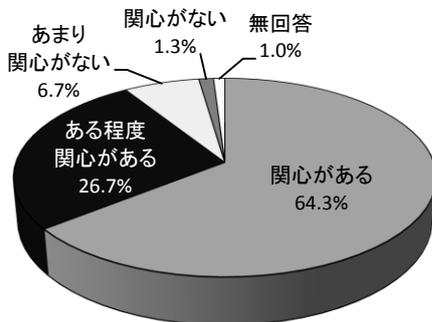
アンケート結果の概要

- ・ 関心度、重要性ともに非常に高い施策となっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が5割を超え、国・県も4割程度となっています。
- ・ 医療サービスを必要な時に受けられるようになってきていると思う人は、約半数となっています。

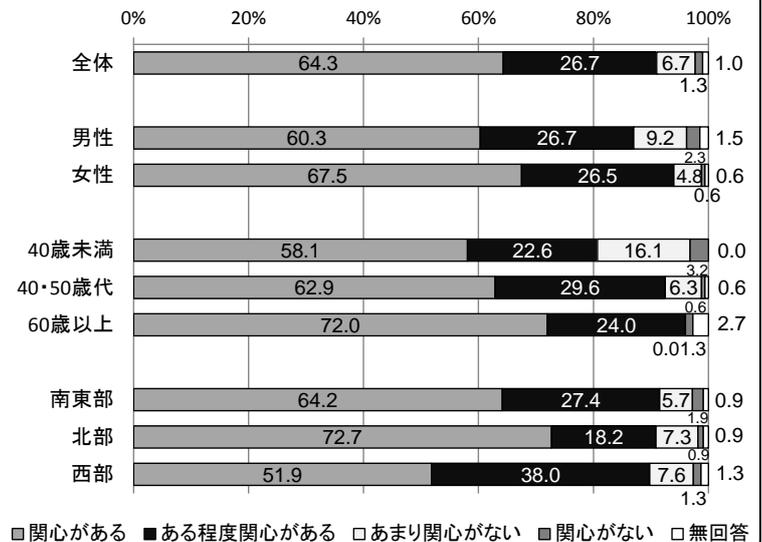
関心度

◇「医療体制」への関心の有無

<全体>



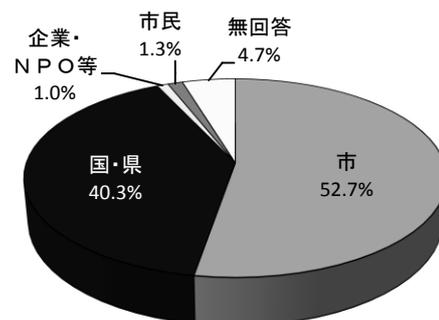
<属性別>



実現するための主体

◇「医療体制」の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



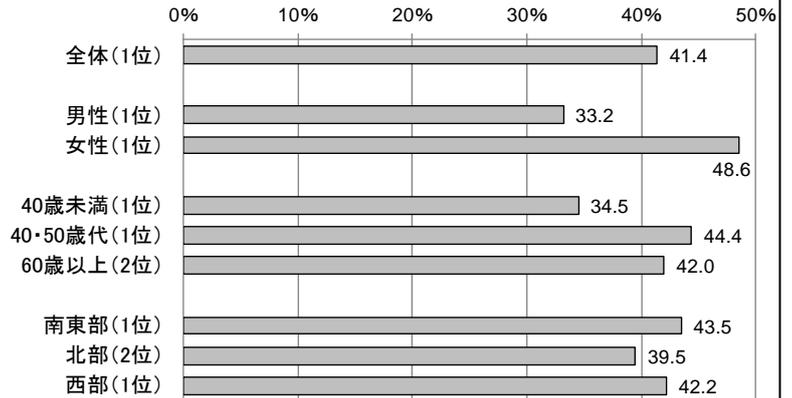
重要性

◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、
充実してほしい施策として「医療体制」を
選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

「医療体制」 52施策中1位 (41.4%)

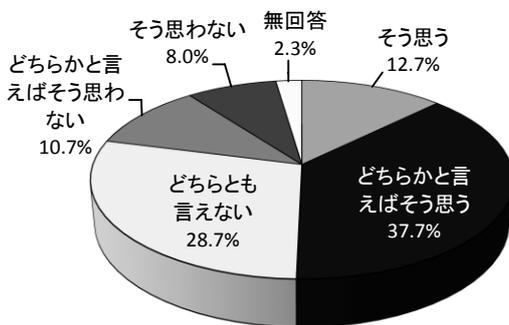
<属性別>



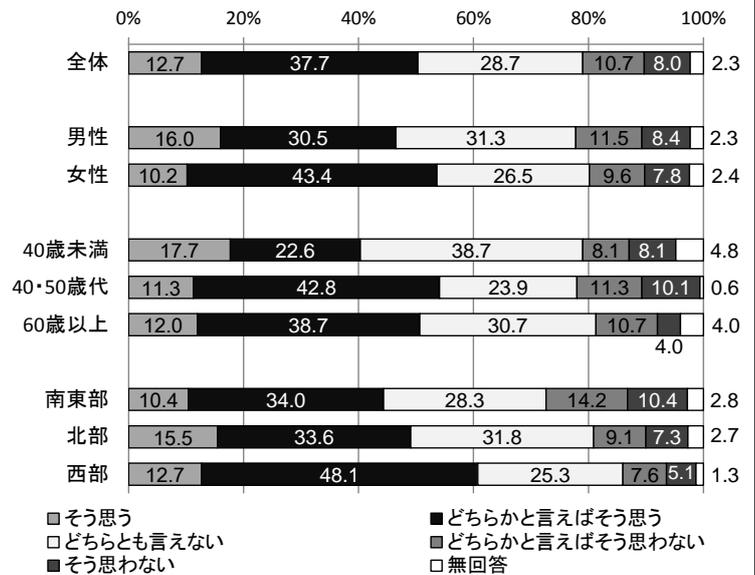
まちづくり指標の達成度

◇休日急患センターや広域による救急医療体制の整備により、医療サービスを必要な時に受けられるようになってきていると思う市民の割合

<全体>



<属性別>



□ そう思う
 □ どちらとも言えない
 ■ そう思わない
 ■ どちらかと言えばそう思う
 ■ どちらかと言えばそう思わない
 □ 無回答

5. 国民健康保険

■目指す姿

市民は、加齢による傷病や疾病によっても、安心して適切な医療を受けることができる健全な運用がなされている保険制度を有しています。

■施策の方向

○医療費の適正化

○保険税収納の確保

○国民健康保険制度の運用

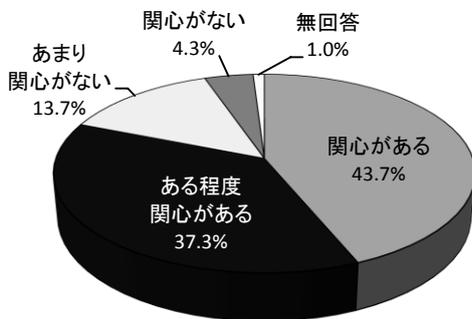
アンケート結果の概要

- ・ 関心度は高く、重要性は非常に高い施策となっています。年齢別ではとくに60歳以上で高い割合となっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、国・県が7割近くに達し、市は2割程度となっています。

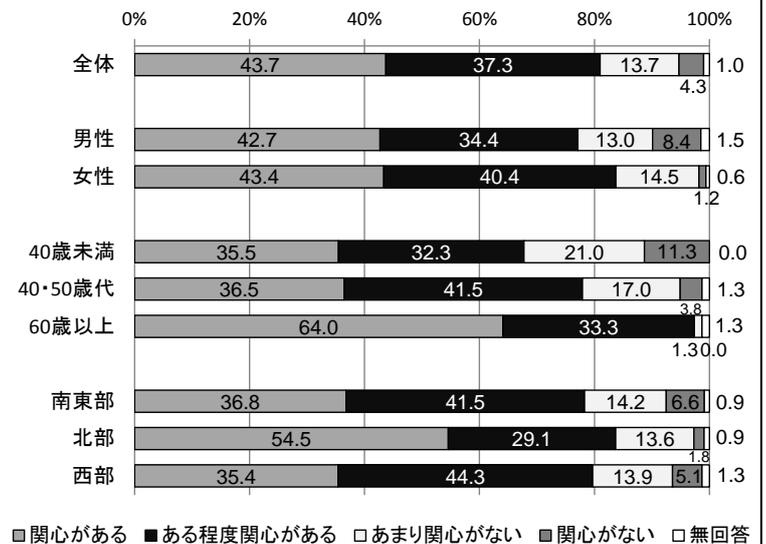
関心度

◇「国民健康保険」への関心の有無

<全体>



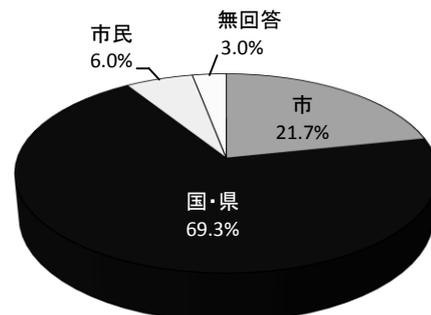
<属性別>



実現するための主体

◇「国民健康保険」の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



重要性

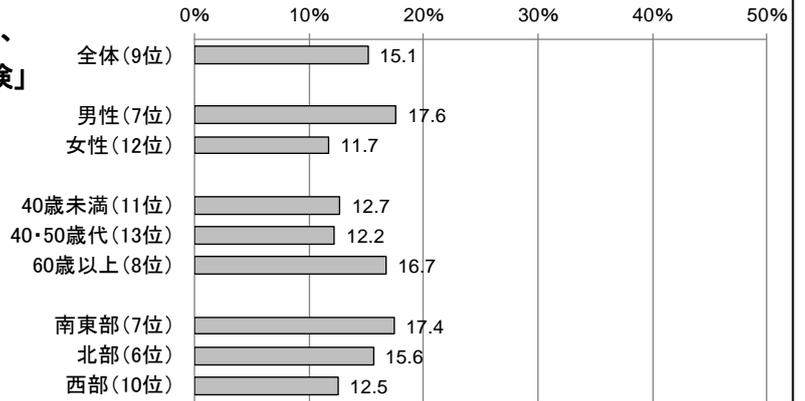
◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、
充実してほしい施策として「国民健康保険」
を選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

「国民健康保険」

52施策中9位 (15.1%)

<属性別>



6. 介護保険

■目指す姿

座間市の高齢者は、介護予防対策により、尊厳を保ちながらその人らしい自立した生活を営むことができ、要支援や要介護状態になっても、在宅サービスや地域密着型サービスの充実により住み慣れた地域や家庭で安心して生活を続けることができます。

■施策の方向

- 介護保険制度の運営 ○介護サービスの適切提供 ○情報や相談の提供体制の整備
- 介護予防対策の充実 ○地域全体で支える体制の構築 ○高齢者虐待防止対策の推進

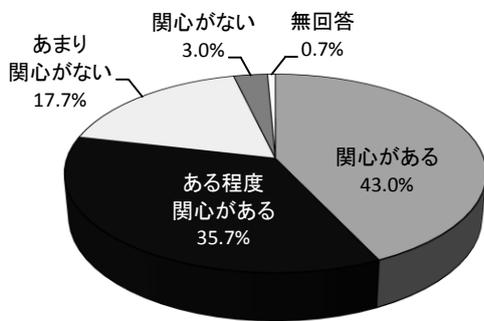
アンケート結果の概要

- ・ 関心度は高く、重要性は非常に高い施策となっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、国・県が半数を超え、市は3割程度となっています。
- ・ 高齢者や家族へ必要な支援が行われてきていると思う人は、60歳以上で4割を超えています。

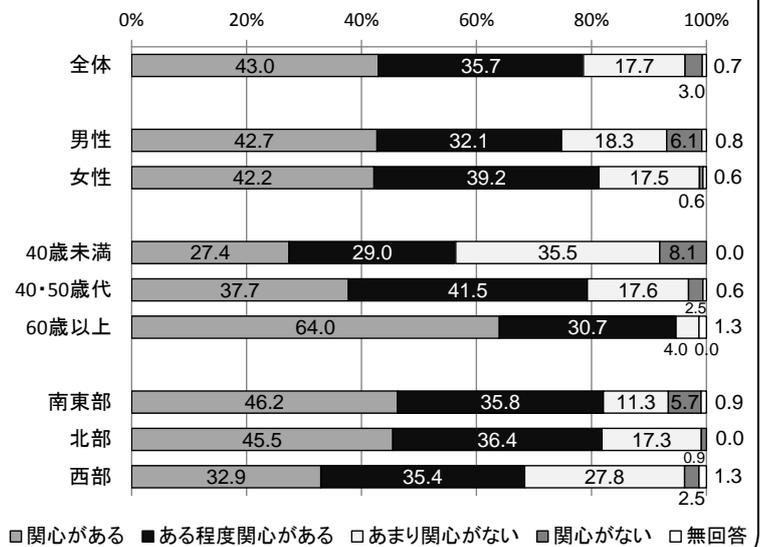
関心度

◇「介護保険」への関心の有無

<全体>

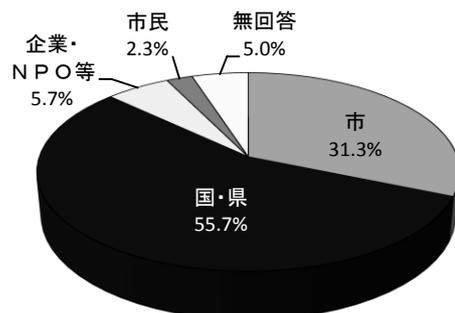


<属性別>



実現するための主体

◇「介護保険」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



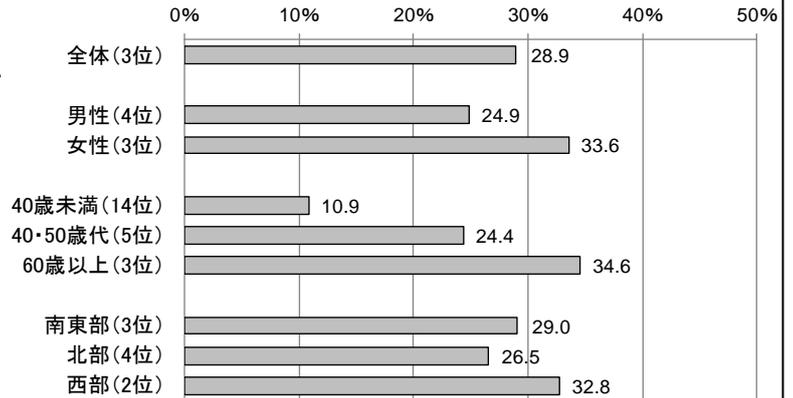
重要性

◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、
充実してほしい施策として「介護保険」を
選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

「介護保険」 52施策中3位 (28.9%)

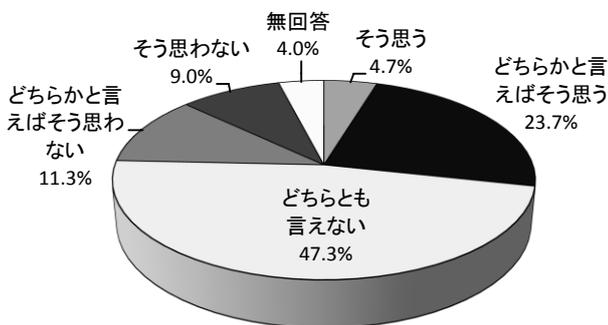
<属性別>



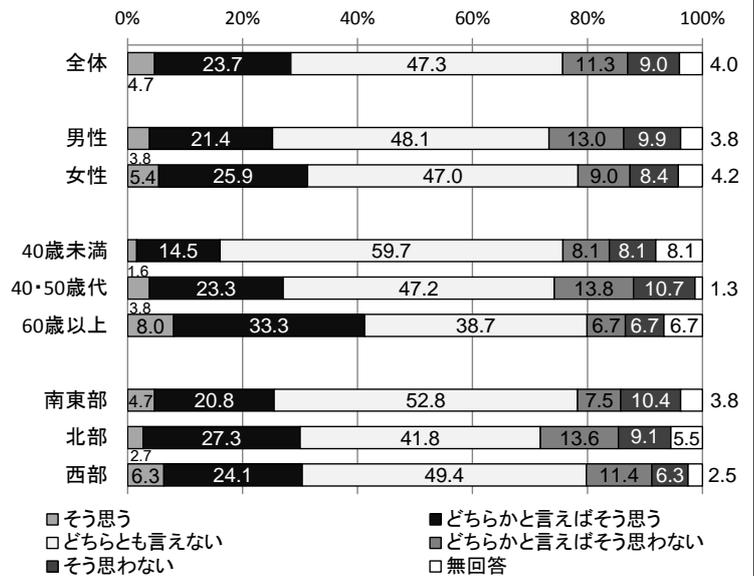
まちづくり指標の達成度

◇介護保険制度などによる福祉サービスにより、高齢者や家族へ必要な支援が行われてきていると思う
市民の割合

<全体>



<属性別>



■ そう思う
 □ どちらとも言えない
 ■ そう思わない
 ■ どちらかと言えばそう思う
 ■ どちらかと言えばそう思わない
 □ 無回答

政策2 支え合い 思いやりに満ちた やすらぎのまち

7. 地域・高齢者福祉

■目指す姿

高齢者をはじめ地域にかかわりを持つ機会が豊富な市民が、NPOやボランティア組織、地域の互いの助け合い活動などへ積極的に参加し、住み慣れたまちの中で、だれもが安心して生きがいを持ち充実した暮らしをしています。

■施策の方向

- 地域の協力体制の構築
- ボランティアの育成
- 福祉意識の普及啓発
- 高齢者の就労と生きがい対策
- 在宅高齢者の自立支援
- 高齢者の日常生活支援
- 福祉施設の維持管理
- 災害時の要援護者支援システム構築
- 福祉団体の地域活動支援

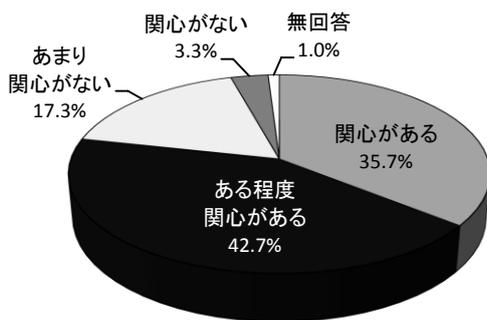
アンケート結果の概要

- ・ 関心度は比較的高く、重要性は非常に高い施策となっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が半数程度を占め、国・県が3割程度となっています。
- ・ 市民ボランティアなどによる福祉サービスが充実してきていると思う人は2割程度となっています。

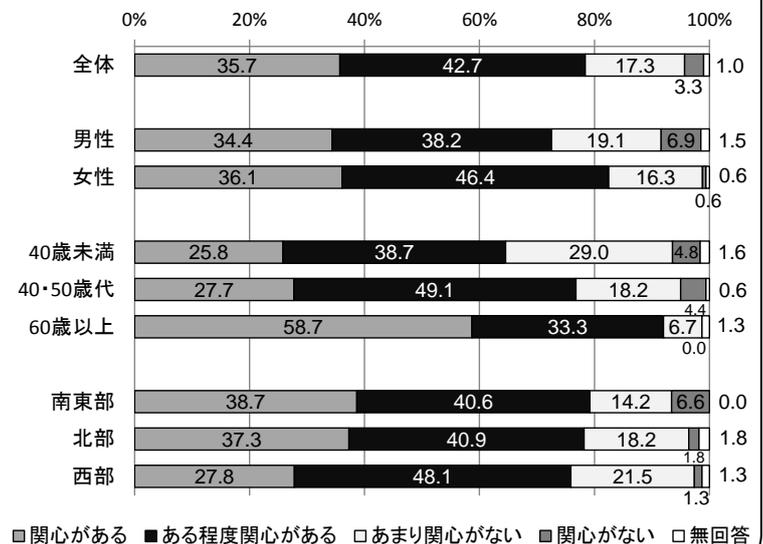
関心度

◇「地域・高齢者福祉」への関心の有無

<全体>

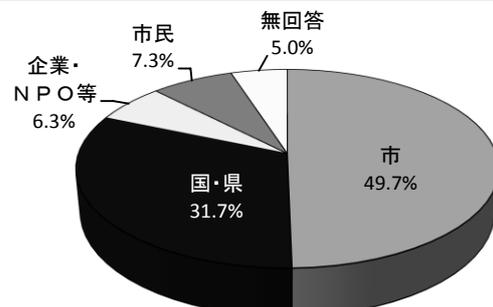


<属性別>



実現するための主体

◇「地域・高齢者福祉」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



重要性

◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、
充実してほしい施策として

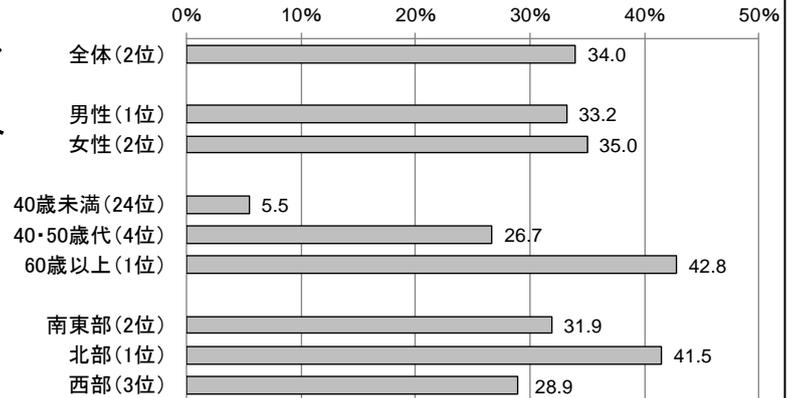
「地域・高齢者福祉」を選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

「地域・高齢者福祉」

52施策中2位(34.0%)

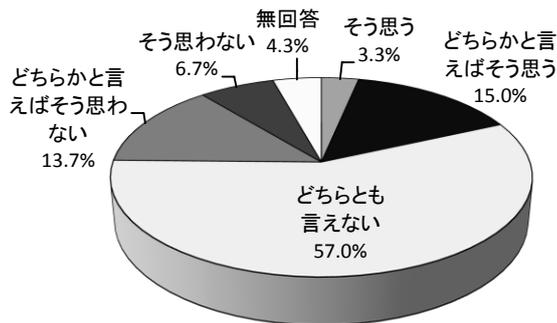
<属性別>



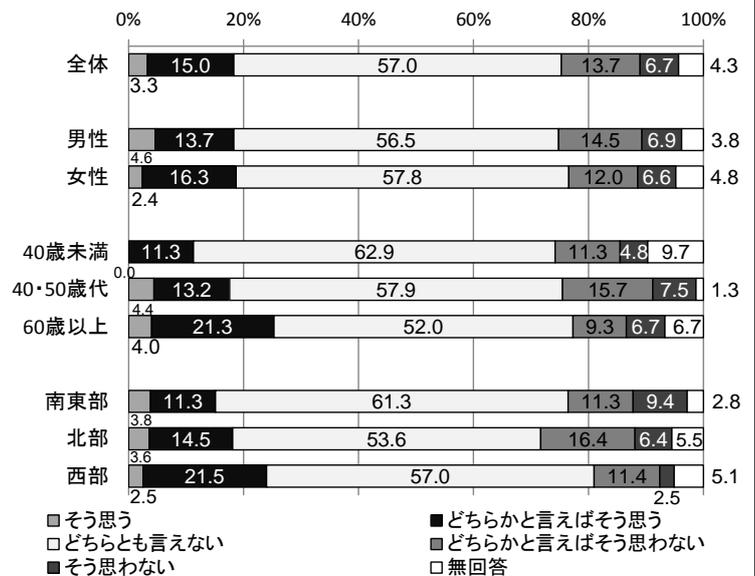
まちづくり指標の達成度

◇市が支援している社会福祉協議会などの活動により、市民ボランティアなどによる福祉サービスが
充実してきていると思う市民の割合

<全体>



<属性別>



8. 障がい者福祉

■目指す姿

座間市の障がい者は、ノーマライゼーションという障がい者福祉の基本理念の下、各々の個性に見合った就労環境が整うとともに、障がい福祉サービスを受けることで、その人らしい生活を営んでいます。

■施策の方向

- 障がい者援護施設等の支援 ○地域福祉ネットワークの整備 ○生活用具等の援助整備
- 在宅福祉サービスの推進 ○障がい者の健康維持・生活安定
- 障がい者の文化・スポーツ活動の推進 ○障がい者福祉の啓発 ○権利擁護等の事業促進
- 自殺対策事業の推進 ○障がい者の就労支援 ○災害時の要援護者支援システム構築

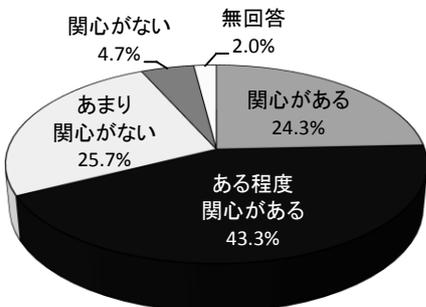
アンケート結果の概要

- 関心度は比較的lowく、重要性は高い施策となっています。
- 施策の実現に最も重要とされる主体は、国・県が4割を超え、市も4割弱となっています。
- 障がい者やその家族への必要なサービスが提供されてきていると思う人は、2割程度となっています。

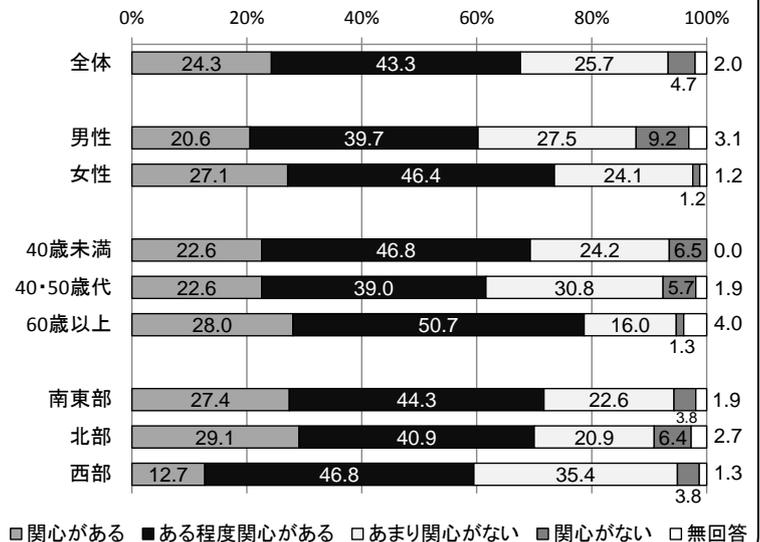
関心度

◇「障がい者福祉」への関心の有無

<全体>

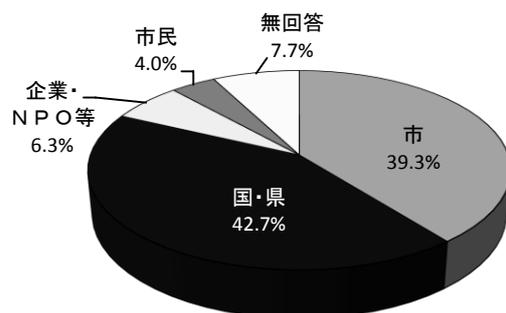


<属性別>



実現するための主体

◇「障がい者福祉」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



重要性

◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、
充実してほしい施策として

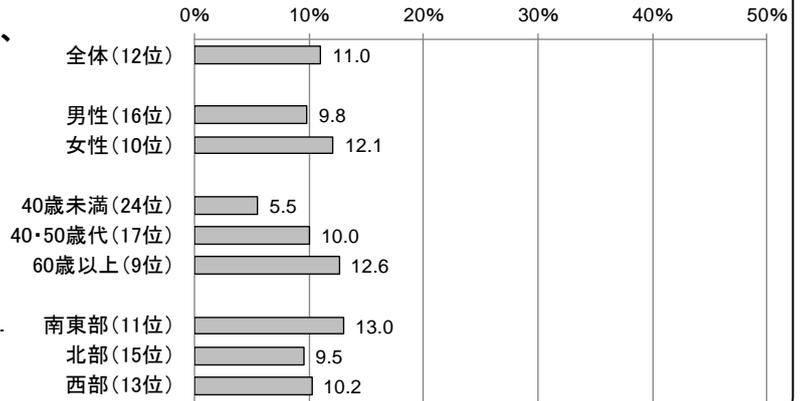
「障がい者福祉」を選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

「障がい者福祉」

52施策中12位(11.0%)

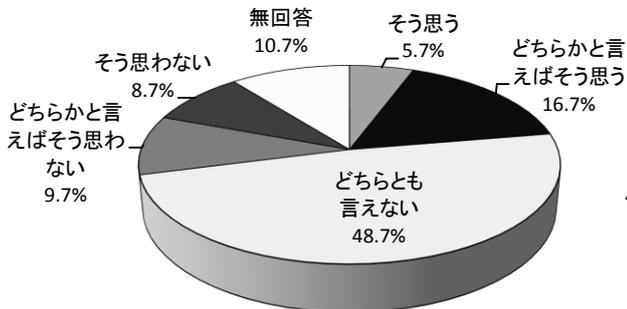
<属性別>



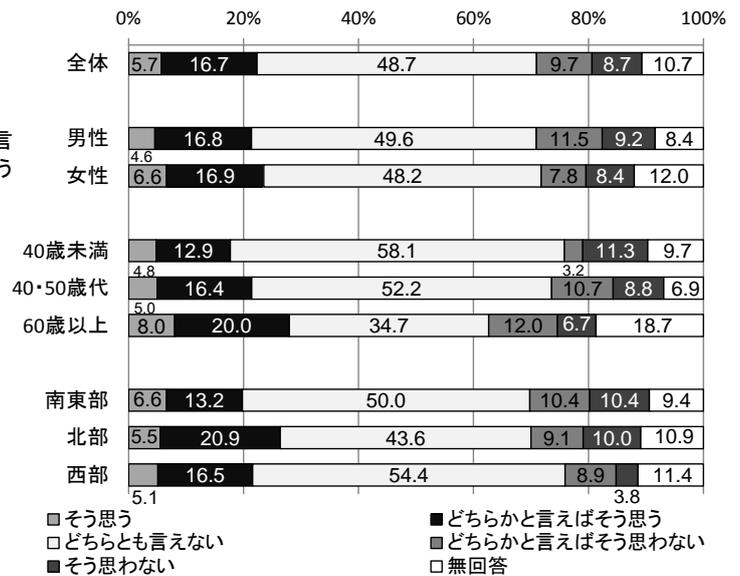
まちづくり指標の達成度

◇もくせい園の運営や地域活動支援センターなどへの補助などにより、障がい者やその家族への必要なサービスが提供されてきていると思う市民の割合

<全体>



<属性別>



9. 保育対策

■目指す姿

子育て世代は、就労形態や所得の違いに左右されず、安心して子どもを預けられる環境を享受しています。

■施策の方向

- 保育園等の施設定員確保
- 保育内容の充実と保護者支援
- 私立保育園の支援
- 私立保育園との連携
- 小学校との情報連携強化
- 児童の健全育成

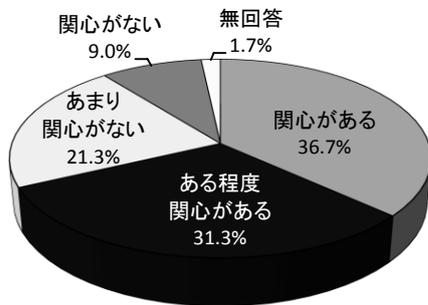
アンケート結果の概要

- ・ 関心度は比較的低く、重要性は高い施策となっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が半数程度を占め、国・県が3割を超えています。

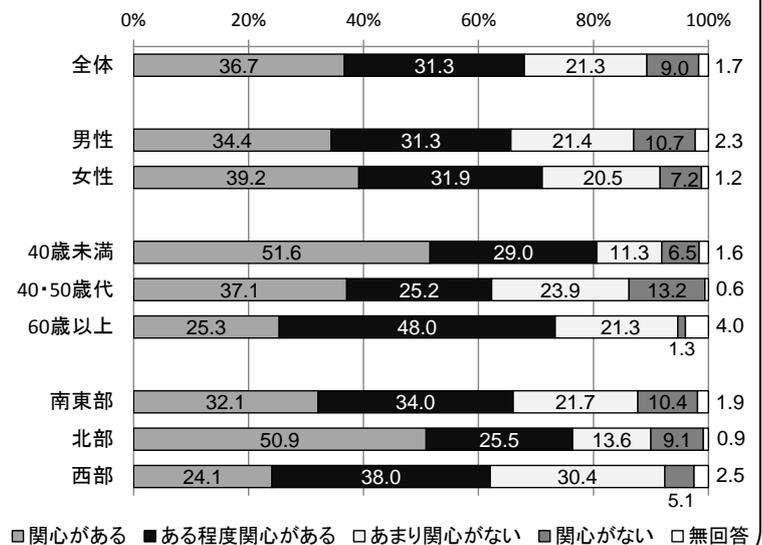
関心度

◇「保育対策」への関心の有無

<全体>



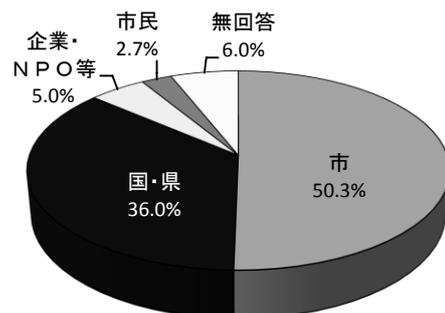
<属性別>



実現するための主体

◇「保育対策」の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



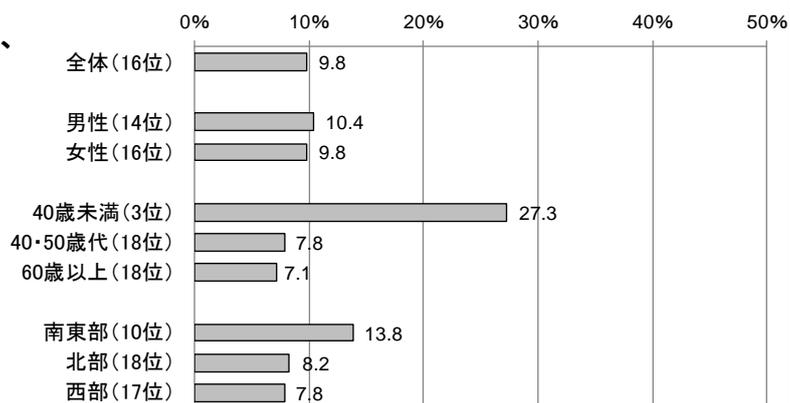
重要性

<属性別>

◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、
充実してほしい施策として「保育対策」
を選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

「保育対策」 52施策中16位 (9.8%)



10. 子育て支援

■目指す姿

座間市の子どもたちは、両親の有無や経済的な理由などにより家庭の保育環境が悪化しても子育ての様々な仕組みに支えられて、健やかにはぐくまれています。

■施策の方向

- 児童の生活保障の支援
- 児童ホームの運営
- ひとり親家庭の支援
- 子育てしやすい地域環境の整備

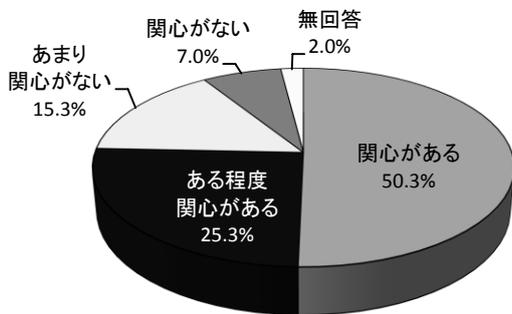
アンケート結果の概要

- 関心度は比較的高く、重要性は非常に高い施策となっています。
- 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が半数を超え、国・県が3割程度となっています。
- 市の取り組みにより子育てしやすいまちになってきていると思う人は、2割程度となっています。

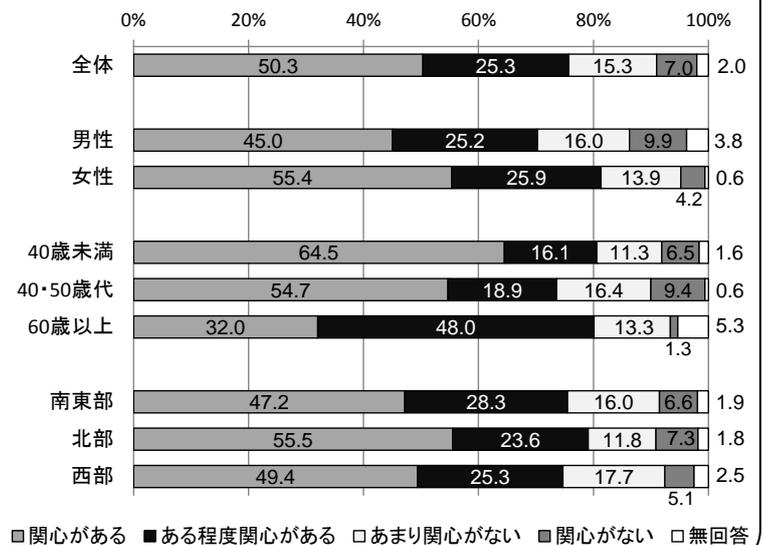
関心度

◇「子育て支援」への関心の有無

<全体>

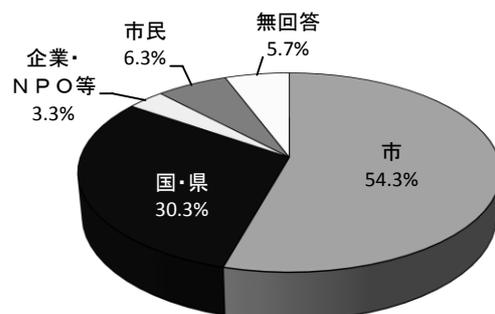


<属性別>



実現するための主体

◇「子育て支援」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

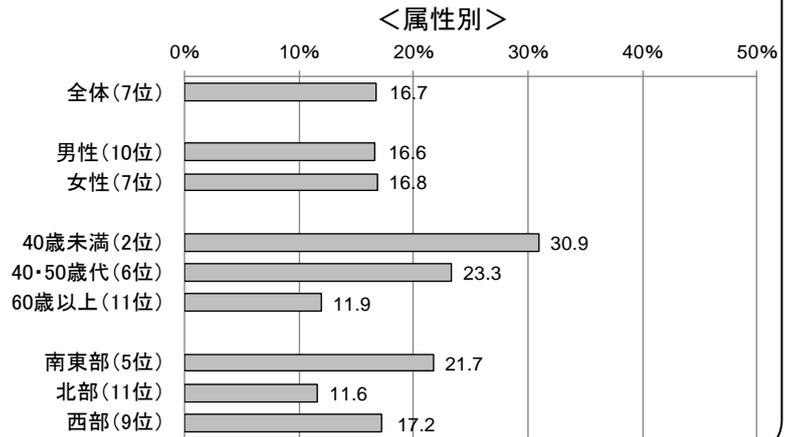


重要性

◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、
充実してほしい施策として「子育て支援」
を選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

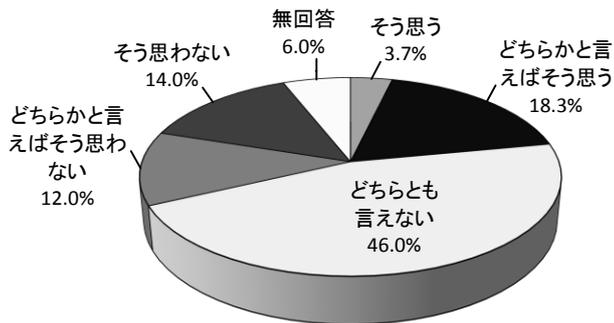
「子育て支援」 52施策中7位 (16.7%)



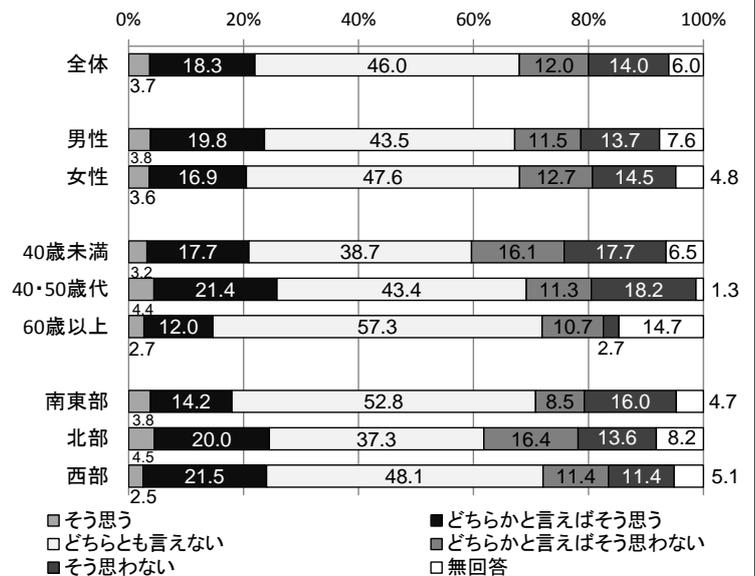
まちづくり指標の達成度

◇保育所の運営、子育て支援センターの運営などにより、子育てしやすいまちになってきていると
思う市民の割合

<全体>



<属性別>



11. 生活困窮対策

■目指す姿

市民は、経済的理由などにより生活困窮や住宅困窮に陥ったとしても、健康で文化的な暮らしが保障され、自立のための知識や技術を習得する環境が確保されています。

■施策の方向

○生活保護世帯等の自立支援

○生活安定支援

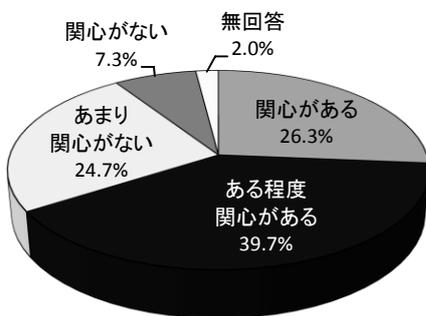
アンケート結果の概要

- ・ 関心度、重要性ともに比較的低い施策となっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、国・県が6割程度を占め、市は2割を超えています。

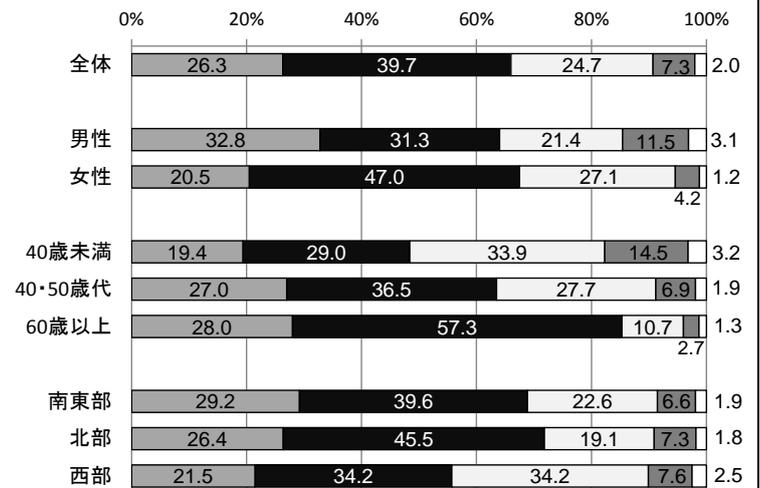
関心度

◇「生活困窮対策」への関心の有無

<全体>



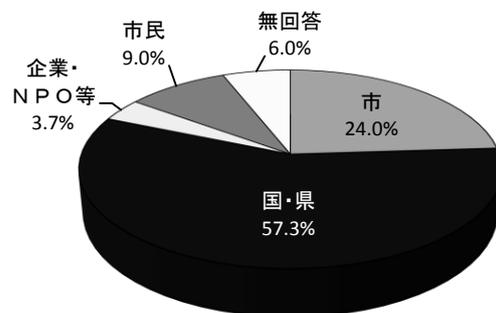
<属性別>



□関心がある ■ある程度関心がある □あまり関心がない ■関心がない □無回答

実現するための主体

◇「生活困窮対策」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



重要性

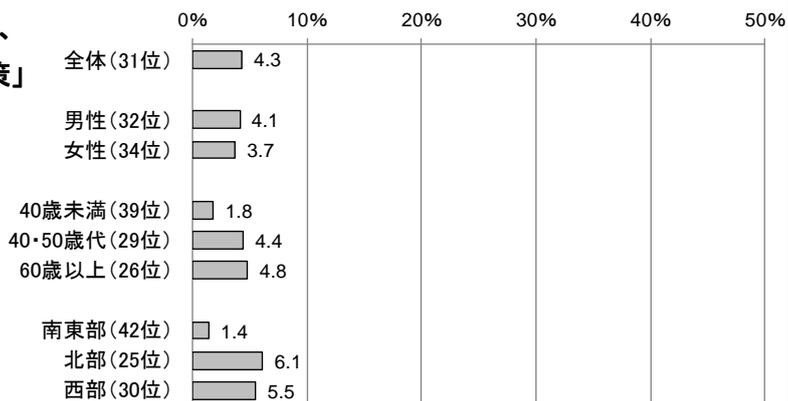
<属性別>

◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、
充実してほしい施策として「生活困窮対策」
を選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

「生活困窮対策」

52施策中31位(4.3%)



政策3 共に考え 共に歩む 安心のまち

12. 市政広報

■目指す姿

市民は、生活の質の向上やボランティア活動、自治活動などに生かすため、市政情報やまちづくりに関する情報を容易に入手できます。

■施策の方向

○広報活動の展開

○情報提供体制の充実

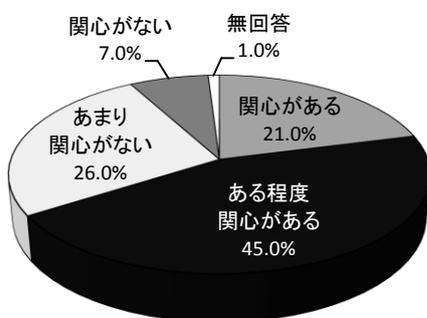
アンケート結果の概要

- ・ 関心度は比較的低く、重要性は非常に低い施策となっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が8割程度を占めています。
- ・ 市が発信する情報を、広報ざまやホームページ等で十分に得ていると思う人は、4割程度となっています。

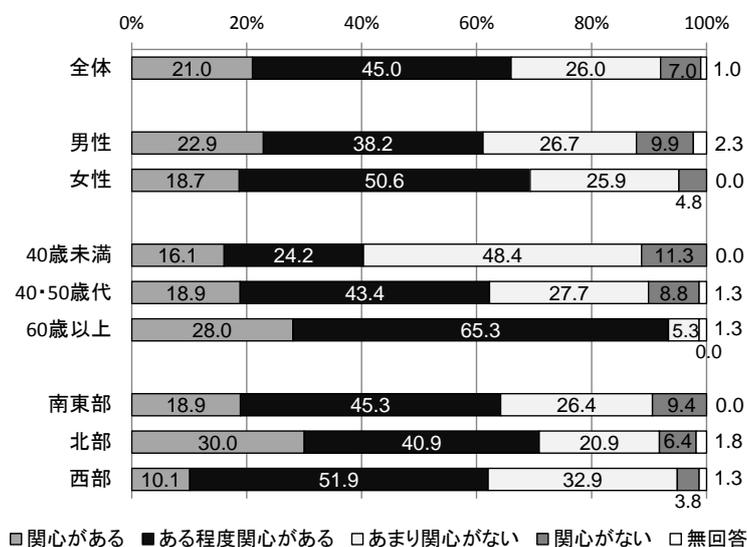
関心度

◇「市政広報」への関心の有無

<全体>

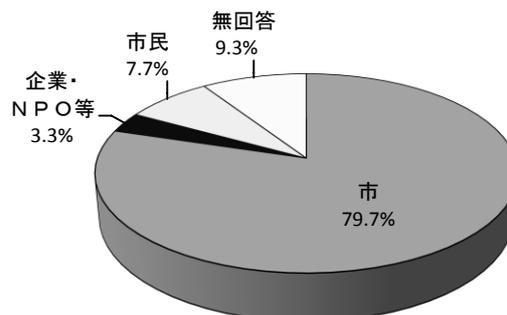


<属性別>



実現するための主体

◇「市政広報」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

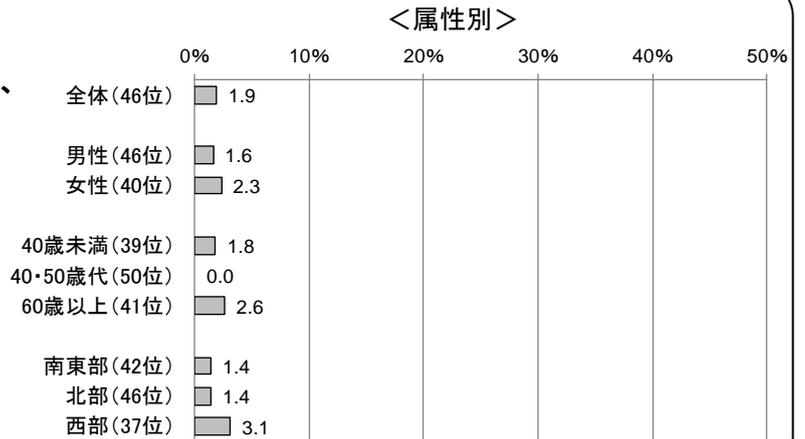


重要性

◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、
充実してほしい施策として「市政広報」
を選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

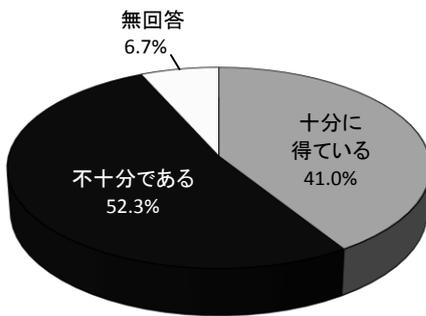
「市政広報」 52施策中46位 (1.9%)



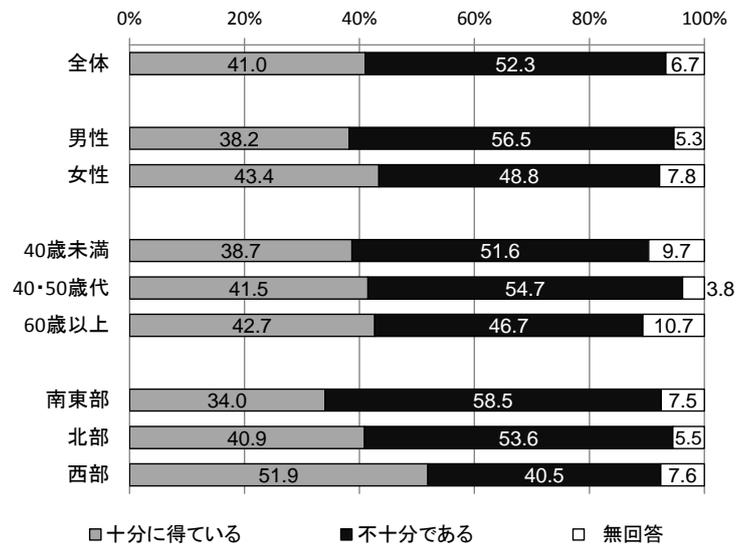
まちづくり指標の達成度

◇市が発信する情報を、広報ざまや市ホームページ等で十分に得ていると思う市民の割合

<全体>



<属性別>



13. 市民生活・広聴

■目指す姿

市民は、消費生活問題等に対応した情報提供や助言を受け、トラブルに巻き込まれることなく、安全に安心して豊かな消費生活を営み、各種広聴機能の活用により意見・要望を届けることができます。

■施策の方向

- 消費生活センター機能の充実
- 消費生活情報の提供
- 質的向上の啓発
- 消費者団体の支援
- 相談体制の充実
- 市民要望等の把握

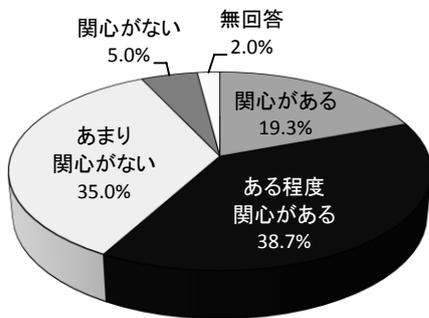
アンケート結果の概要

- ・ 関心度は非常に低く、重要性は低い施策となっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が7割以上を占めています。
- ・ 消費生活に関する情報提供や相談が十分に行われてきていると思う人の割合は60歳以上で高く、消費生活センターの認知度も60歳以上で高くなっています。

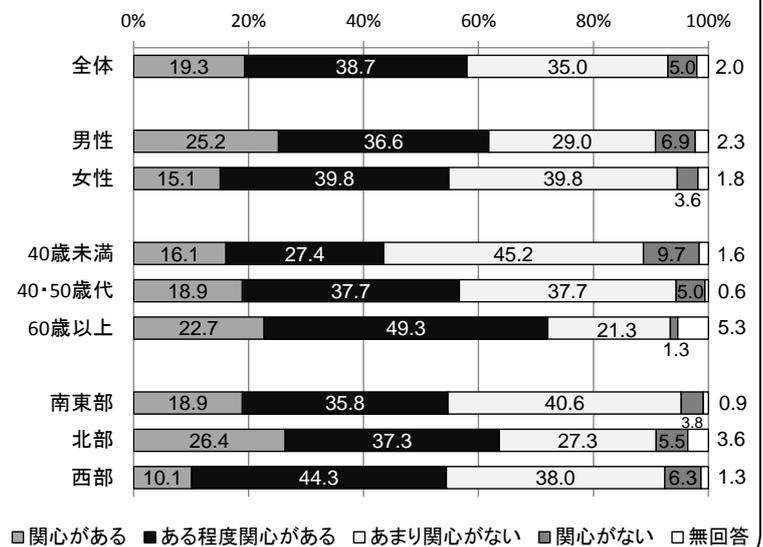
関心度

◇「市民生活・広聴」への関心の有無

<全体>

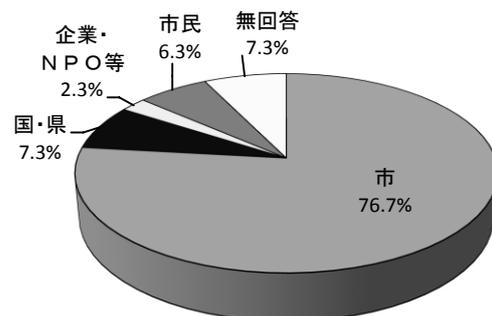


<属性別>



実現するための主体

◇「市民生活・広聴」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



重要性

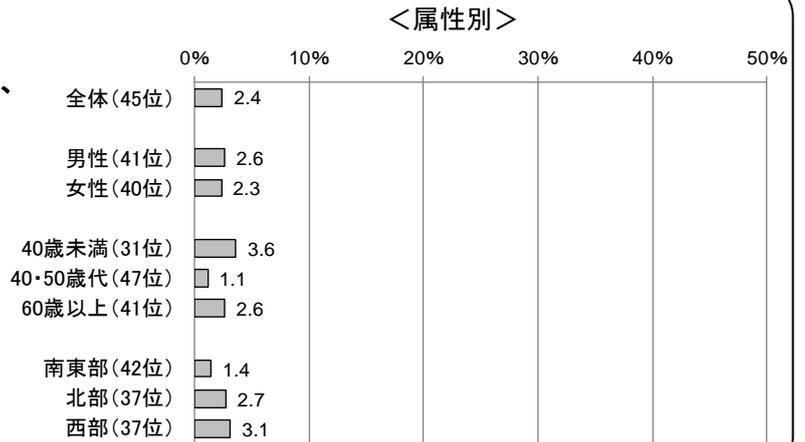
◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、
充実してほしい施策として

「市民生活・広聴」を選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

「市民生活・広聴」

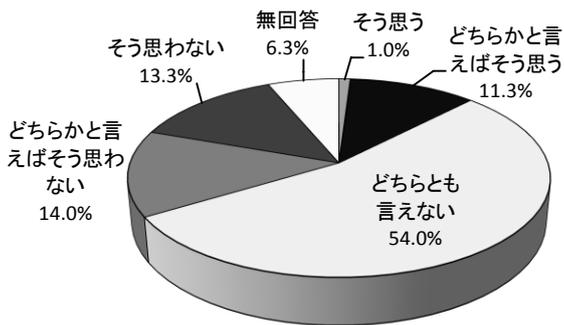
52施策中45位(2.4%)



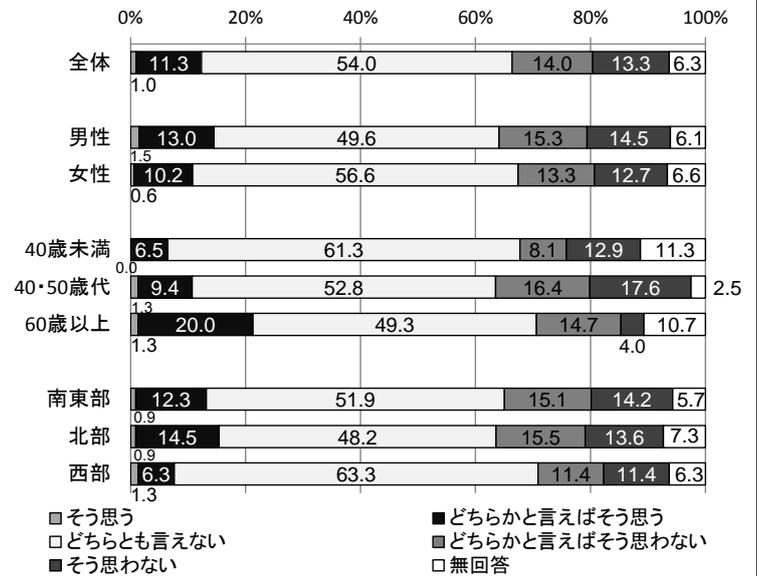
まちづくり指標の達成度

◇消費生活に関する情報提供や相談が十分に行われてきていると思う市民の割合

<全体>

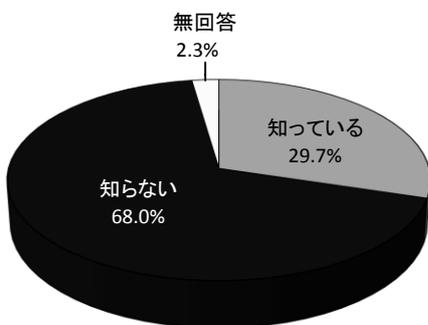


<属性別>

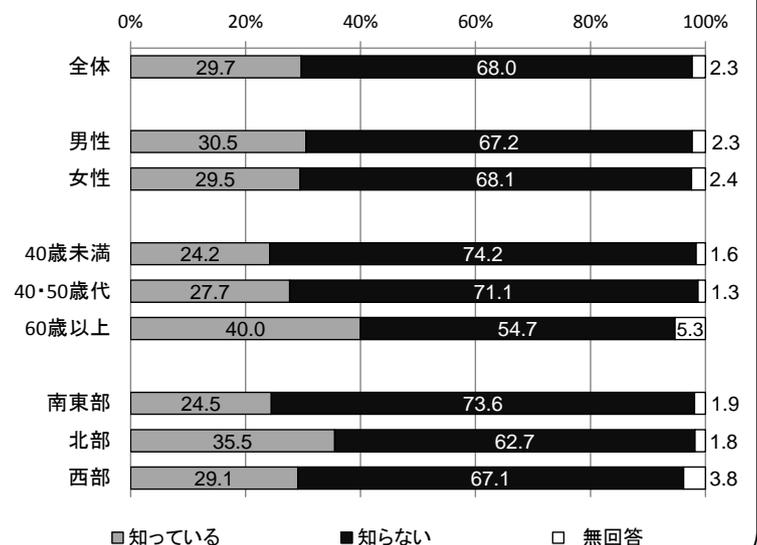


◇座間市消費生活センターの存在を知っている市民の割合

<全体>



<属性別>



14. 男女共同参画

■目指す姿

市民は、男女が互いにその人権を尊重しつつ、責任を分かち合い、性別にかかわらずあらゆる分野に参画し、仕事と生活の調和の取れた生活を営んでいます。

■施策の方向

- 性別役割分担意識の解消
- DV（配偶者などからの暴力）被害者の支援
- ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進
- 男女共同参画推進協議会等の運営
- 女性の市政等への参画促進
- 各種団体との連携・支援

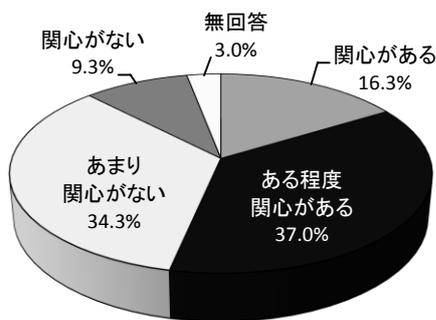
アンケート結果の概要

- ・関心度、重要性ともに非常に低い施策となっています。
- ・施策の実現に最も重要とされる主体は、国・県と市がともに3割程度となっています。
- ・男女共同参画社会へ向けた情報提供や相談事業が十分に行われてきていると思う人は、1割未満にとどまっています。

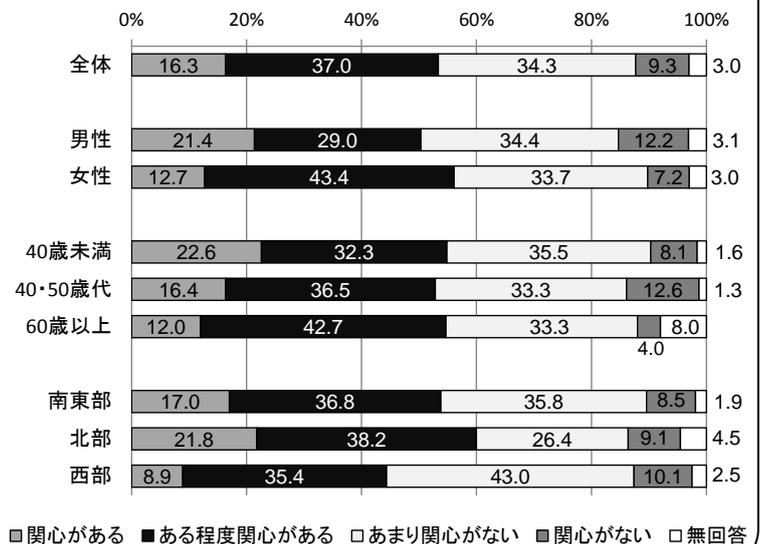
関心度

◇「男女共同参画」への関心の有無

<全体>

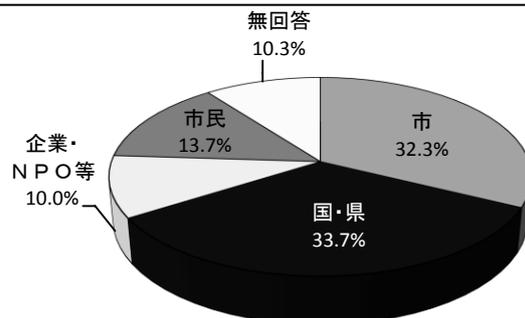


<属性別>



実現するための主体

◇「男女共同参画」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



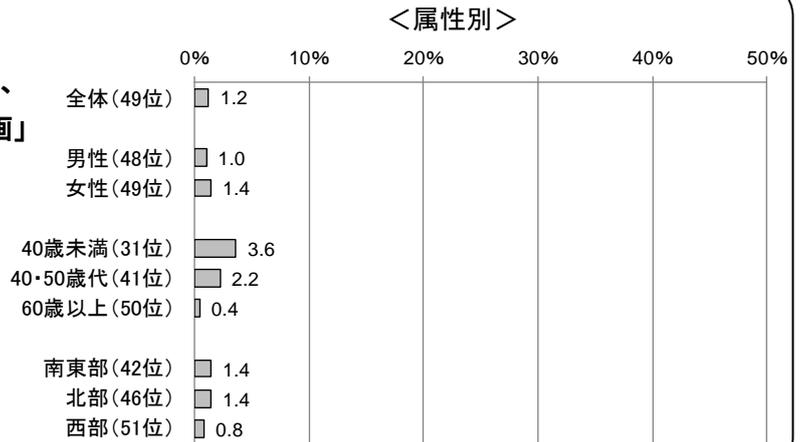
重要性

◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、
充実してほしい施策として「男女共同参画」
を選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

「男女共同参画」

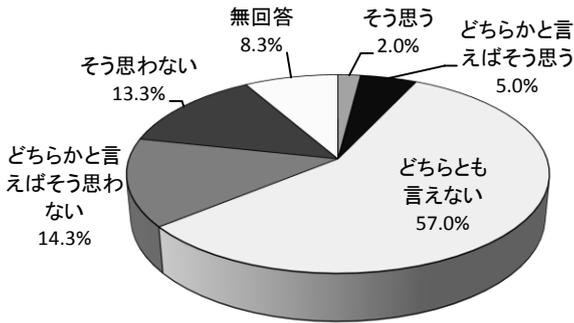
52施策中49位 (1.2%)



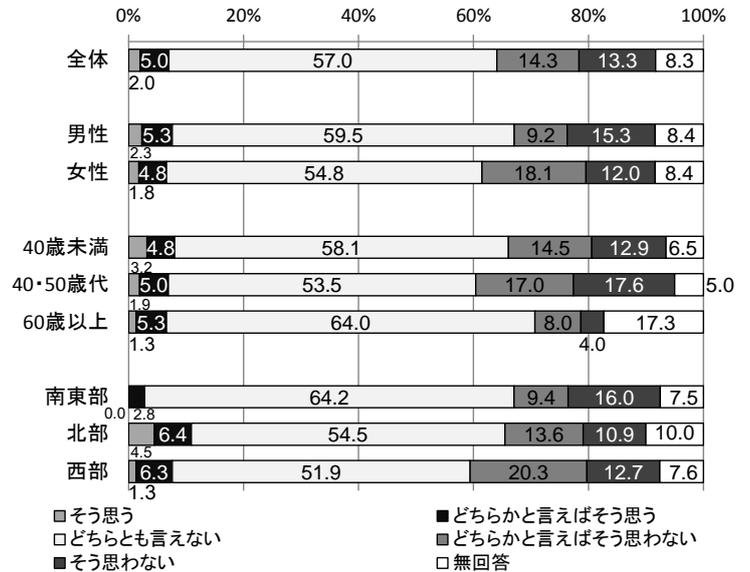
まちづくり指標の達成度

◇男女共同参画社会へ向けた情報提供や相談事業が十分に行われてきていると思う市民の割合

<全体>



<属性別>



15. 人権・平和

■目指す姿

市民は、人権に対する理解を深め、国籍、人種、性別等による偏見や差別を解消するため活動しています。また、世界の恒久平和を願い活動を行っています。

■施策の方向

○人権啓発活動の推進

○人権相談体制の充実

○核兵器廃絶への取り組み

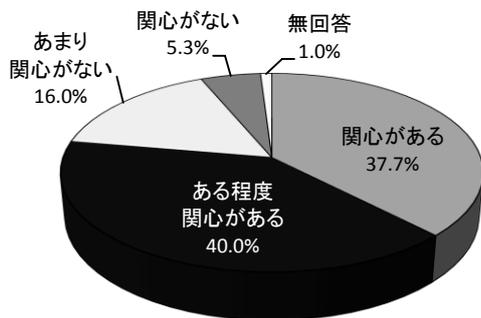
アンケート結果の概要

- ・ 関心度は比較的高く、重要性は非常に低い施策となっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、国・県が6割を超え、市民が2割程度となっています。
- ・ 7割以上の方が、人権について考えたことがあると回答しています。

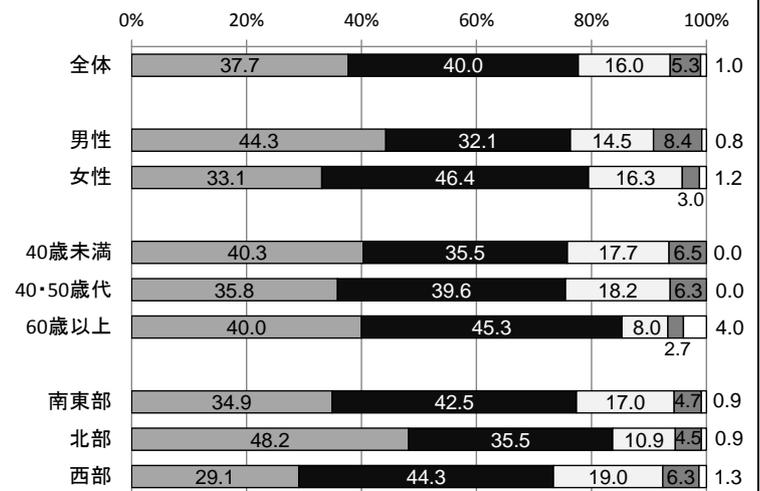
関心度

◇「人権・平和」への関心の有無

<全体>



<属性別>

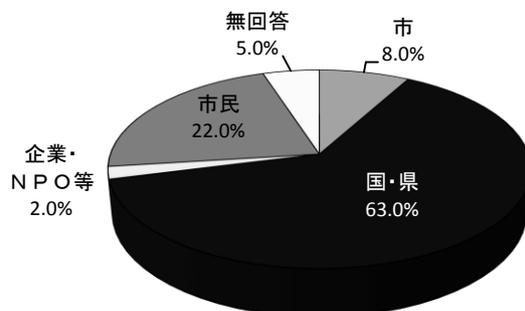


□関心がある ■ある程度関心がある □あまり関心がない ■関心がない □無回答

実現するための主体

◇「人権・平和」の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

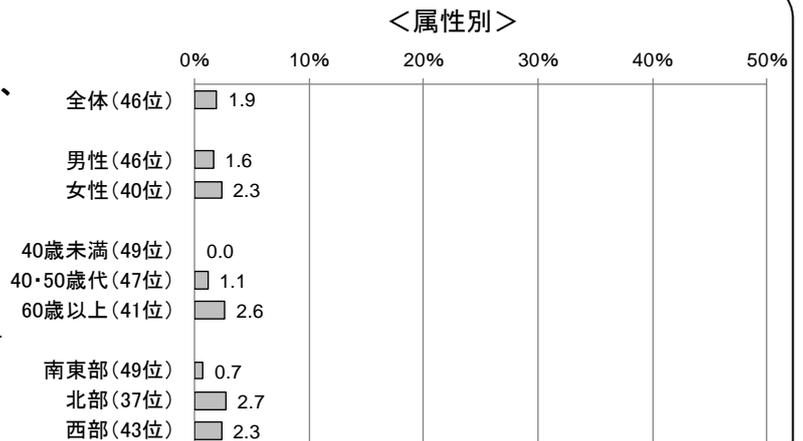


重要性

◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、
充実してほしい施策として「人権・平和」
を選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

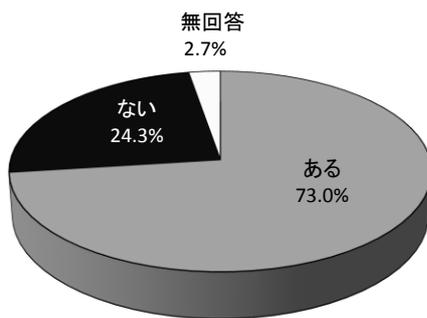
「人権・平和」 52施策中46位 (1.9%)



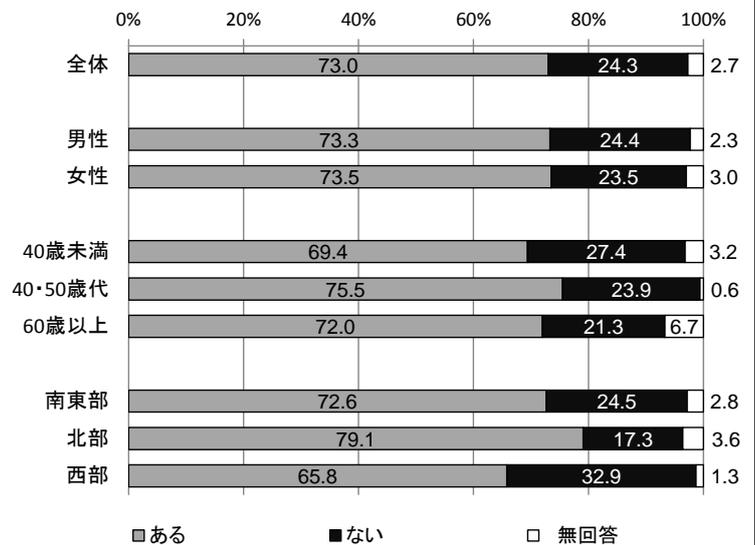
まちづくり指標の達成度

◇人権について考えたことがある市民の割合

<全体>



<属性別>



16. NPO・ボランティア活動

■目指す姿

「自分たちのまちは、自分たちで創り育てる」という意識の下、市民自らが「地域活動」や「社会活動」に積極的に参加し、市と協働して地域課題等の解決を図るなど、市民が主体となったまちづくりが進められています。

■施策の方向

○市民活動サポートセンターの機能充実

○市民の公益的活動支援

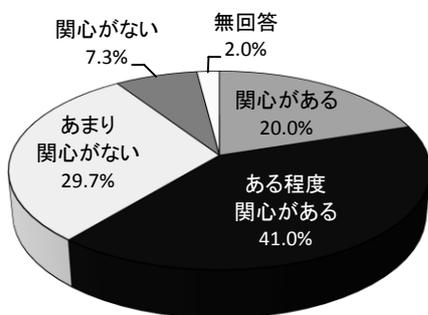
アンケート結果の概要

- ・ 関心度、重要性ともに低い施策となっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、企業・NPO等が2割を超え、つづいて市民、サポートセンター、国・県、市でおおむね均等の割合となっています。
- ・ 2割程度の人が、「NPO・ボランティア活動」に参加したことがあると回答しています。

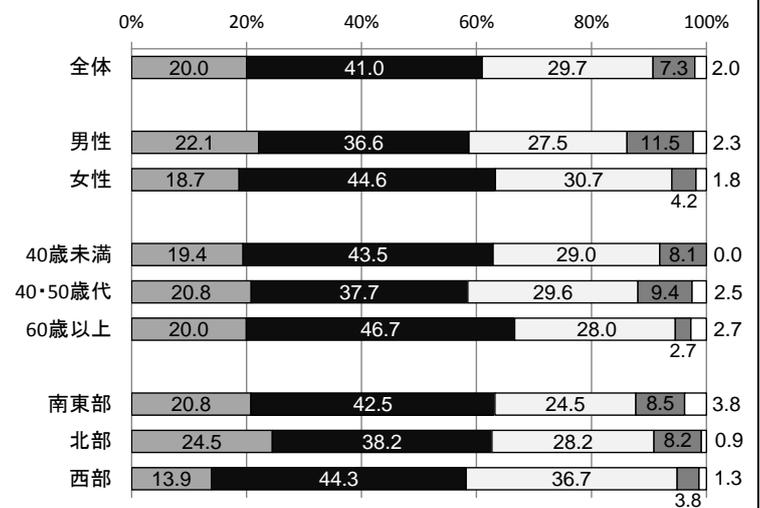
関心度

◇「NPO・ボランティア活動」への関心の有無

<全体>



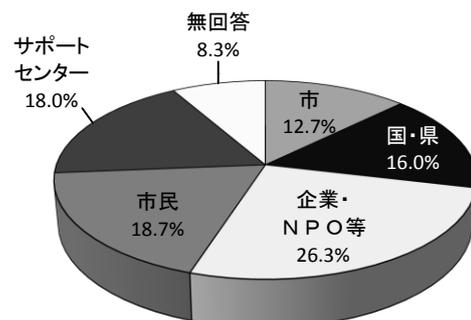
<属性別>



□関心がある ■ある程度関心がある □あまり関心がない ■関心がない □無回答

実現するための主体

◇「NPO・ボランティア活動」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



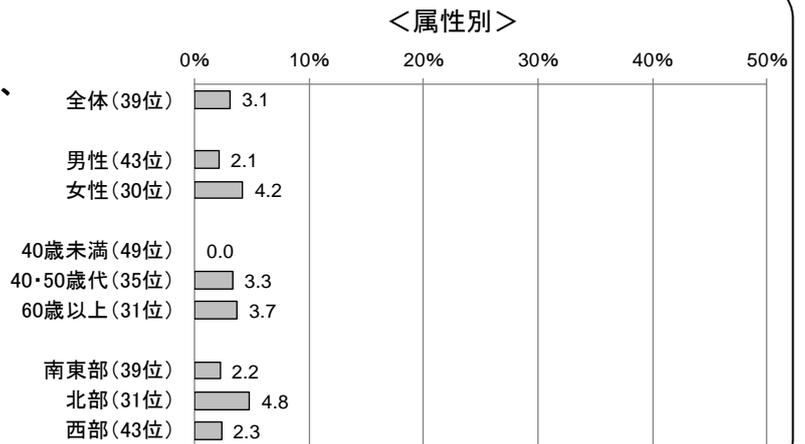
重要性

◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、
充実してほしい施策として「NPO・ボ
ランティア活動」を選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

「NPO・ボランティア活動」

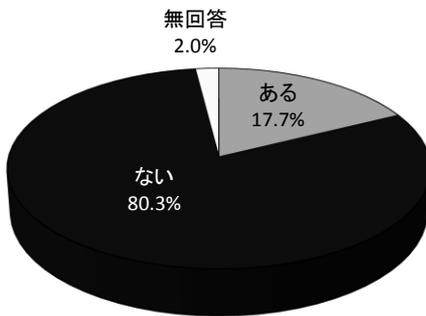
52施策中39位(3.1%)



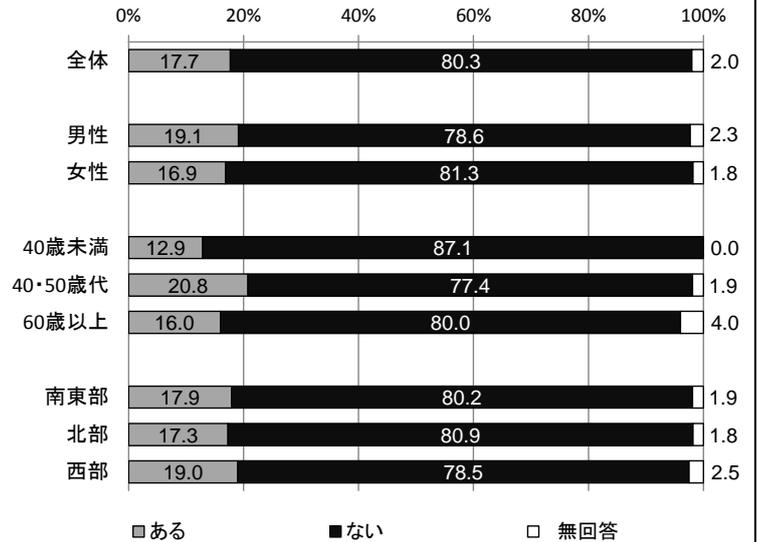
まちづくり指標の達成度

◇「NPO・ボランティア活動」に参加したことがある市民の割合

<全体>



<属性別>



17. コミュニティ活動

■目指す姿

座間市内の各地域において様々な人が知り合い、世代を越えて人と人との交流がはぐくまれ、そうした交流により活性化している地域のコミュニティで暮らすことができます。

■施策の方向

- 地域コミュニティのリーダー育成
- コミュニティ施設の維持管理
- 地域活動等の支援

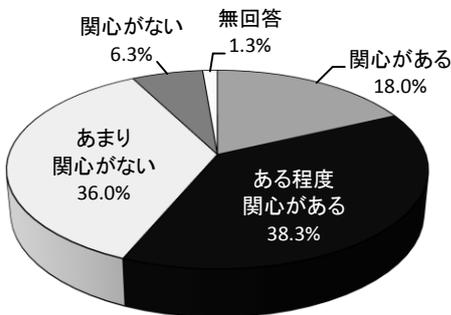
アンケート結果の概要

- ・ 関心度は非常に低く、重要性は比較的低い施策となっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が4割を超え、市民も3割を超えています。
- ・ 市民の地域に対する愛着が深まり、連帯意識が強まってきていると思う人は、2割程度となっています。

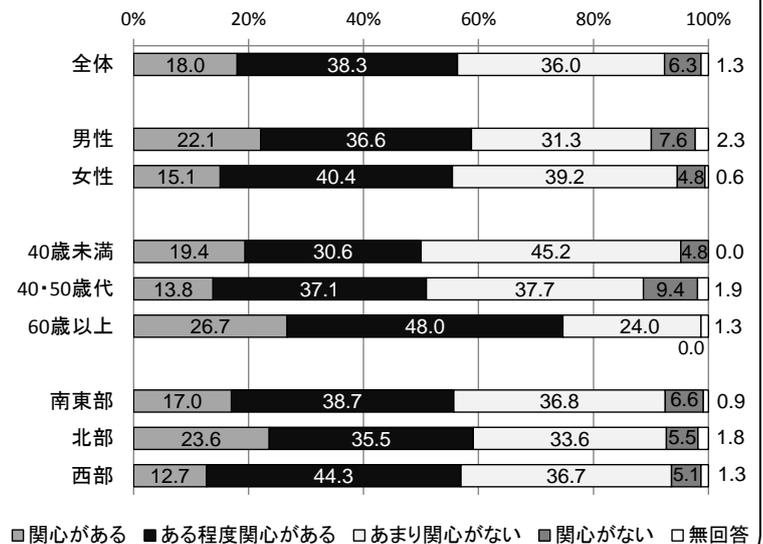
関心度

◇「コミュニティ活動」への関心の有無

<全体>

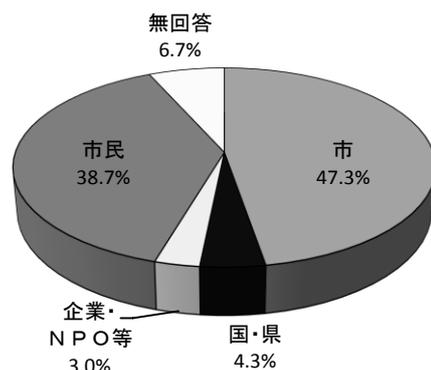


<属性別>



実現するための主体

◇「コミュニティ活動」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



重要性

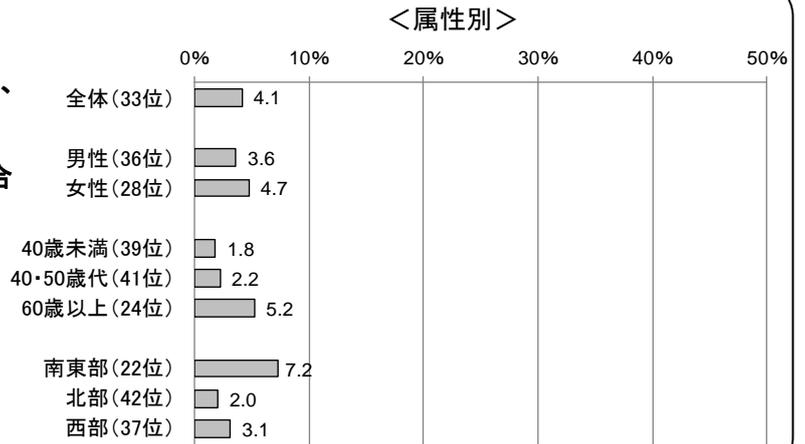
◇座間市が取り組んでいる 52 の施策の中で、
充実してほしい施策として

「コミュニティ活動」を選んだ市民の割合

※52 の施策から 5 つまで選択

「コミュニティ活動」

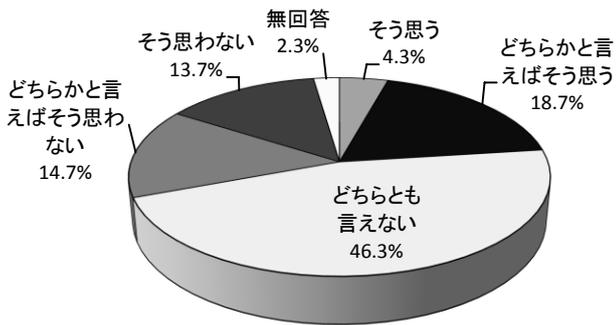
52 施策中 33 位 (4.1%)



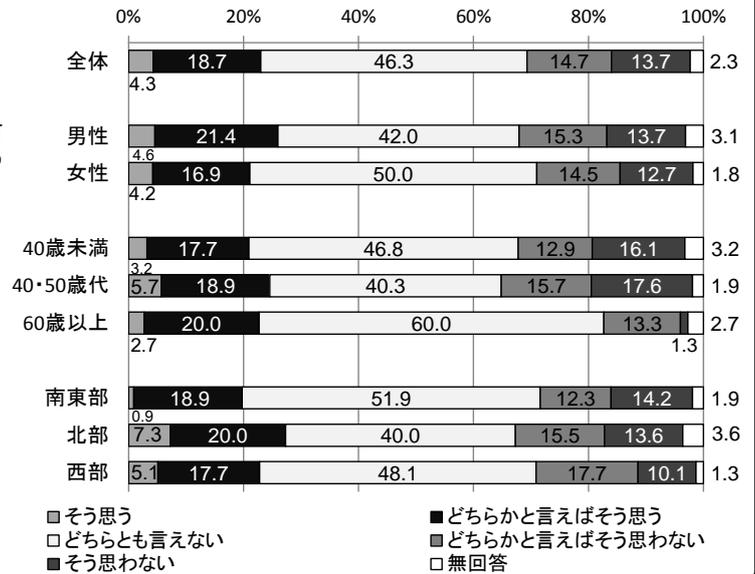
まちづくり指標の達成度

◇市民の地域に対する愛着が深まり、連帯意識が強まってきていると思う市民の割合

<全 体>



<属性別>



18. 市民参画

■目指す姿

市民は、審議会等への参加機会の確保や各々の特性に応じた参加機会が提供されることで、積極的に市政への参画を行っています。

■施策の方向

○市民参画機会の充実

○パートナーシップの推進

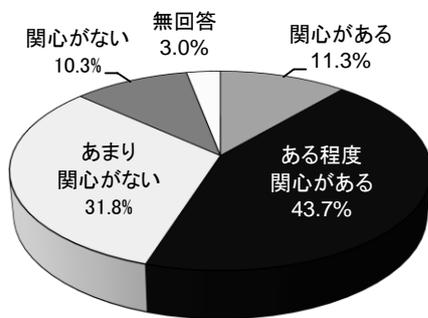
アンケート結果の概要

- ・ 関心度、重要性ともに非常に低い施策となっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市と市民がともに4割程度となっています。
- ・ 過去1年間に市が実施する事業に参加したことがある人は、全体で約2割となっており、年齢別ではとくに60歳以上で高い割合となっています。また、市政への参加の機会が増えてきていると思う市民は、1割を超えており、年齢別ではとくに60歳以上で高い割合となっています。

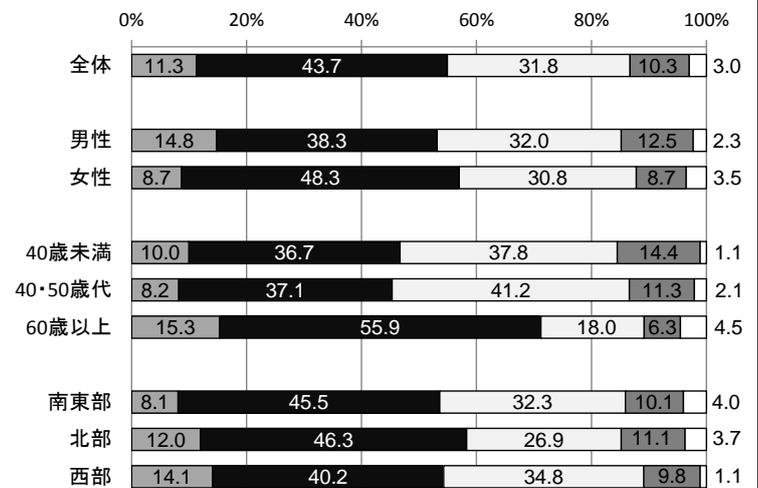
関心度

◇「市民参画」への関心の有無

<全体>



<属性別>

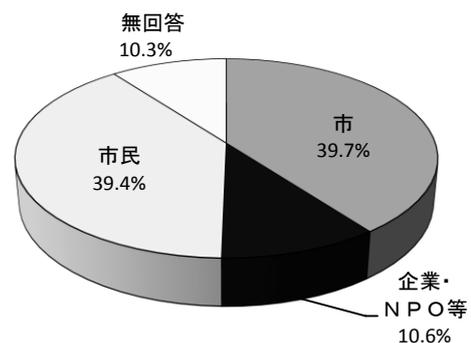


□関心がある ■ある程度関心がある □あまり関心がない ■関心がない □無回答

実現するための主体

◇「市民参画」の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

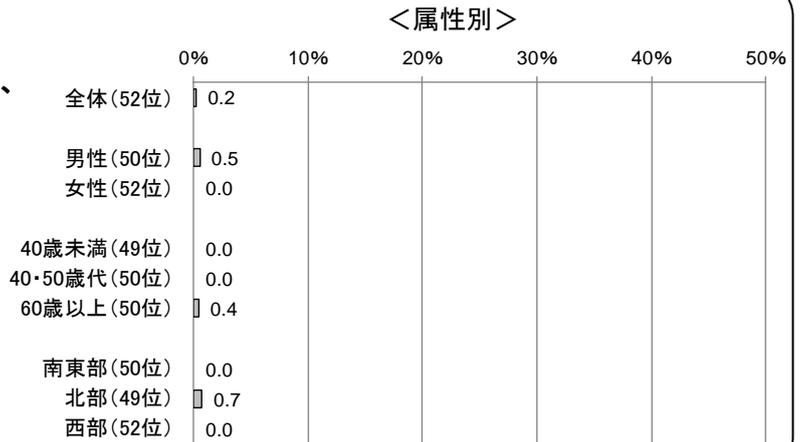


重要性

◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、
充実してほしい施策として「市民参画」
を選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

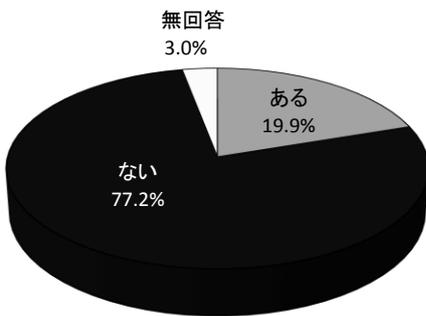
「市民参画」 52施策中52位 (0.2%)



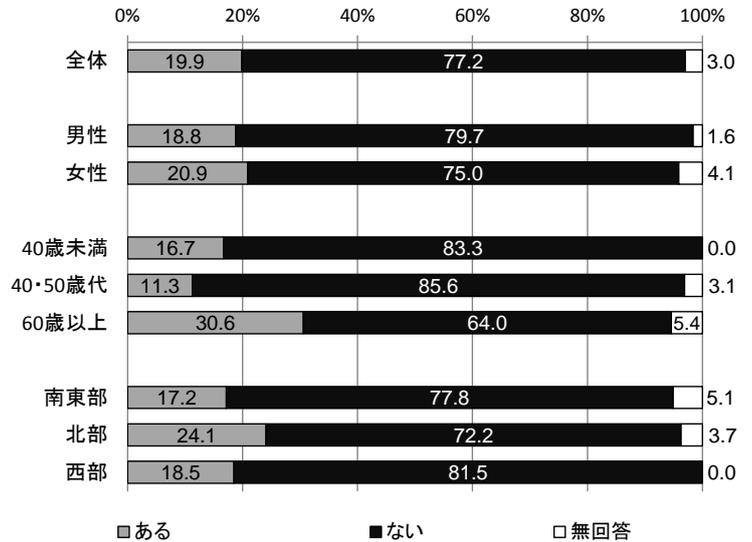
まちづくり指標の達成度

◇過去1年間に市が実施する事業に参加したことがある市民の割合

<全体>

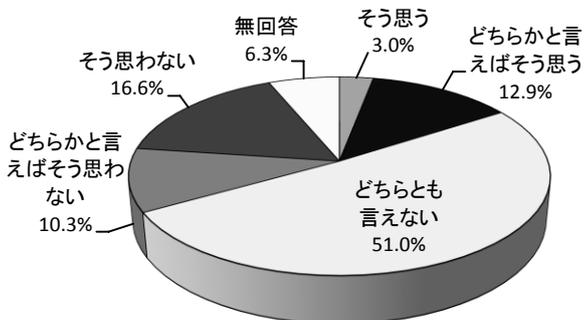


<属性別>

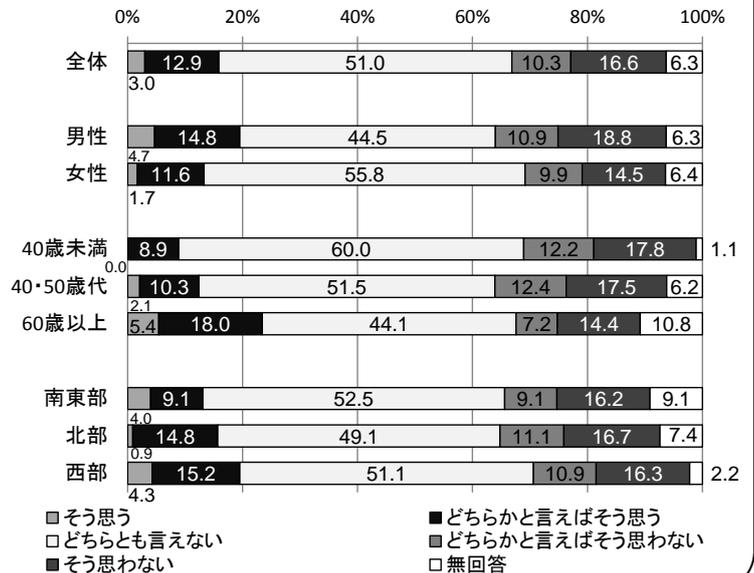


◇市政の参加への機会が増えてきていると思う市民の割合

<全体>



<属性別>



19. 国内外交流

■目指す姿

市民は、国内外の市民レベルの交流事業に積極的に参加し、視野を広げ、うるおいに満ちた生活を営んでいます。

■施策の方向

- 市民による交流活動の支援
- 交流活動団体等の育成
- 居住外国人への庁内体制づくり

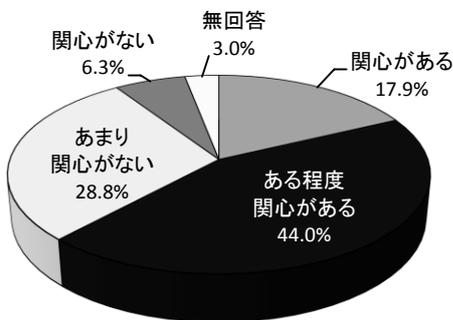
アンケート結果の概要

- ・ 関心度は低く、重要性は非常に低い施策となっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が3割を超え、国・県が2割程度となっています。
- ・ 国内の他自治体との交流の輪をさらに広げたいと思う人は、半数程度となっています。

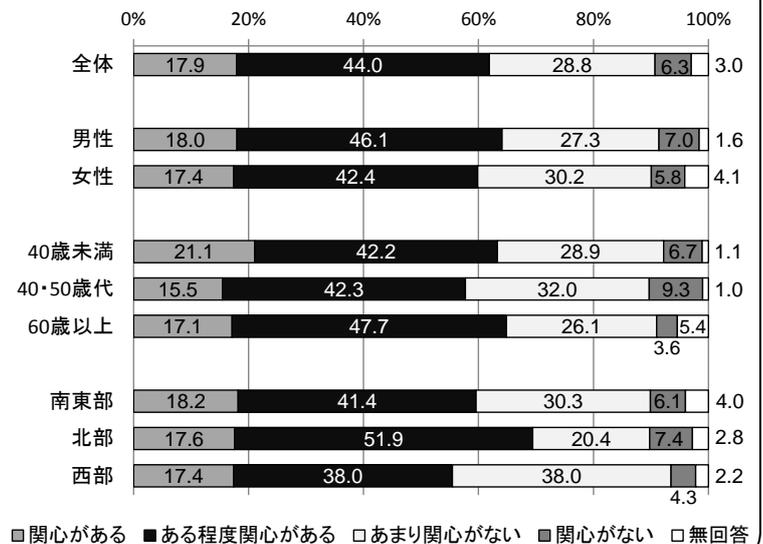
関心度

◇「国内外交流」への関心の有無

<全体>

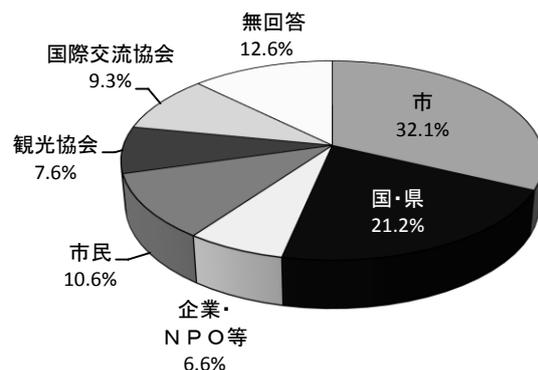


<属性別>



実現するための主体

◇「国内外交流」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

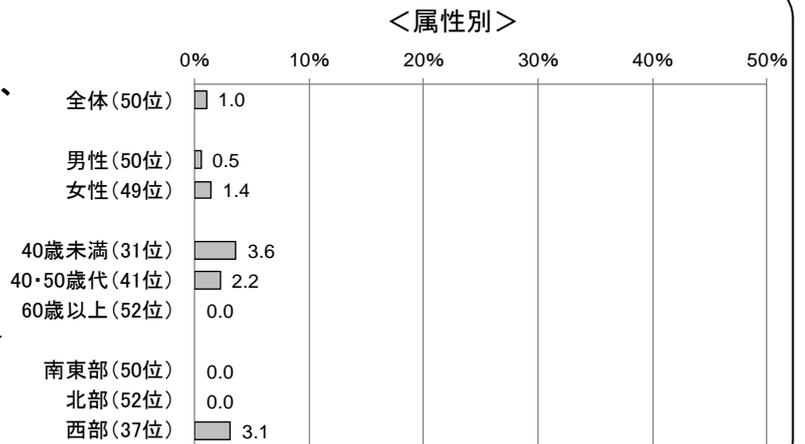


重要性

◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、
充実してほしい施策として「国内外交流」
を選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

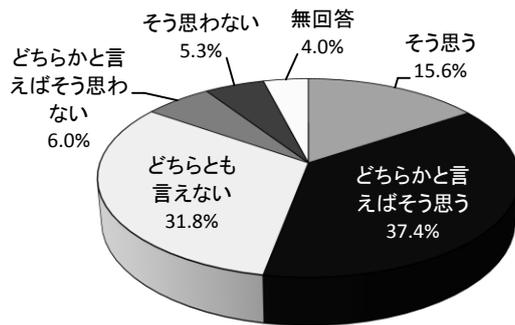
「国内外交流」 52施策中50位 (1.0%)



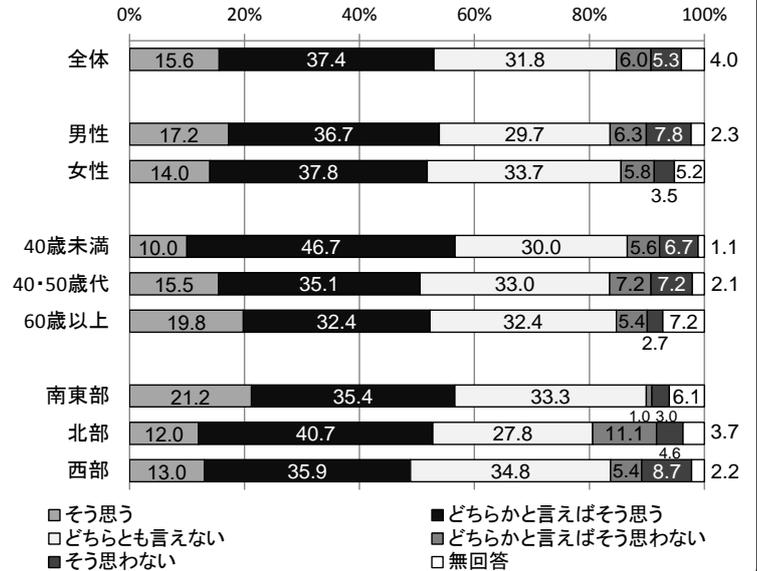
まちづくり指標の達成度

◇国内の他自治体との交流の輪をさらに広げたいと思う市民の割合

<全体>



<属性別>



20. 窓口サービス

■目指す姿

市役所や市の出先機関等に訪れた市民は、円滑で効率的な職員の接遇により快適に各種市民サービスを受けています。

■施策の方向

○職員スキルの向上と人材確保

○窓口サービスの充実

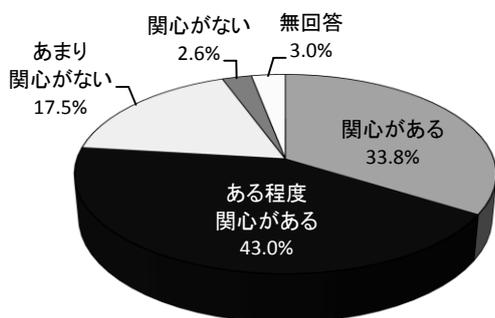
アンケート結果の概要

- ・ 関心度、重要性ともに比較的高い施策となっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が8割以上を占めています。

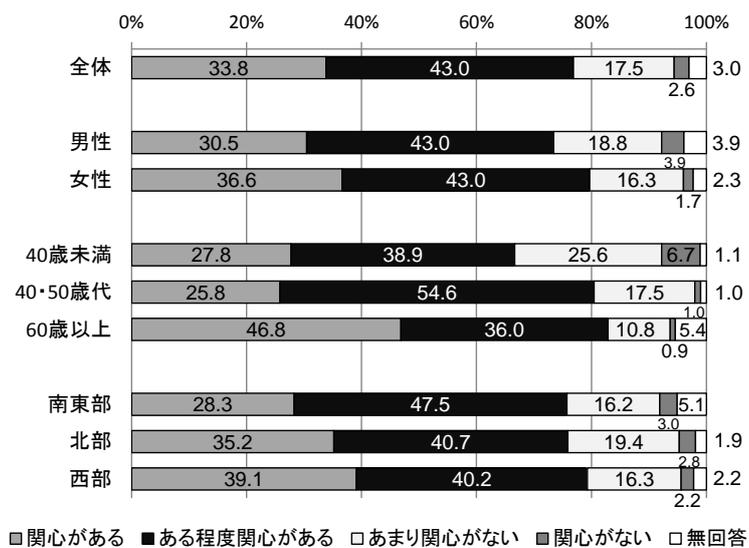
関心度

◇「窓口サービス」への関心の有無

<全体>



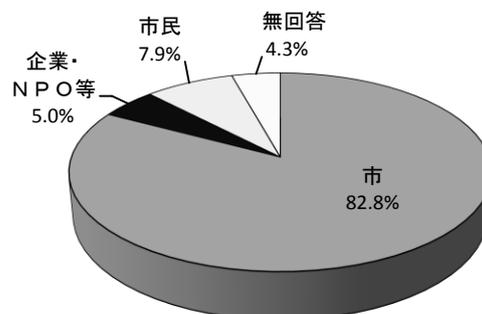
<属性別>



□関心がある ■ある程度関心がある □あまり関心がない ■関心がない □無回答

実現するための主体

◇「窓口サービス」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



重要性

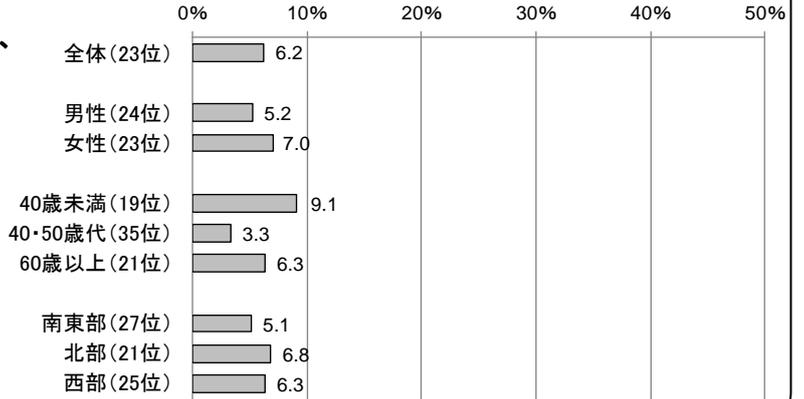
<属性別>

◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、
充実してほしい施策として
「窓口サービス」を選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

「窓口サービス」

52施策中23位(6.2%)



21. 交通安全

■目指す姿

市民は、市、警察及び関係団体による交通安全対策や道路環境整備等により、交通事故の危険性が低い生活を送っています。

■施策の方向

○交通安全施設の整備

○路上駐車対策の推進

○交通安全教育と啓発

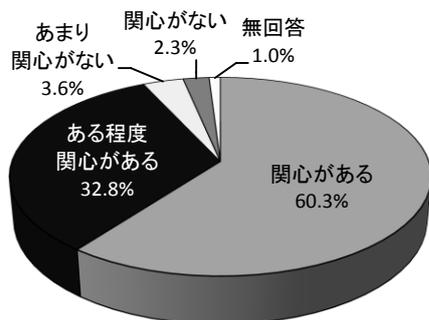
アンケート結果の概要

- ・ 関心度は非常に高く、重要性は高い施策となっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が4割近く、国・県が3割近く、市民2割程度となっています。

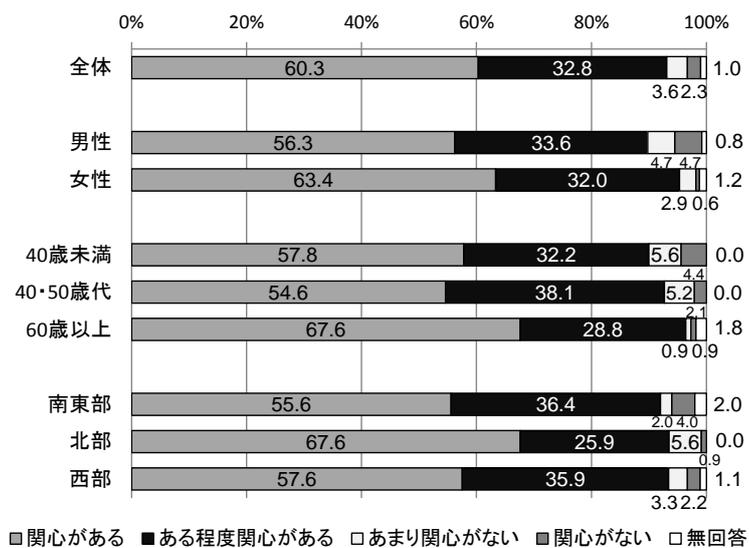
関心度

◇「交通安全」への関心の有無

<全体>



<属性別>

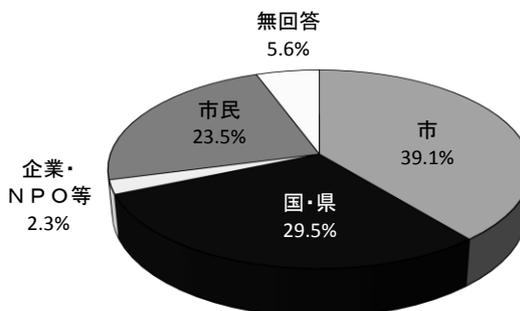


□関心がある ■ある程度関心がある □あまり関心がない ■関心がない □無回答

実現するための主体

◇「交通安全」の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

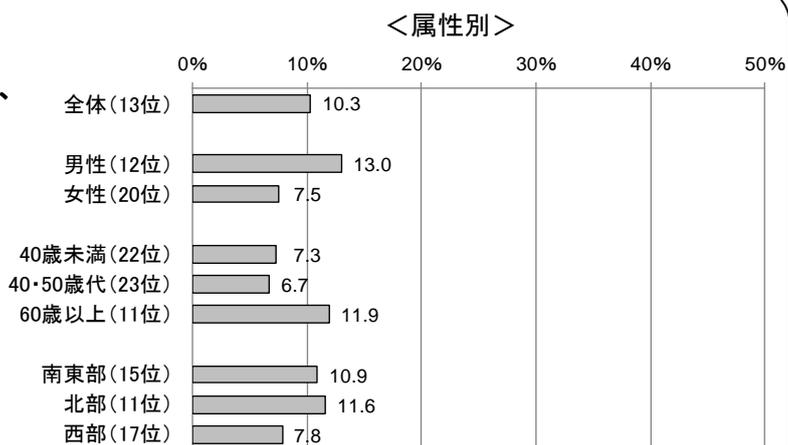


重要性

◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、
充実してほしい施策として「交通安全」
を選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

「交通安全」 52施策中13位 (10.3%)



22. 防犯

■目指す姿

市民は、市が警察や関係団体と行う防犯活動を理解し、自らも地域の防犯活動に積極的に取り組むことにより、安全に安心して暮らしています。

■施策の方向

- 市民・警察等との連携
- 防犯活動・防犯組織の充実
- 防犯活動団体の育成
- 防犯設備の整備
- 犯罪情報等の提供

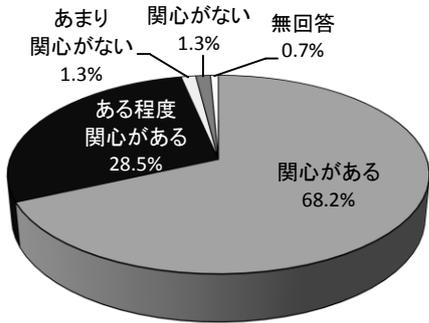
アンケート結果の概要

- ・ 関心度、重要性ともに非常に高い施策となっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が4割程度で、市民が3割を超えています。
- ・ 4割を超える人が、安心して暮らせるまちになってきていると思うと回答しています。

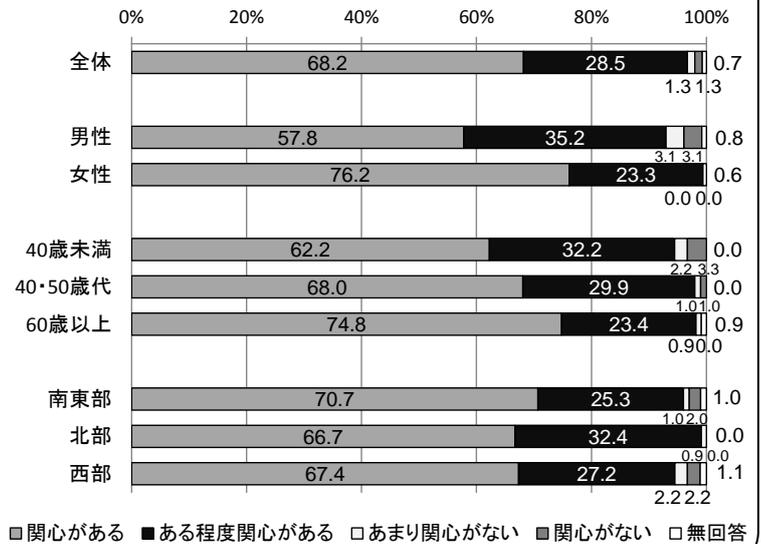
関心度

◇「防犯」への関心の有無

<全体>



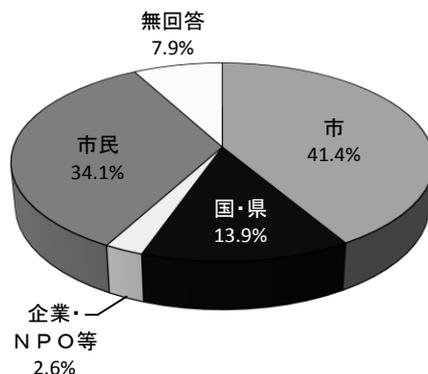
<属性別>



実現するための主体

◇「防犯」の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

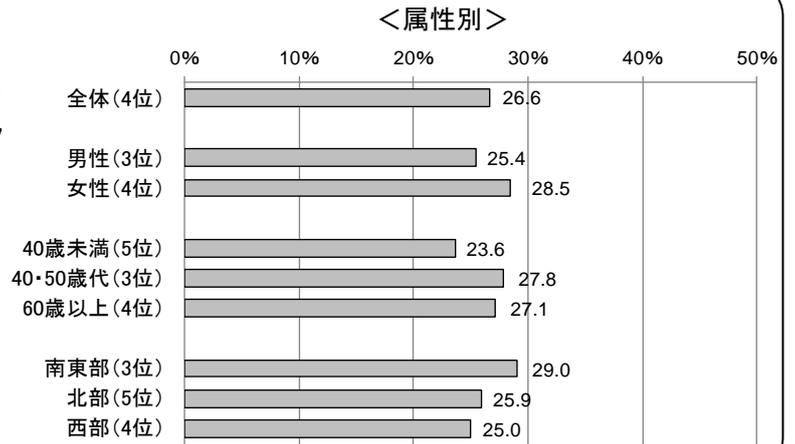


重要性

◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、充実してほしい施策として「防犯」を選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

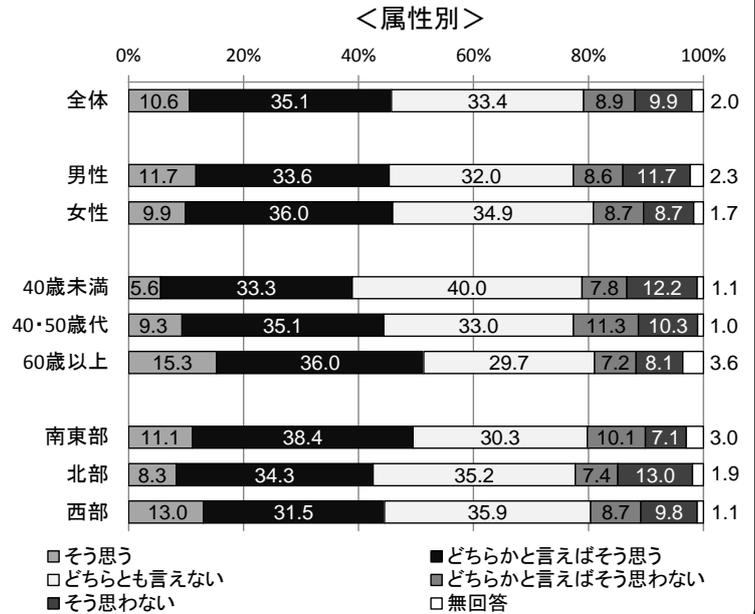
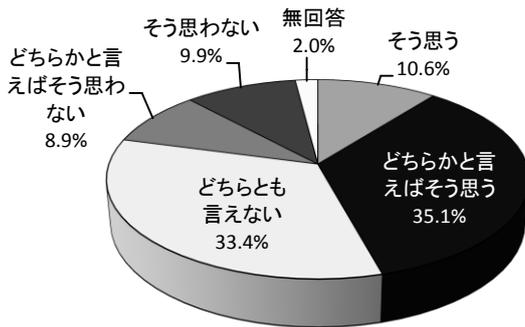
「防犯」 52施策中4位 (26.6%)



まちづくり指標の達成度

◇地域住民による自主パトロールや防犯灯の整備などによって、安心して暮らせるまちになってきていると思う市民の割合

<全体>



23. 防災・減災

■目指す姿

市民は、自らの生命、身体、財産を守るため、家庭では住宅の安全や食料等の確保を行い、地域では自主防災組織に参加し、自ら災害に備えています。

■施策の方向

- 各種防災機材等の維持・更新
- 防災体制の整備
- 災害対応等の知識・技術の普及啓発
- 災害情報等の収集・提供

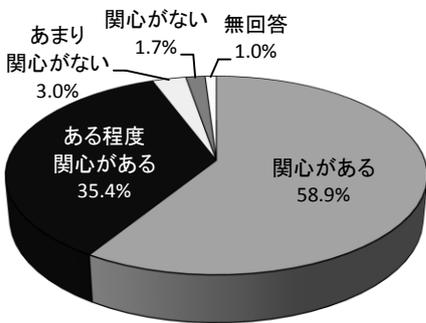
アンケート結果の概要

- ・ 関心度、重要性ともに非常に高い施策となっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が3割を超え、市民、国・県も2割を超えています。
- ・ 災害が起きたときに、住民同士が協力し合う体制づくりが進んできていると思う人は、2割程度となっています。

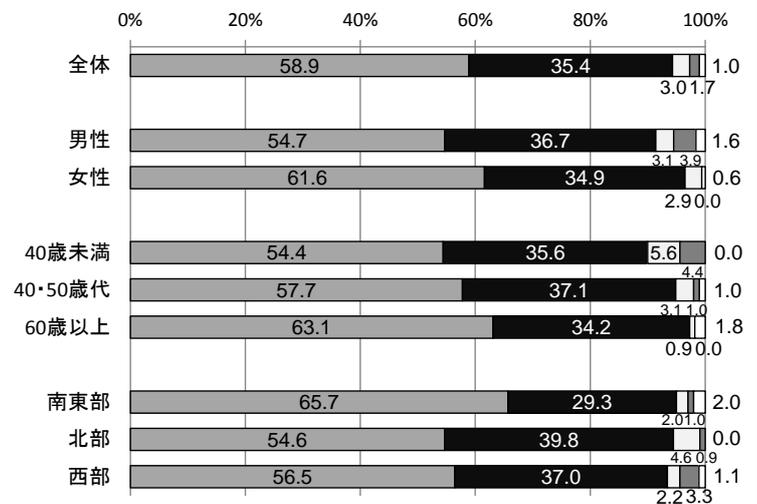
関心度

◇「防災・減災」への関心の有無

<全体>



<属性別>

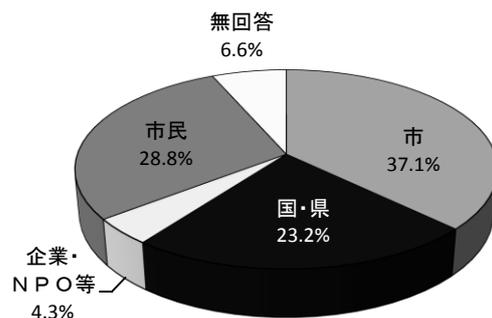


■関心がある ■ある程度関心がある □あまり関心がない ■関心がない □無回答

実現するための主体

◇「防災・減災」の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



重要性

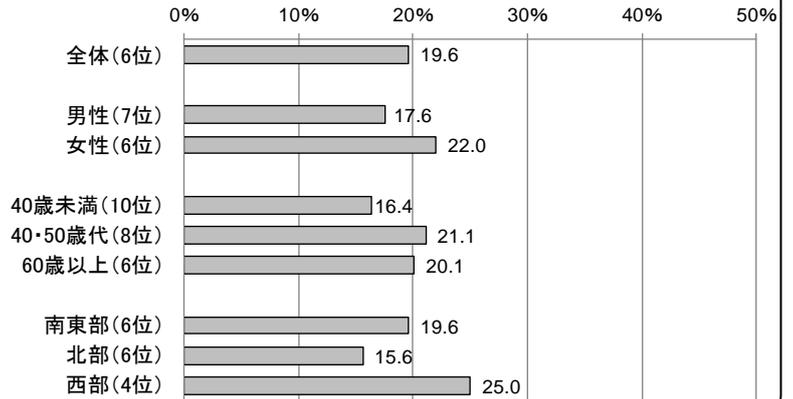
◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、
充実してほしい施策として「防災・減災」
を選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

「防災・減災」

52施策中6位(19.6%)

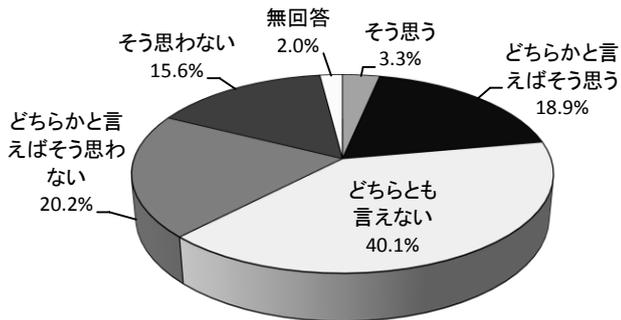
<属性別>



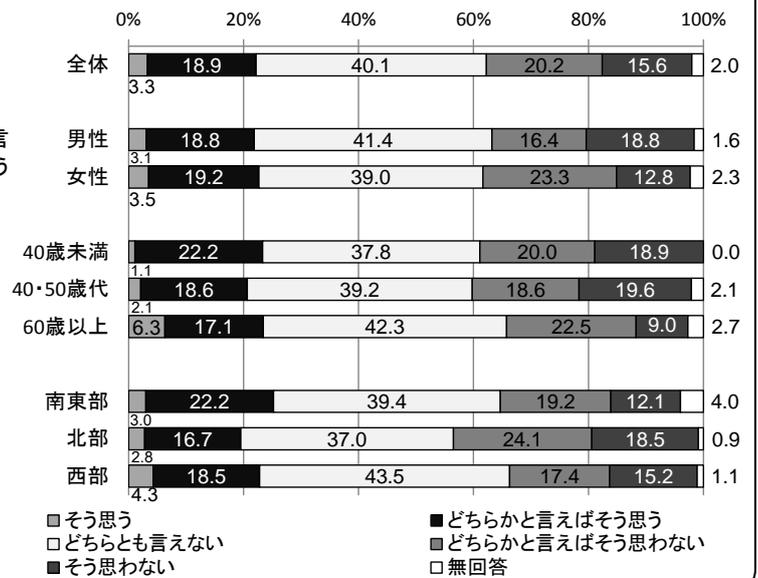
まちづくり指標の達成度

◇災害が起きたときに、自主防災組織をはじめとして住民同士が協力し合う体制づくりが進んでいる
と思う市民の割合

<全体>



<属性別>



24. 消防

■目指す姿

市民は、自主的な消防訓練を実施していることにより、火災等を未然に防ぐとともに、発生した時でも被害が最小限に抑えられる安心感を持って暮らしています。

市民は、高規格救急車や救急救命士の充実、強化により、的確で迅速な搬送を受けられ、安心感を持って暮らしています。

■施策の方向

- 消防施設等の整備・充実
- 消防の広域化・共同化
- 職員の資質向上
- 水防対策の推進

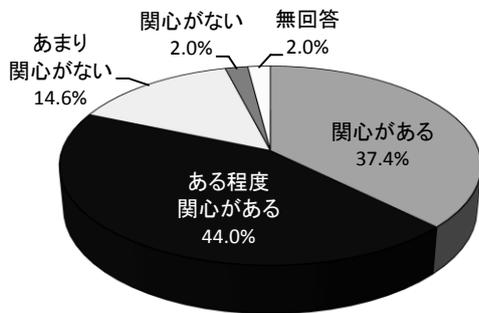
アンケート結果の概要

- ・ 関心度は高く、重要性は低い施策となっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が6割近く、国・県が約2割となっています。

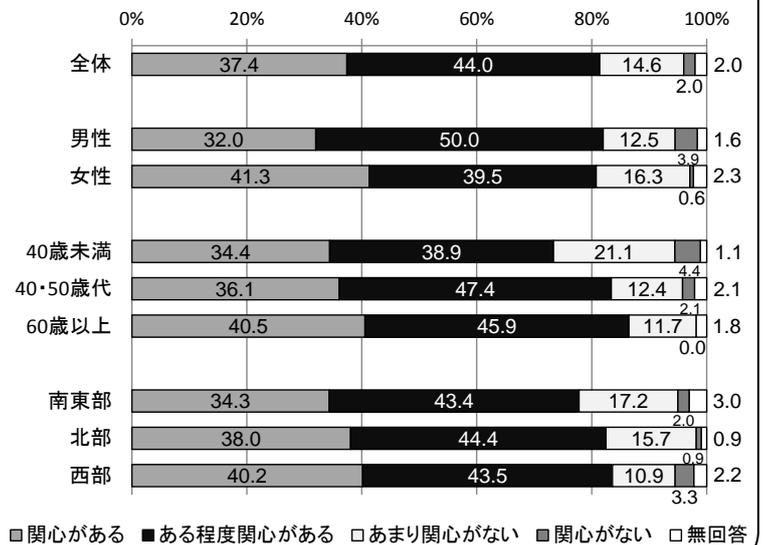
関心度

◇「消防」への関心の有無

<全体>



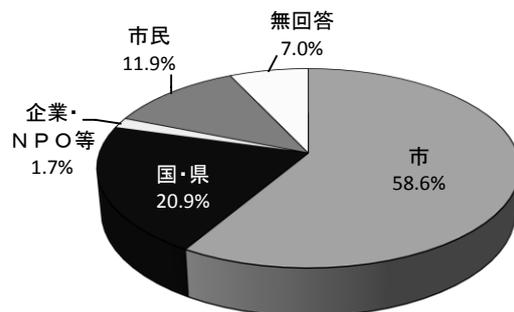
<属性別>



実現するための主体

◇「消防」の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



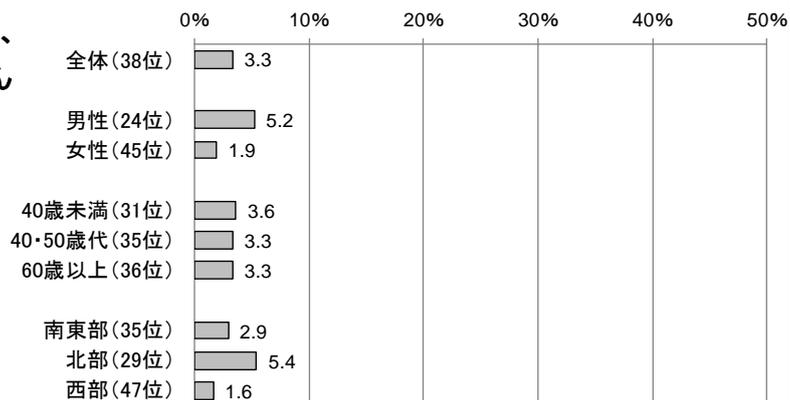
重要性

<属性別>

◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、
充実してほしい施策として「消防」を選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

「消防」 52施策中38位 (3.3%)



政策4 のびやかに 豊かな心 はぐくむまち

25. 教育環境

■目指す姿

小・中学校では、安全で快適な施設環境の下で、児童、生徒が充実した教材を活用し、生き生きとして学習に取り組んでいます。

また、各種の就学援助制度により、経済的に安心して就学できる体制が整っています。

■施策の方向

- 安全・快適な教育施設環境の確保
- 情報機器等の整備
- 多面的な教育振興
- 教育センターの調査研究
- 教育委員会の運営

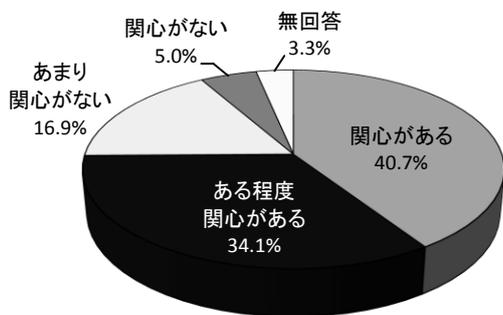
アンケート結果の概要

- ・ 関心度、重要性ともに比較的高い施策となっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市と国・県とともに4割程度となっています。

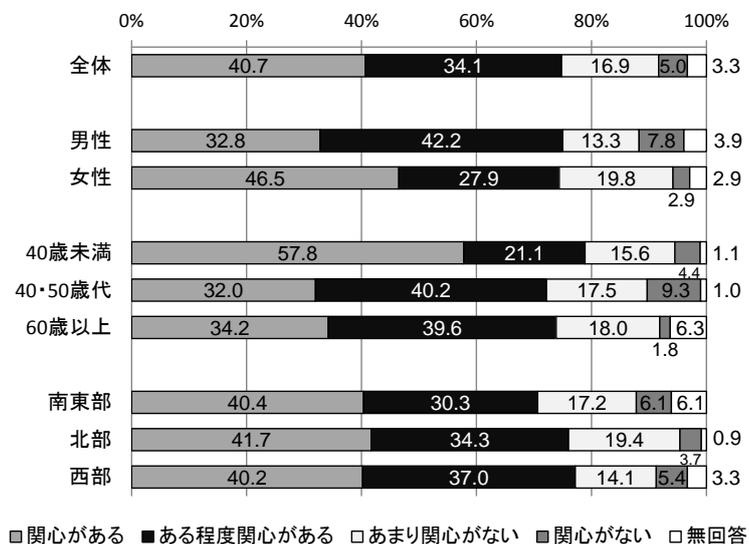
関心度

◇「教育環境」への関心の有無

<全体>



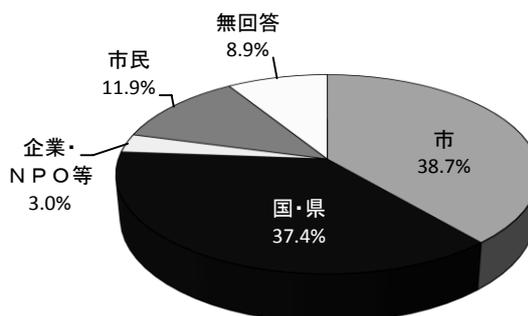
<属性別>



実現するための主体

◇「教育環境」の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



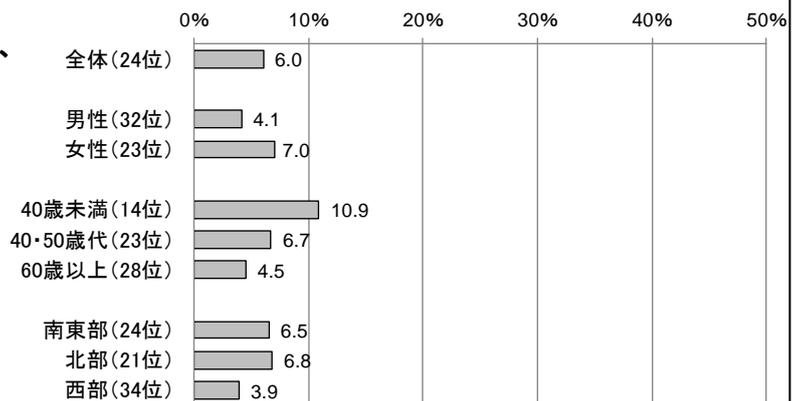
重要性

<属性別>

◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、
充実してほしい施策として「教育環境」
を選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

「教育環境」 52施策中24位 (6.0%)



26. 学校保健

■目指す姿

子どもたちは、各種健康診断の実施や安全、安心で栄養バランスの取れたおいしい給食を食べることにより、健康保持、健康増進が図られ、衛生的な環境の下、心身ともに健康な学校生活を送っています。

■施策の方向

- 健康管理の実施
- 環境衛生の維持・改善
- 給食の施設・設備の充実
- 教職員の福利厚生事業の支援
- 保護者の経済的負担軽減

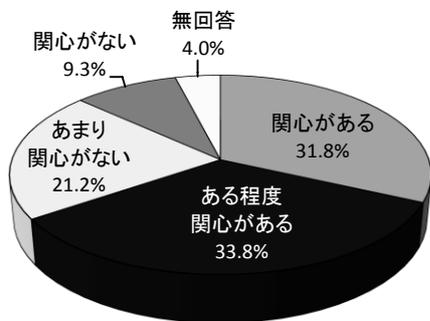
アンケート結果の概要

- ・ 関心度は低く、重要性は比較的高い施策となっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が半数程度を占め、国・県が3割近くになっています。

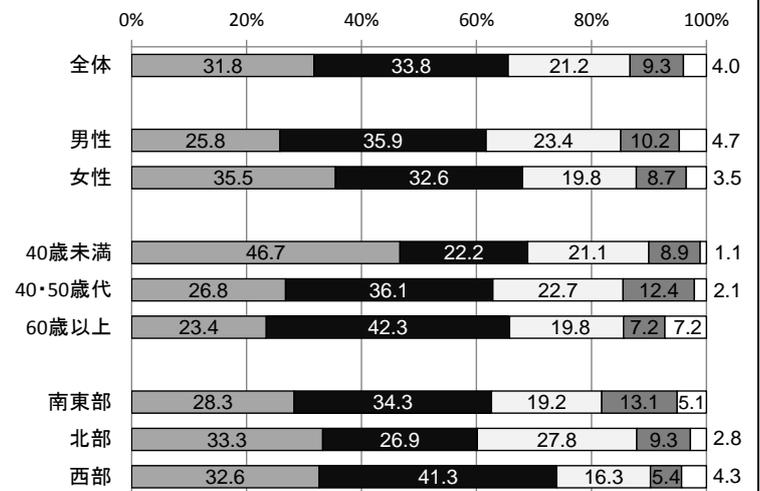
関心度

◇「学校保健」への関心の有無

<全体>



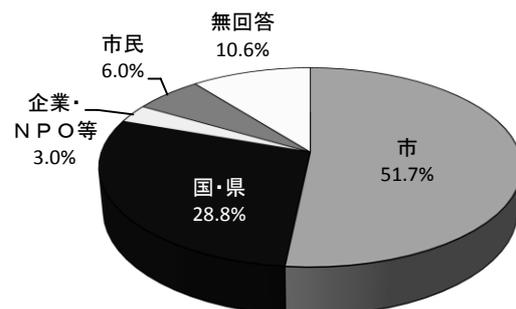
<属性別>



□関心がある ■ある程度関心がある □あまり関心がない ■関心がない □無回答

実現するための主体

◇「学校保健」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



重要性

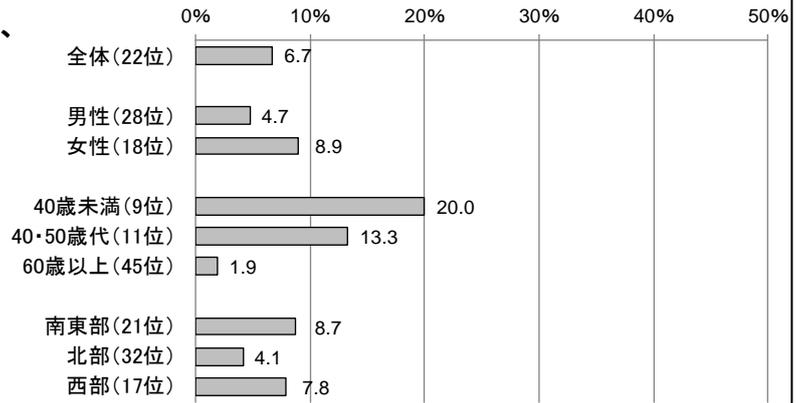
<属性別>

◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、
充実してほしい施策として「学校保健」

を選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

「学校保健」 52施策中22位 (6.7%)



27. 教育活動

■目指す姿

子どもたちは、家庭・学校・地域の中で各々の個性を尊重し、ともに学びあうことを通して一人ひとりが豊かな心をはぐくみ、生きる力を培い、明るく元気な生活を送っています。

■施策の方向

- 教育指導の計画的実施 ○地域連携による学校づくり ○児童生徒に適した指導・支援
- 情報化・国際化教育の推進 ○調査研究や研修講座の充実 ○教育相談体制の充実

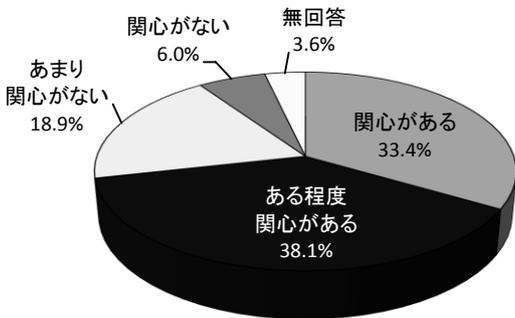
アンケート結果の概要

- ・ 関心度は比較的高く、重要性は高い施策となっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が3割を超え、市民（家族・地域を含む）と国・県が2割を超えています。
- ・ 社会の変化に対応した教育が進められてきていると思う人は全体で1割程度となっています。

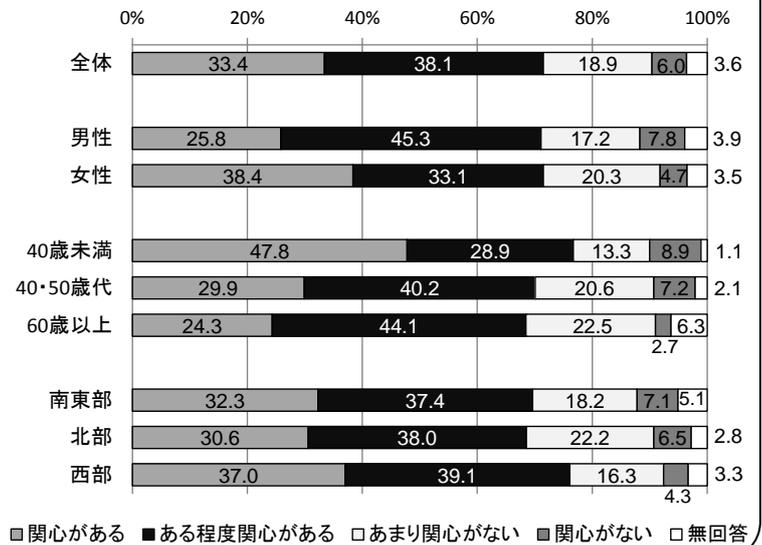
関心度

◇「教育活動」への関心の有無

<全体>

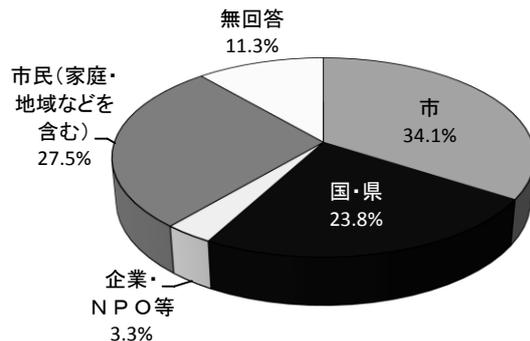


<属性別>



実現するための主体

◇「教育活動」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

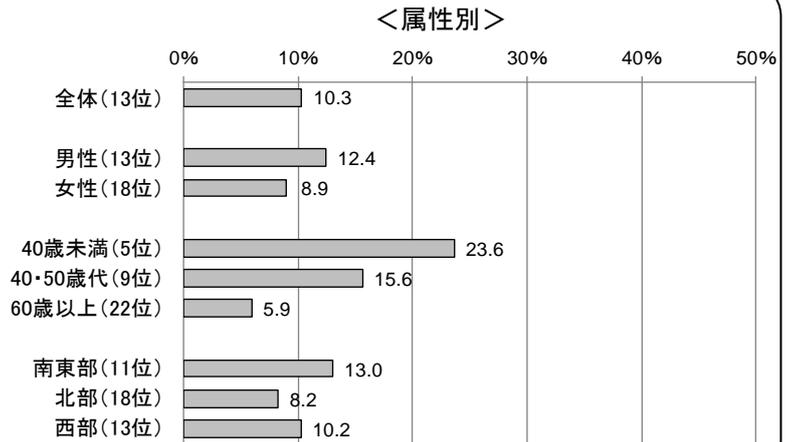


重要性

◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、
充実してほしい施策として「教育活動」
を選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

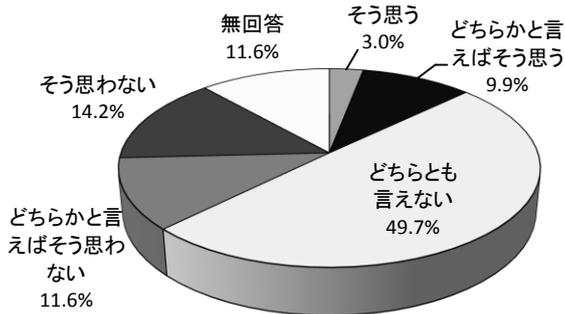
「教育活動」 52施策中13位 (10.3%)



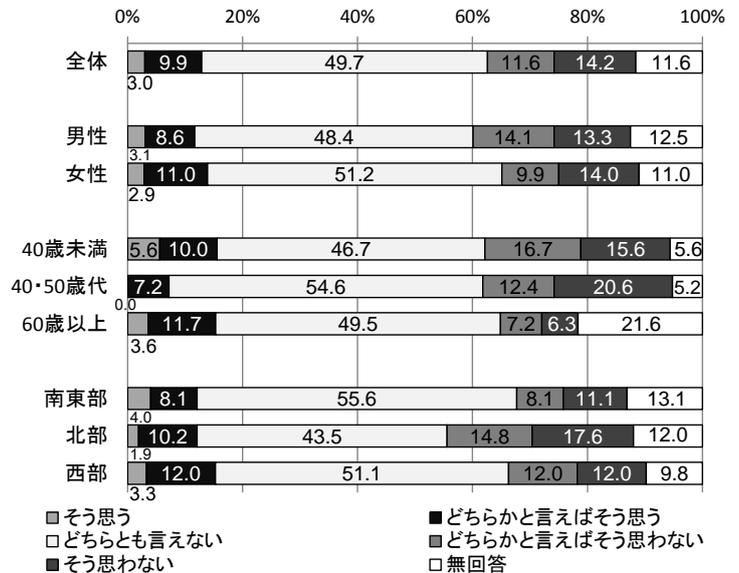
まちづくり指標の達成度

◇情報化社会、国際化社会など社会の変化に対応した教育が進められてきていると思う市民の割合

<全体>



<属性別>



28. 生涯学習

■目指す姿

市民は、自ら関心のある生涯学習や社会の要請にこたえた学習に積極的に取り組み、その成果を生かした豊かな生活を送っています。

■施策の方向

- 学習機会と拠点施設の充実
- 生涯学習活動指導者の養成

○学習環境の整備

○市民自主企画講座の支援

○生涯学習施設運営への市民参加推進

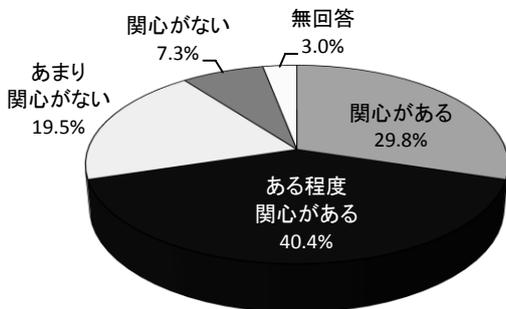
アンケート結果の概要

- ・ 関心度、重要性ともに比較的低い施策となっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が半数程度を占めています。
- ・ 生涯学習の環境が整備されてきていると思う人は、1割を超える程度となっています。

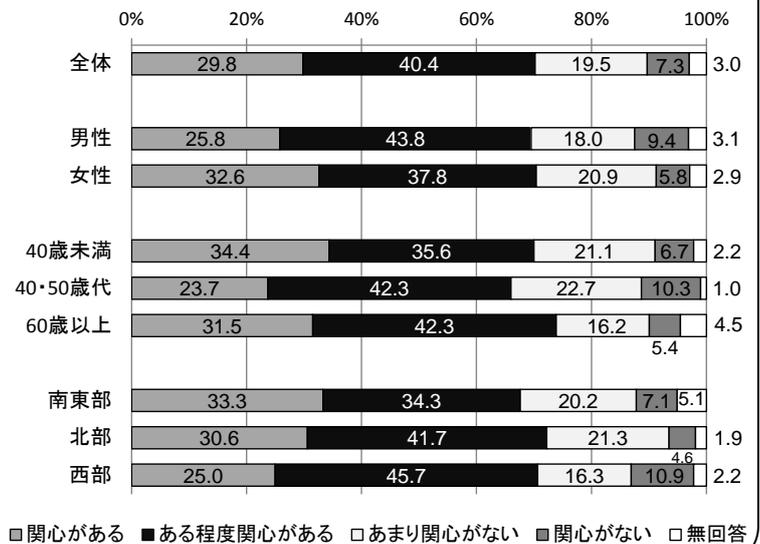
関心度

◇「生涯学習」への関心の有無

<全体>



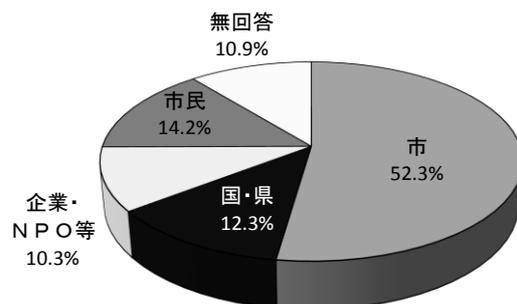
<属性別>



実現するための主体

◇「生涯学習」の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

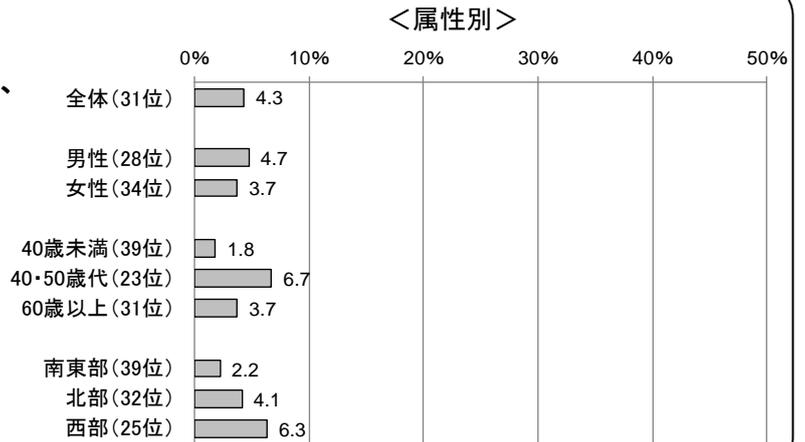


重要性

◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、
充実してほしい施策として「生涯学習」
を選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

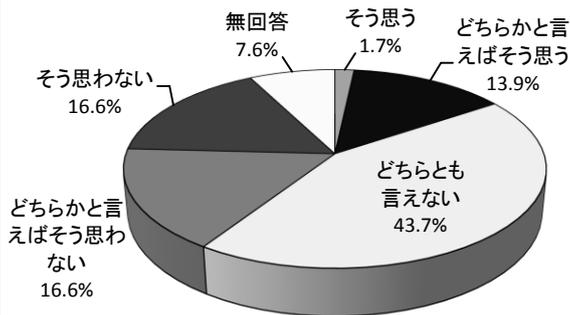
「生涯学習」 52施策中31位 (4.3%)



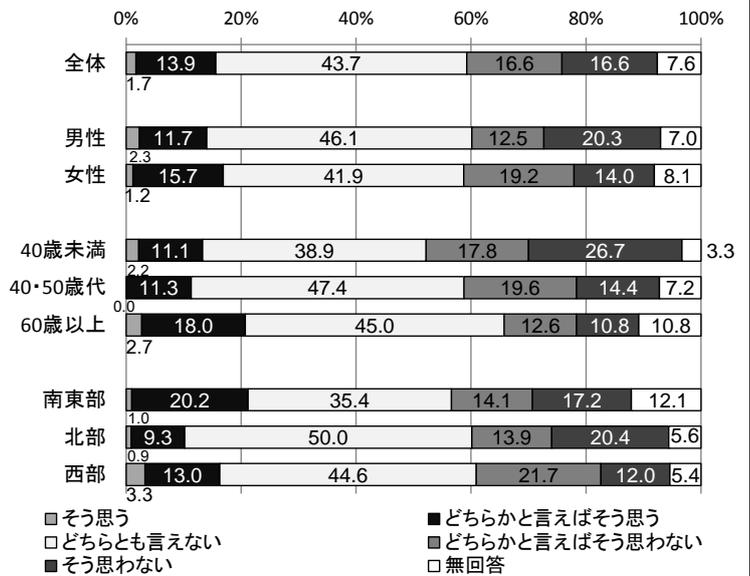
まちづくり指標の達成度

◇「いつでも、どこでも、だれでも学べる」という生涯学習の環境が整備されてきていると思う市民の割合

<全体>



<属性別>



29. 市民文化

■目指す姿

市民は、芸術文化を親しみ豊かな生活を営むとともに、地域の歴史や文化財への関心を高め、次世代に伝える活動に取り組んでいます。

■施策の方向

- 文化施設の整備・維持管理及び運営
- 歴史・伝統文化の保存と継承

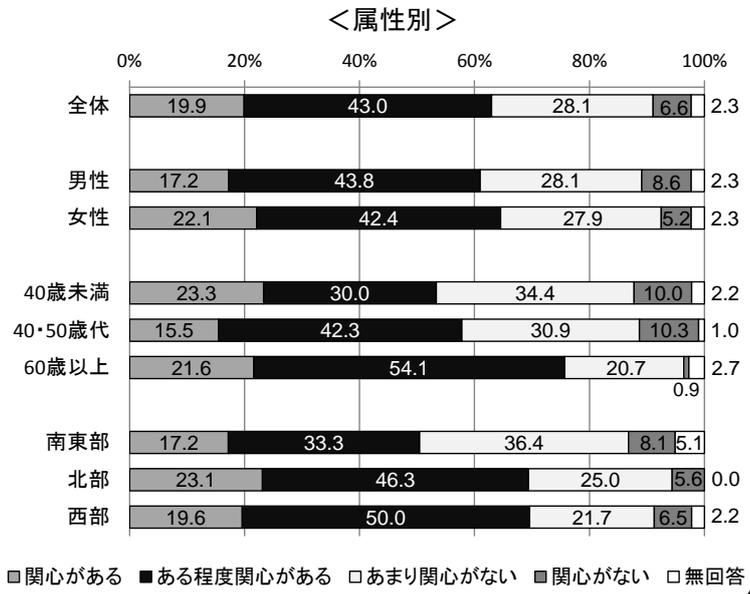
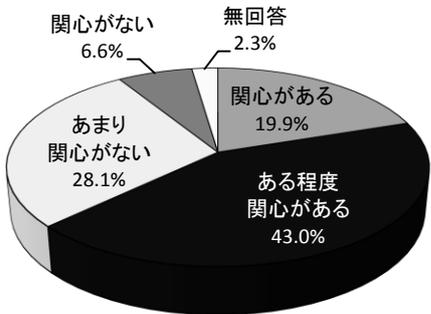
- 市民の文化活動支援

アンケート結果の概要

- ・ 関心度、重要性ともに低い施策となっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が半数程度を占め、市民は3割程度となっています。
- ・ 1割を超える人が、何らかの芸術文化活動を行っていると回答し、年齢別ではとくに60歳以上で比較的高い割合となっています。
- ・ 歴史・伝統文化が保存・継承されてきていると思う人は、7割以上となっています。

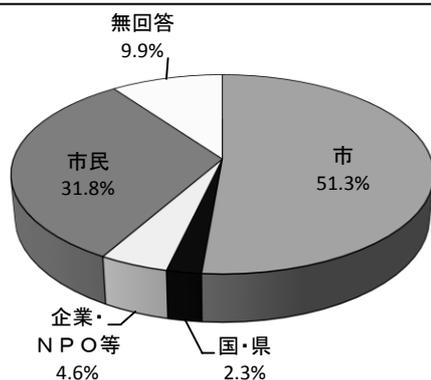
関心度

◇「市民文化」への関心の有無
＜全体＞



実現するための主体

◇「市民文化」の実現において
最も重要な役割を果たすべきと考えられている
主体の割合

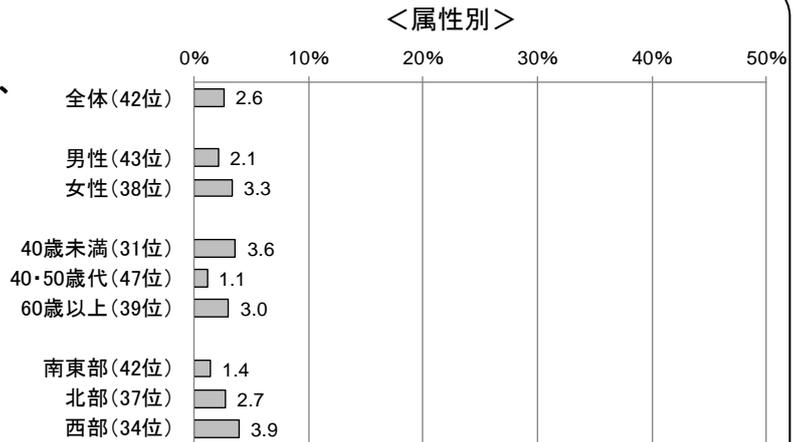


重要性

◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、
充実してほしい施策として「市民文化」
を選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

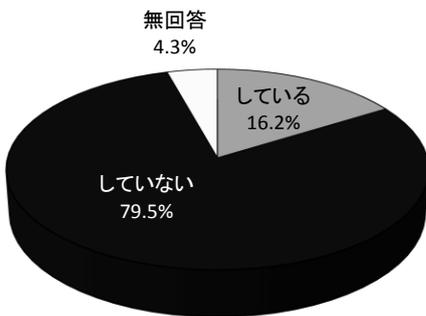
「市民文化」 52施策中42位 (2.6%)



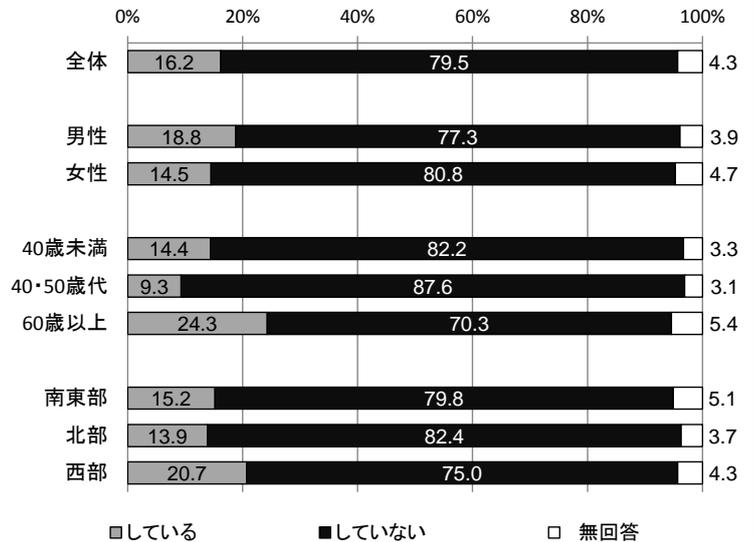
まちづくり指標の達成度

◇何らかの芸術文化活動を行っている市民の割合

<全体>

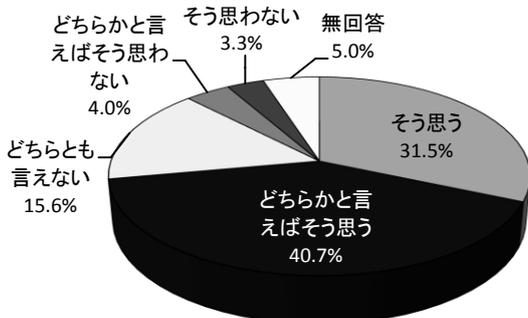


<属性別>

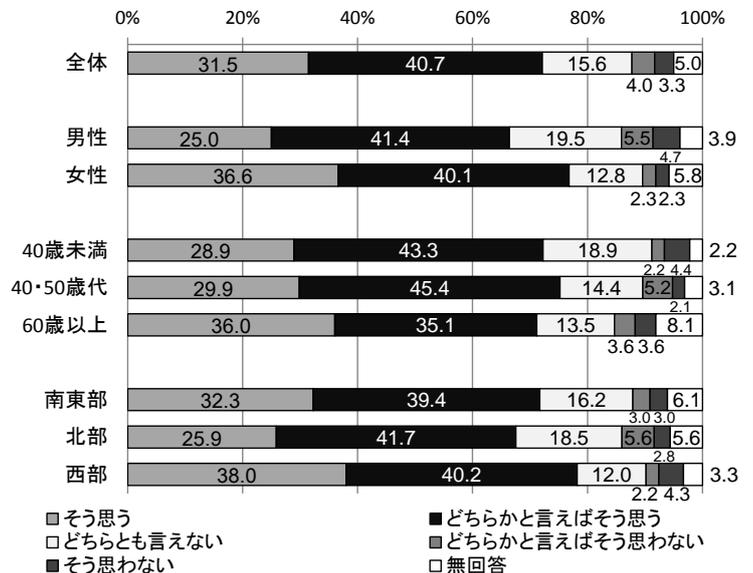


◇「大凧揚げ」など歴史・伝統文化が保存・継承されてきていると思う市民の割合

<全体>



<属性別>



30. 青少年育成

■目指す姿

本市の青少年は、学校生活やスポーツ、文化活動を通じ、めまぐるしく変化する社会情勢にも対応して、夢や希望を抱いて積極的な社会生活を送ることのできる自立した大人になるよう成長しています。

■施策の方向

- 青少年施設の充実
- ボランティアの育成等の支援
- 青少年健全育成諸団体との連携
- 青少年相談業務の充実
- 青少年の健全化活動

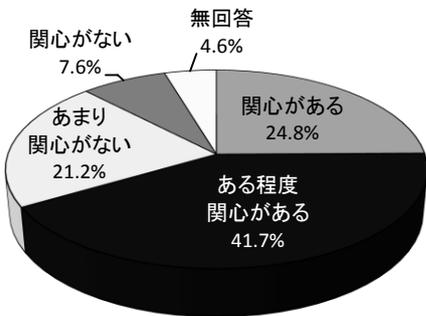
アンケート結果の概要

- ・ 関心度は比較的 low、重要性は低い施策となっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が4割程度で、市民も2割を超えています。
- ・ 1割近くの人が、過去1年間に何らかの青少年育成活動にかかわったことがあると回答しています。
- ・ ボランティア活動などを通じた青少年の社会参加が増えてきていると思う人は1割程度です。

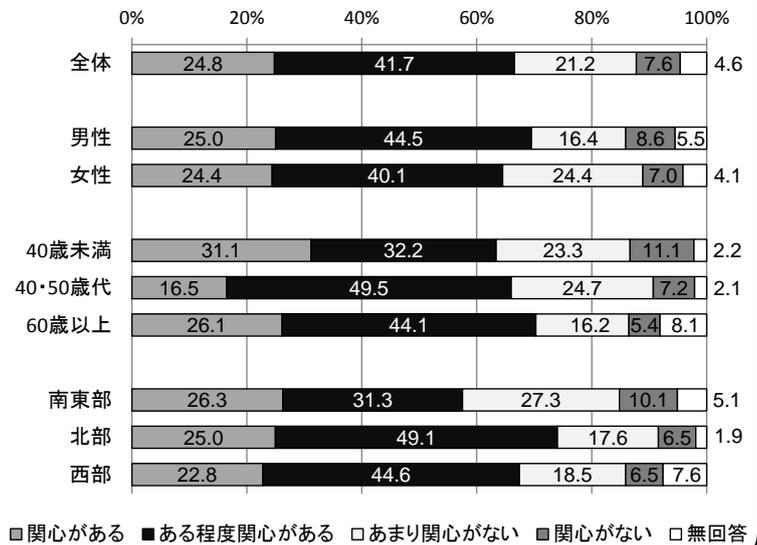
関心度

◇「青少年育成」への関心の有無

<全体>



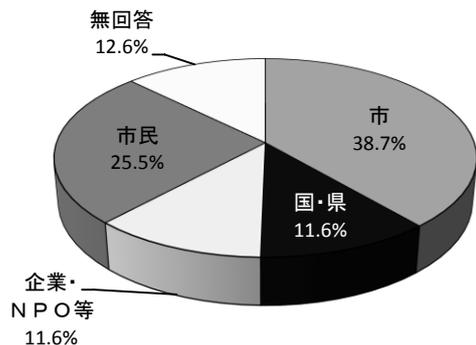
<属性別>



実現するための主体

◇「青少年育成」の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

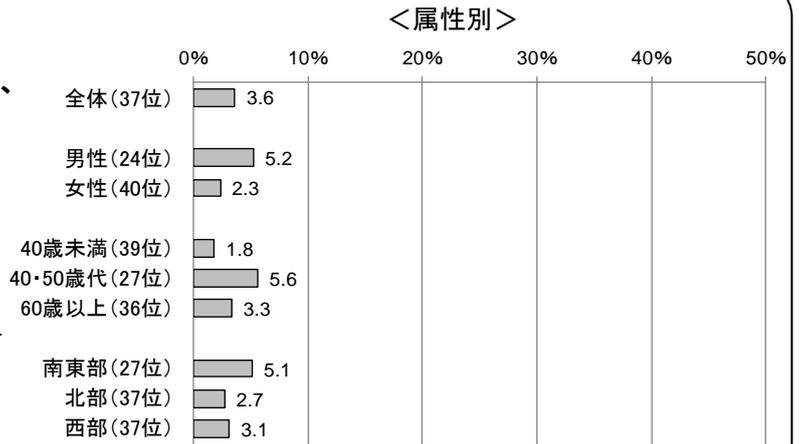


重要性

◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、充実してほしい施策として「青少年育成」を選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

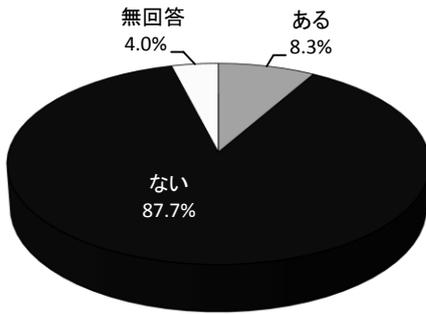
「青少年育成」 52施策中37位 (3.6%)



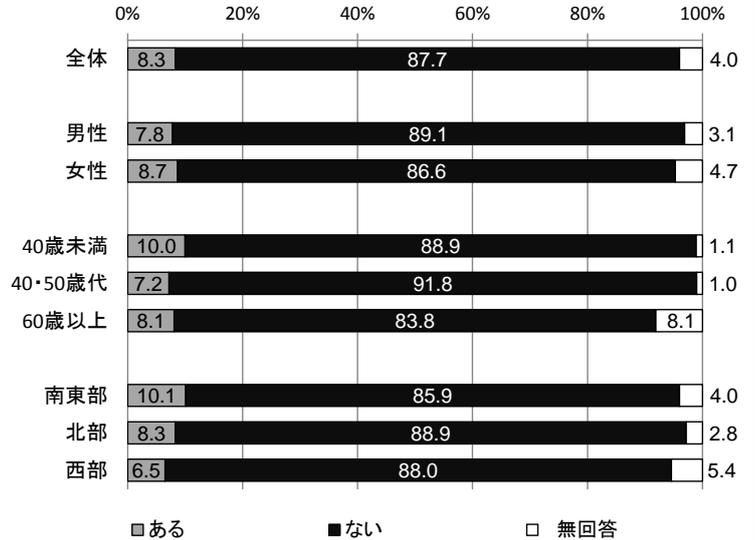
まちづくり指標の達成度

◇過去1年間に何らかの青少年育成活動にかかわったことのある市民の割合

<全体>

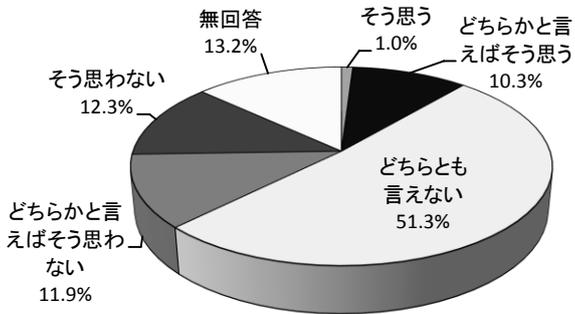


<属性別>

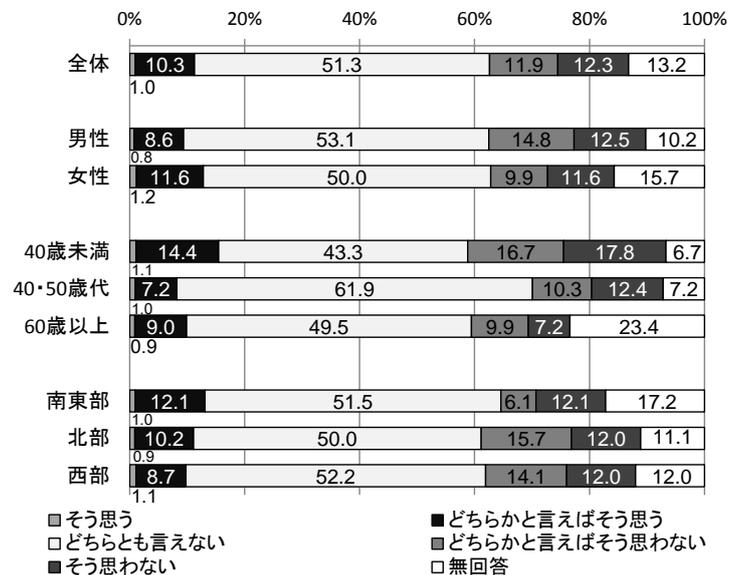


◇ボランティア活動などを通じた青少年の社会参加が増えてきていると思う市民の割合

<全体>



<属性別>



政策5 暮らし快適 魅力あるまち

31. 公共交通

■目指す姿

市民が自家用車利用から公共交通へと交通手段を変更することで地域環境負荷の低減が進むとともに、高齢者をはじめ自家用車の運転が困難な市民も市内を円滑に移動できるまちになっています。

■施策の方向

- 輸送力強化の促進
- 総合交通体系の整備

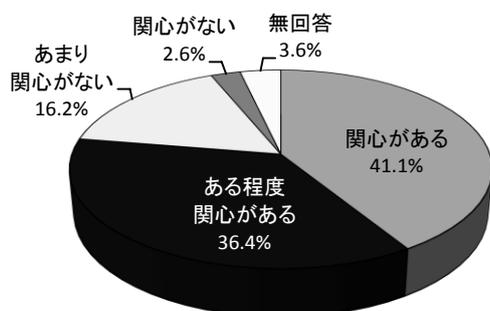
アンケート結果の概要

- ・ 関心度、重要性ともに比較的高い施策となっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が半数近くを占め、国・県も2割を超えています。
- ・ 4割程度の方が、公共交通機関が発達し、市内、市外への移動が便利になってきていると回答しています。

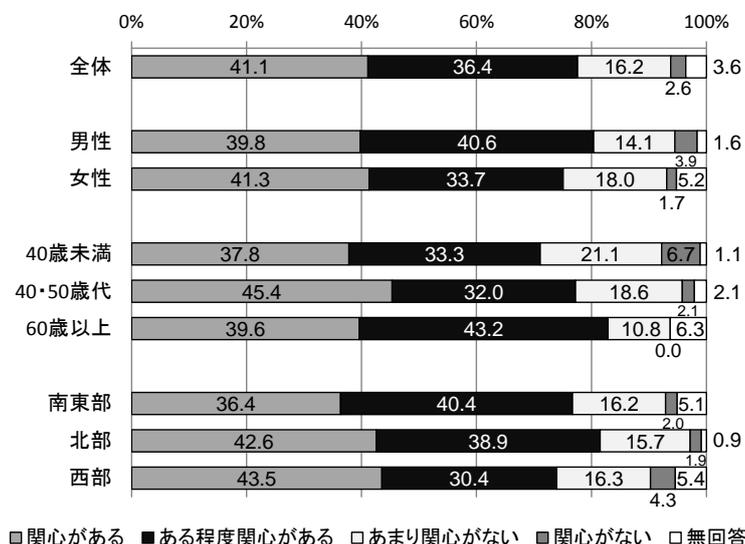
関心度

◇「公共交通」への関心の有無

<全体>

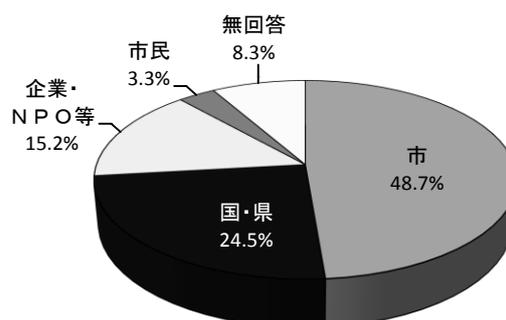


<属性別>



実現するための主体

◇「公共交通」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

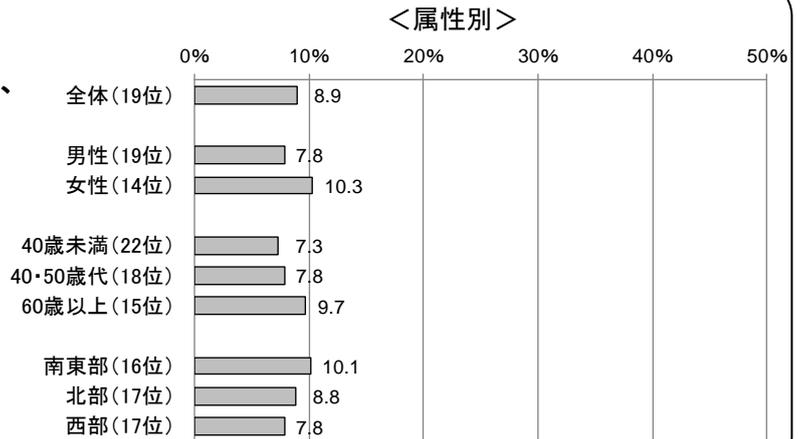


重要性

◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、
充実してほしい施策として「公共交通」
を選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

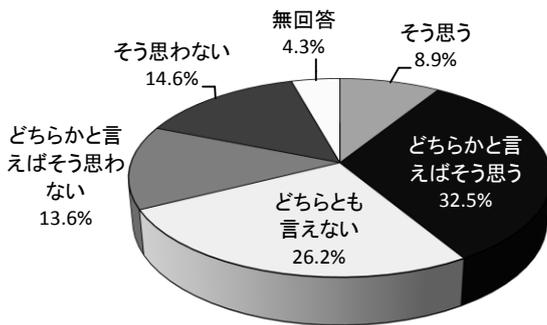
「公共交通」 52施策中19位 (8.9%)



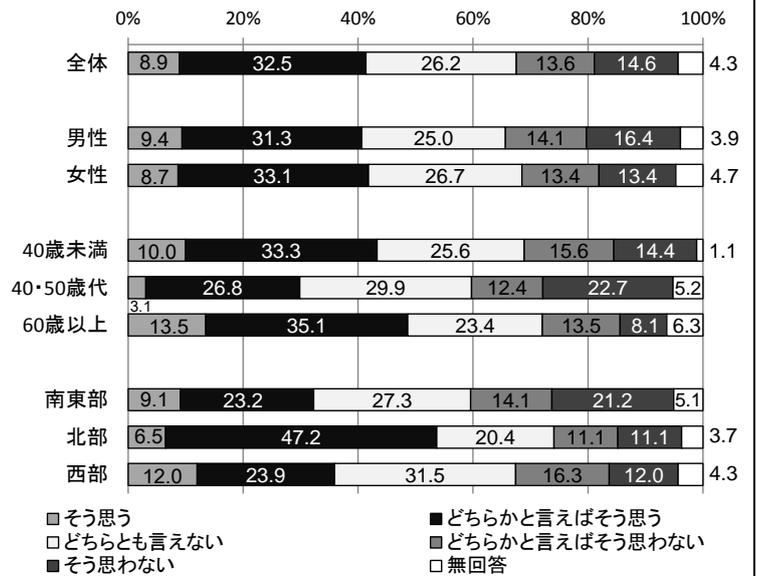
まちづくり指標の達成度

◇コミュニティバス、民間バス、そして鉄道などの公共交通機関が発達し、市内、市外への移動が便利
になってきていると思う市民の割合

<全体>



<属性別>



32. まちづくり

■目指す姿

座間市内の駅周辺は、市民や来訪者にとって魅力ある地域拠点として機能しています。

また、市民、事業者相互の認識が深まり、市民の住環境、工場の事業環境などが適切に維持されています。

■施策の方向

- 土地利用の規制・誘導
- 住居表示の推進
- 地域のまちづくりの推進
- 鉄道による市域分断解消
- 地域拠点計画づくりの推進
- 座間西部地域土地利用方針の具体化
- 栗原東部地域土地利用方針の策定

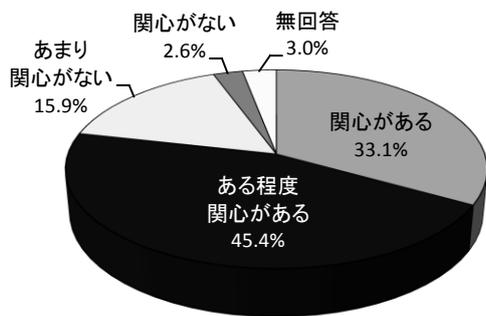
アンケート結果の概要

- ・ 関心度は比較的高く、重要性は高い施策となっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が6割を超えています。
- ・ 約3割の人が、自然・歴史・文化を身近に感じるまちづくりが進められてきていると回答しており、年齢別ではとくに40歳未満で高い割合となっています。

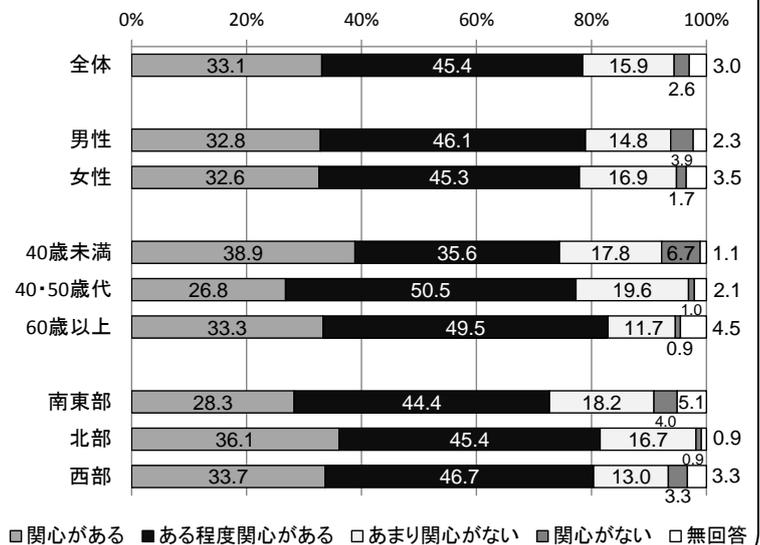
関心度

◇「まちづくり」への関心の有無

<全体>

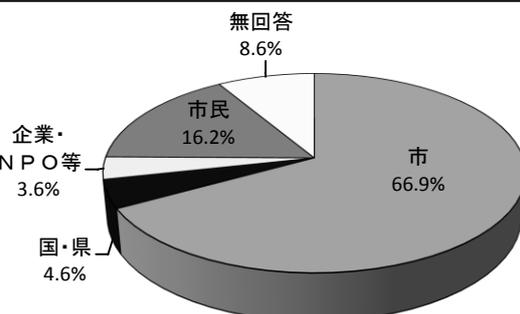


<属性別>



実現するための主体

◇「まちづくり」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



重要性

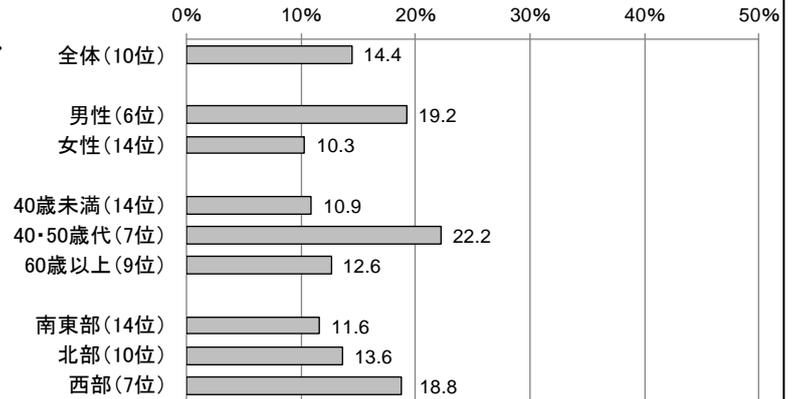
◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、
充実してほしい施策として「まちづくり」
を選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

「まちづくり」

52施策中10位(14.4%)

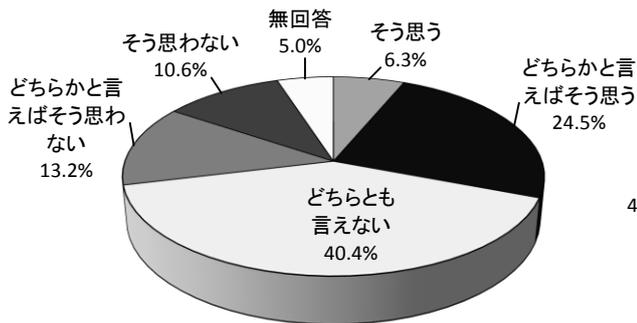
<属性別>



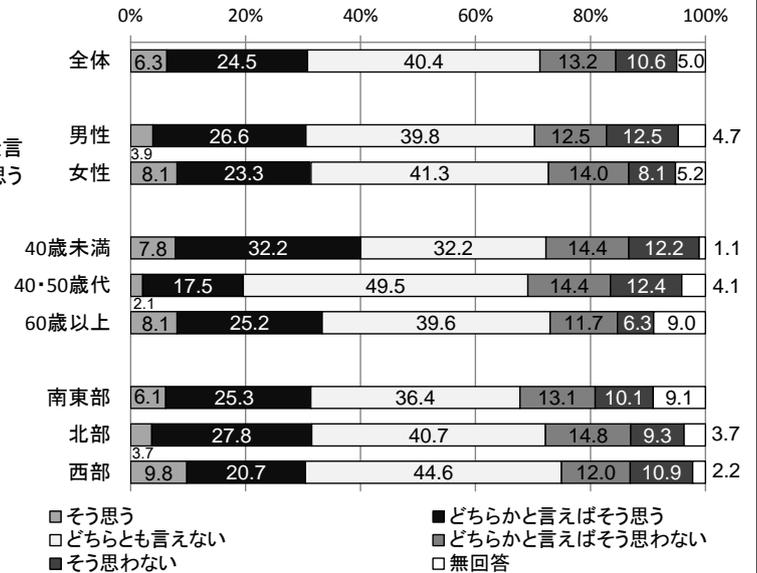
まちづくり指標の達成度

◇自然・歴史・文化を身近に感じるまちづくりが進められてきていると思う市民の割合

<全体>



<属性別>



■ そう思う
 □ どちらとも言えない
 ■ そう思わない
 ■ どちらかと言えばそう思う
 ■ どちらかと言えばそう思わない
 □ 無回答

33. 景観形成

■目指す姿

市民は、計画的に保全・育成された心に残る座間市らしい景観の中で、心地よく暮らしています。

■施策の方向

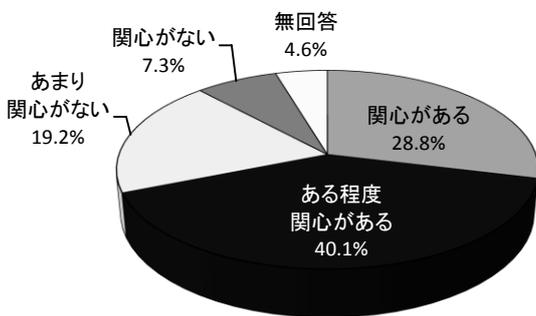
○景観特性を生かしたまちづくり

アンケート結果の概要

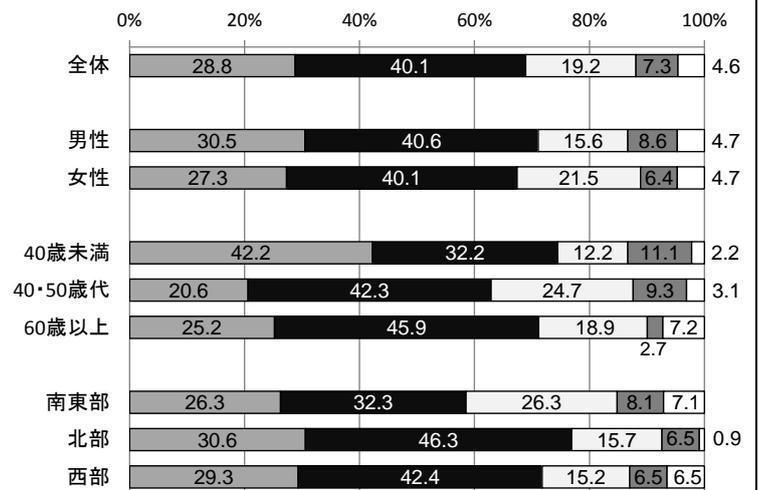
- ・ 関心度、重要性ともに比較的低い施策となっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が半数を超えています。

関心度

◇「景観形成」への関心の有無
＜全体＞



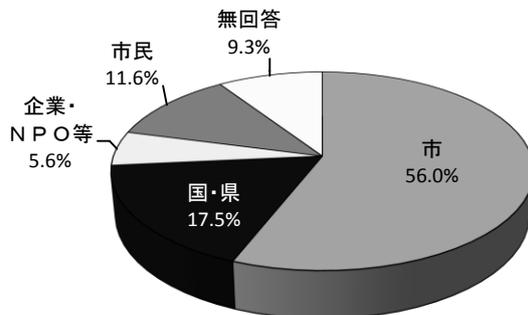
＜属性別＞



□関心がある ■ある程度関心がある □あまり関心がない ■関心がない □無回答

実現するための主体

◇「景観形成」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



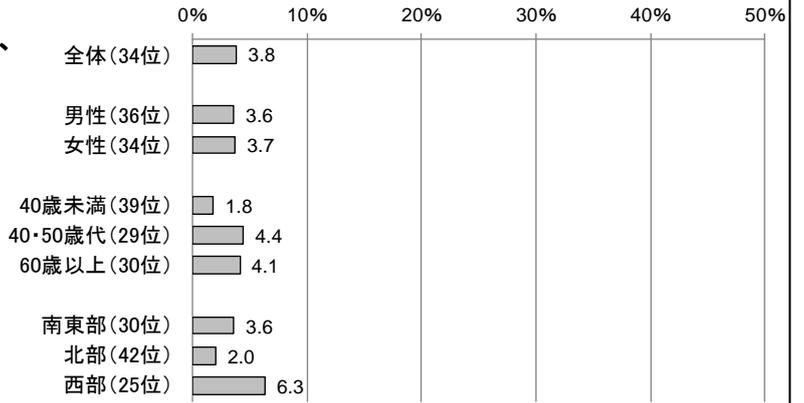
重要性

<属性別>

◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、
充実してほしい施策として「景観形成」
を選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

「景観形成」 52施策中34位 (3.8%)



34. 公園・広場・緑地

■目指す姿

市民は、市内の公園、広場、緑地、水辺等において、集い、憩い、それぞれに適した活用を行い、健やかに暮らしています。また、自らも清掃やせん定などに積極的に取り組むなど、公園等が快適に維持管理されています。

■施策の方向

- 公園・広場等の整備
- 緑地・樹木地等の確保と保全
- 協働による維持管理
- 緑化意識の高揚

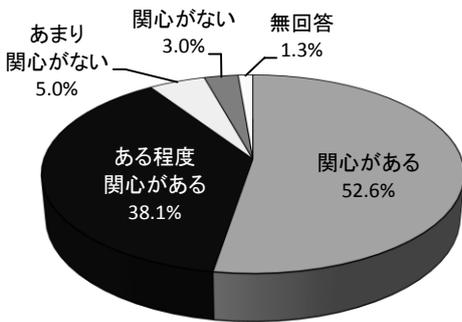
アンケート結果の概要

- ・関心度は非常に高く、重要性は高い施策となっています。
- ・施策の実現に最も重要とされる主体は、市が7割近くを占めています。
- ・地域において、公園・広場が整備され、憩いの場となってきていると思う人は4割を超え、年齢別ではとくに60歳以上で高い割合となっています。
- ・緑が保全され、緑化意識が高まってきていると思う人は半数近くとなっています。

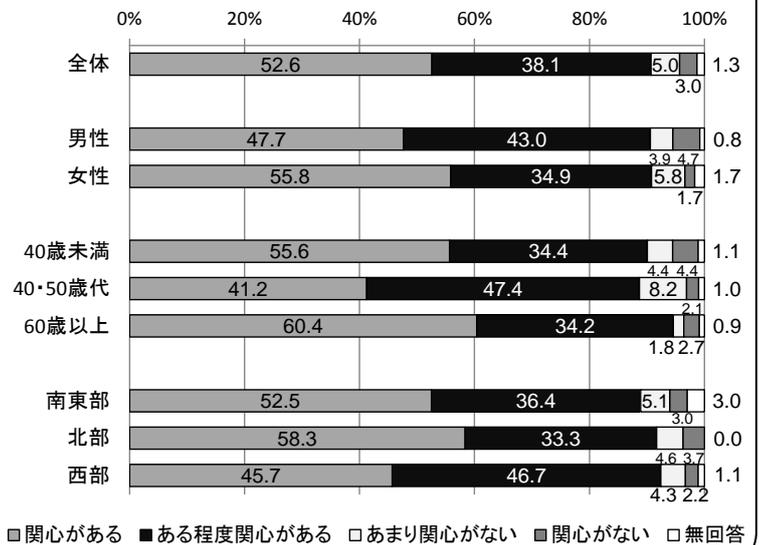
関心度

◇「公園・広場・緑地」への関心の有無

<全体>

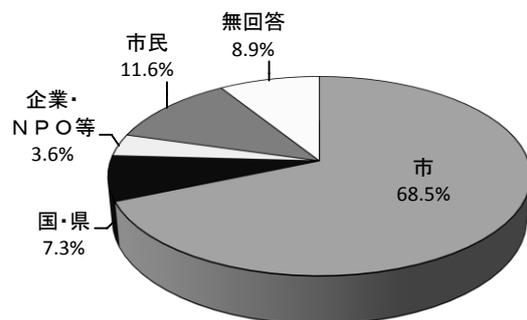


<属性別>



実現するための主体

◇「公園・広場・緑地」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



重要性

◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、
充実してほしい施策として

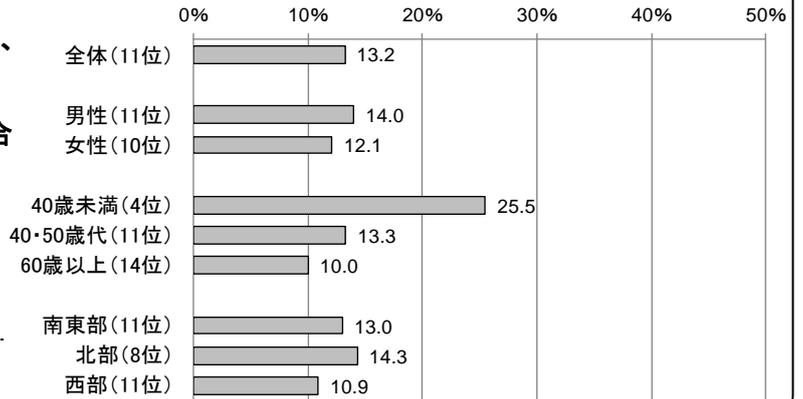
「公園・広場・緑地」を選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

「公園・広場・緑地」

52施策中11位(13.2%)

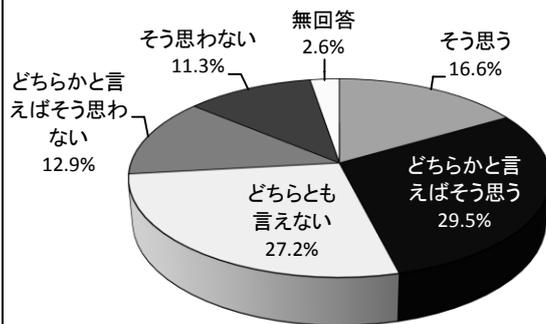
<属性別>



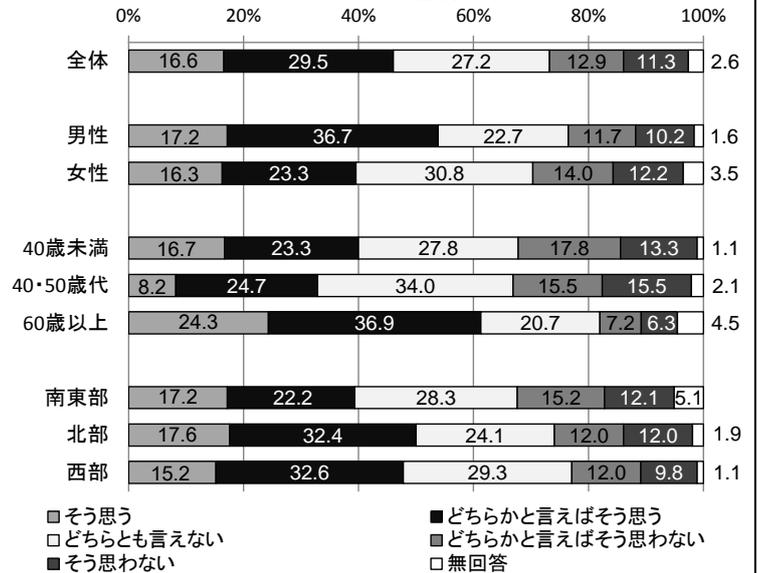
まちづくり指標の達成度

◇地域において、公園・広場が整備され、憩いの場となってきたと思う市民の割合

<全体>

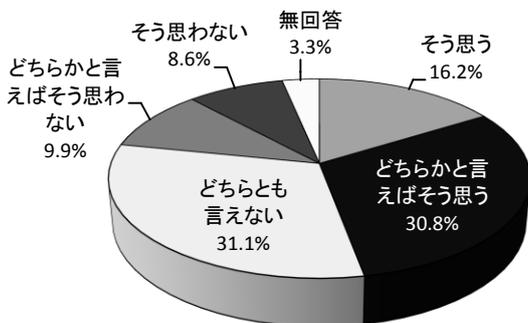


<属性別>

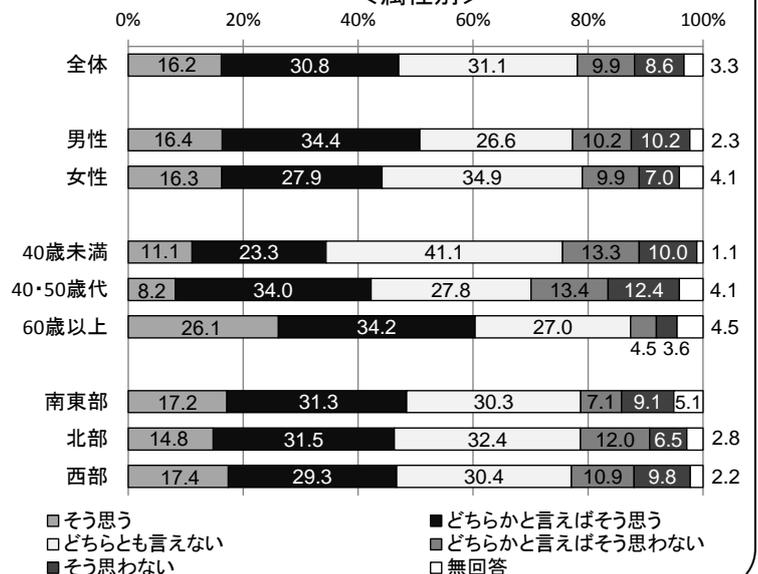


◇緑地の保全や「緑化祭り」の開催などにより、緑が保全され、緑化意識が高まってきていると思う市民の割合

<全体>



<属性別>



35. 道路

■目指す姿

市民は、日々の暮らしの中で利便性の高い快適な道路を使用しているとともに、それらは災害時にも道路としての機能を果たしています。

■施策の方向

- 都市計画道路の整備
- 道路等の整備・維持管理
- 狭あい道路の解消
- うるおいのある道路空間創出
- 橋りょうの長寿命化対策
- 景観等に配慮した橋りょう整備

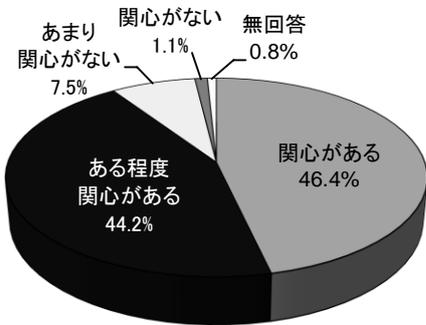
アンケート結果の概要

- ・ 関心度、重要性ともに非常に高い施策となっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が半数を超え、国・県は2割台となっています。
- ・ 安全、快適な道路になってきていると思う人は、3割近くとなっています。

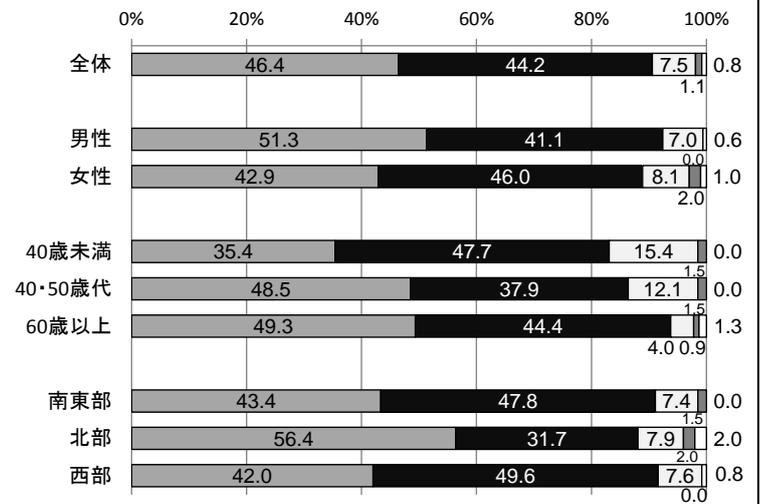
関心度

◇「道路」への関心の有無

＜全体＞



＜属性別＞

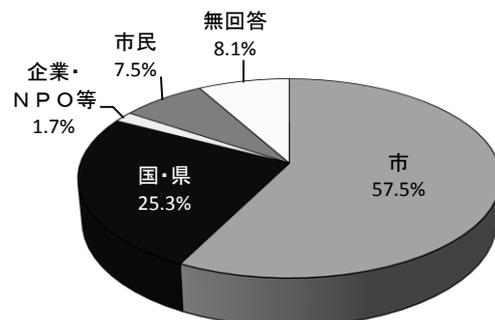


□関心がある ■ある程度関心がある □あまり関心がない ■関心がない □無回答

実現するための主体

◇「道路」の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

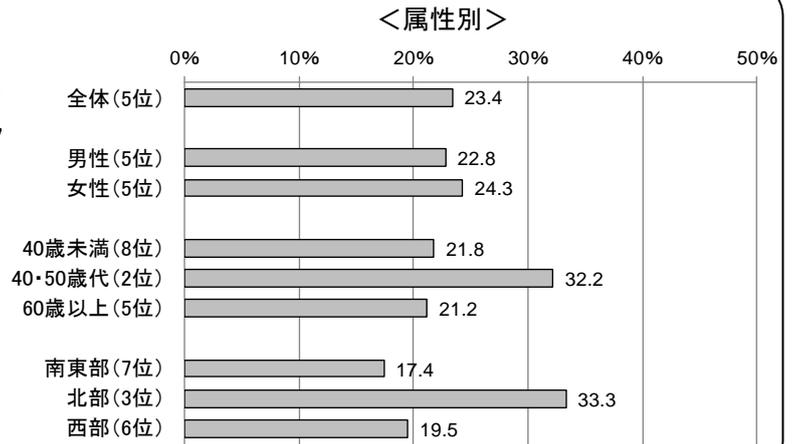


重要性

◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、
充実してほしい施策として「道路」を選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

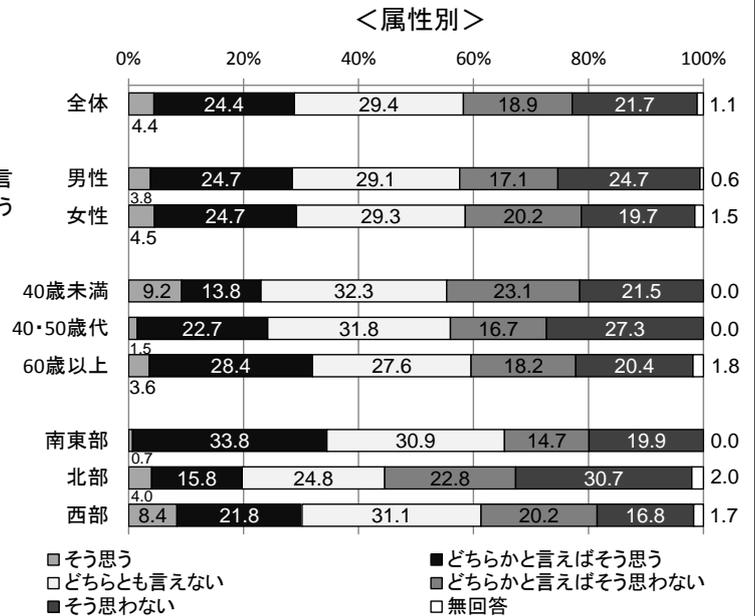
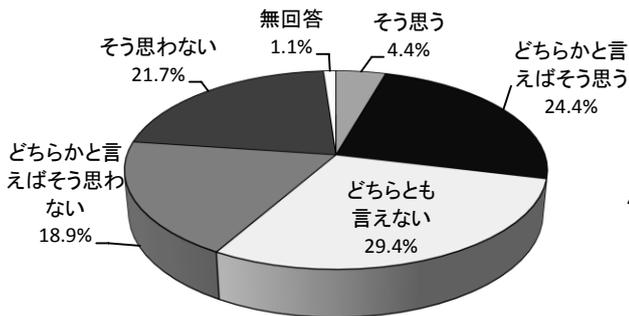
「道路」 52施策中5位 (23.4%)



まちづくり指標の達成度

◇安全、快適な道路になってきていると思う市民の割合

<全体>



36. 住宅環境

■目指す姿

市民は、市有建築物をはじめ市内の建築物の安全性や快適な環境の確保により、安心して生活を営んでいます。

■施策の方向

- 耐震診断・改修の普及啓発
- 建築指導の推進
- 市営住宅の居住環境確保
- 急斜面地パトロール事業の推進
- 営繕業務の事務効率化

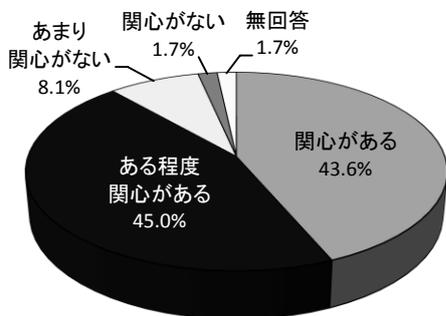
アンケート結果の概要

- ・ 関心度は非常に高く、重要性は比較的低い施策となっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が約半数を占め、国・県が2割程度となっています。

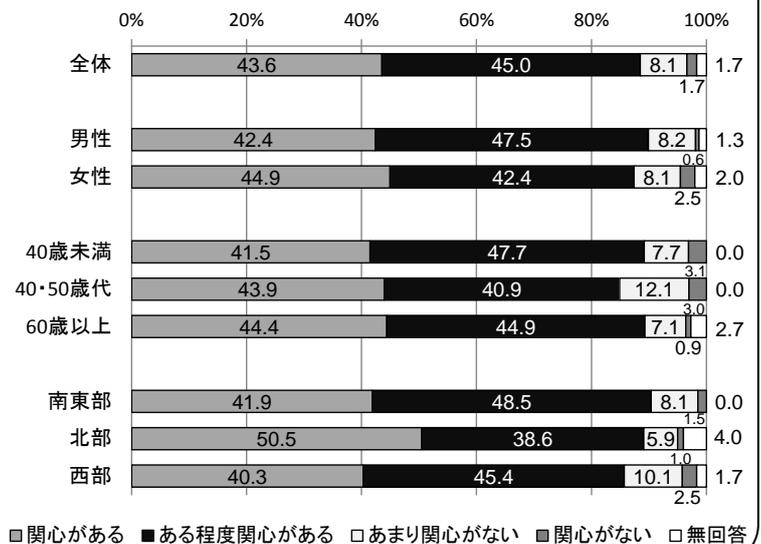
関心度

◇「住宅環境」への関心の有無

<全体>

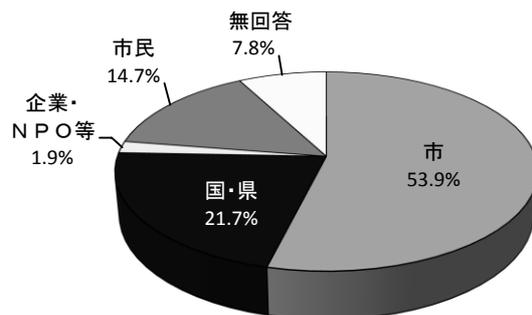


<属性別>



実現するための主体

◇「住宅環境」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



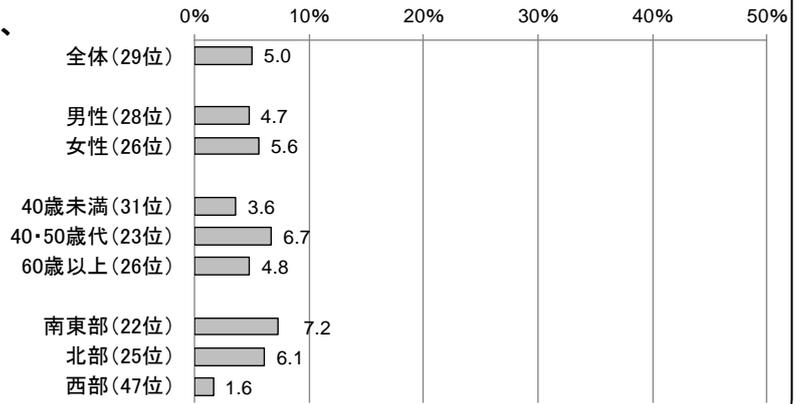
重要性

<属性別>

◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、
充実してほしい施策として「住宅環境」
を選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

「住宅環境」 52施策中29位 (5.0%)



37. 基地対策

■目指す姿

キャンプ座間が存在することによる様々な負担が軽減され、部分返還された土地は、市民のために有効利用されています。また、厚木基地の航空機騒音の解消が図られ、市民は、不安のない静かな環境で暮らしています。

■施策の方向

- 返還に関する取組み
- 返還土地の有効利用検討
- 負担軽減策等の履行要請
- 基地周辺対策の充実強化

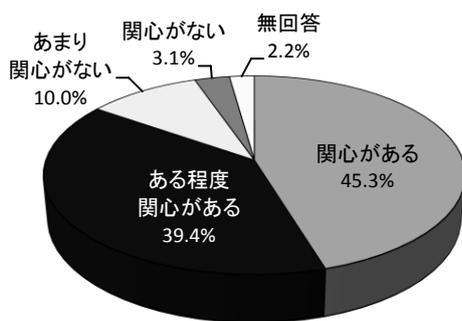
アンケート結果の概要

- ・ 関心度、重要性ともに高い施策となっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、国・県が8割近くを占めています。
- ・ キャンプ座間の負担軽減への取組が十分に行われてきていると思う人は2割程度となっています。
- ・ 厚木基地の航空機騒音が軽減されてきたと思う人は、2割台となっており、反対に、そう思わない人は半数を超えています。

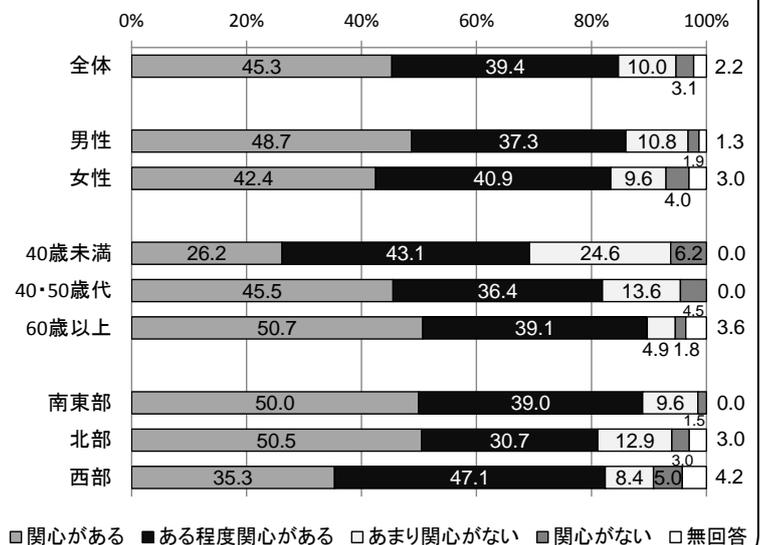
関心度

◇「基地対策」への関心の有無

<全体>



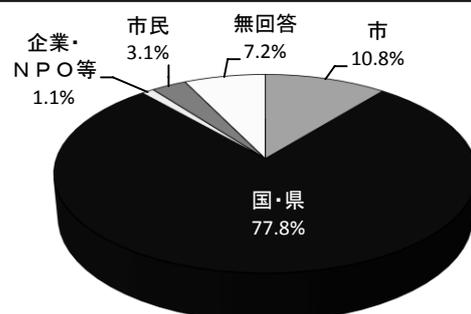
<属性別>



実現するための主体

◇「基地対策」の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

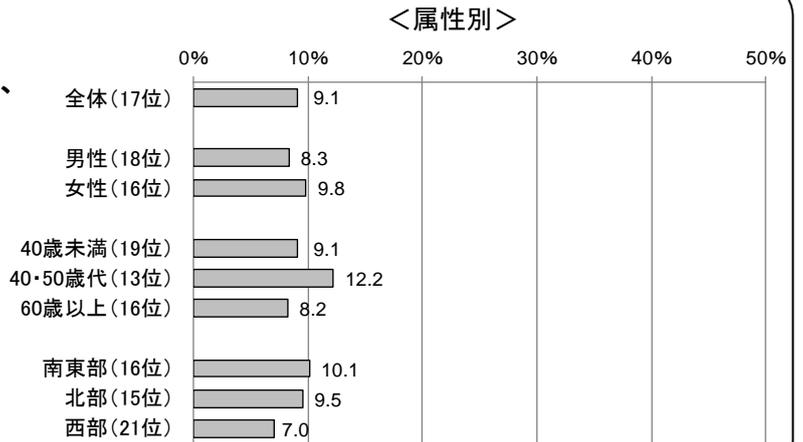


重要性

◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、
充実してほしい施策として「基地対策」
を選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

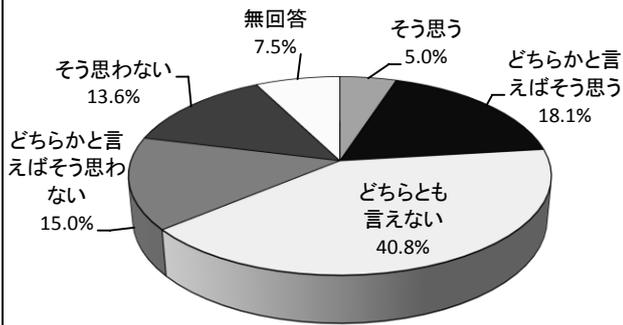
「基地対策」 52施策中17位 (9.1%)



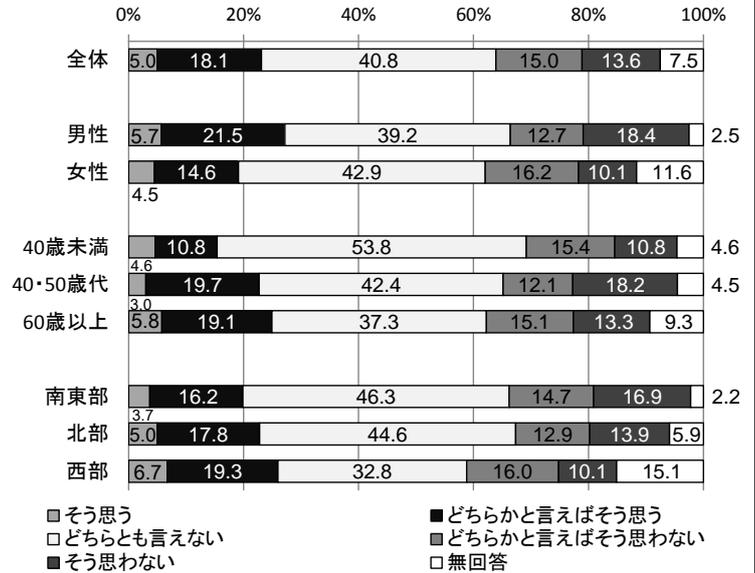
まちづくり指標の達成度

◇キャンプ座間の負担軽減への取組が十分に行われてきていると思う市民の割合

<全体>

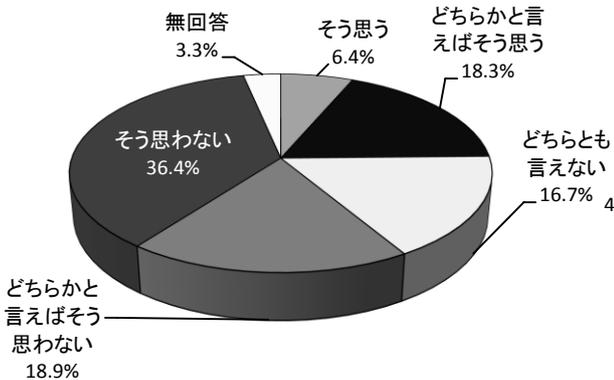


<属性別>

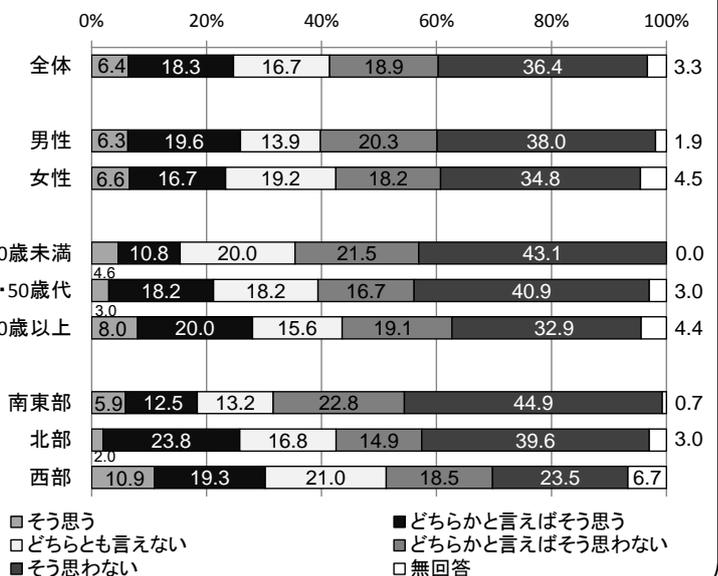


◇厚木基地の航空機騒音が軽減されてきたと思う市民の割合

<全体>



<属性別>



政策6 きよらかな水 大切に守るまち

38. 上水道

■目指す姿

市民は、市内において、いつでもどこでも安定的に水道を使用でき、安全でおいしい水を飲むことができます。

■施策の方向

○上水道事業の健全運営

○環境保全への貢献

○水道水の安定供給

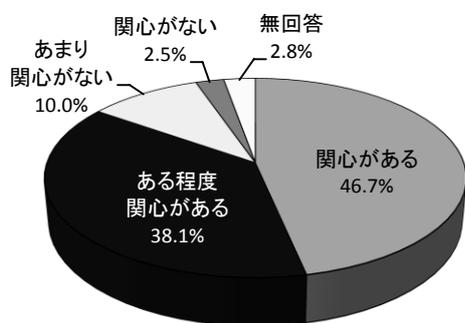
アンケート結果の概要

- ・ 関心度は高く、重要性は比較的高い施策となっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が7割を超えています。
- ・ 座間市の水道水を、安心して飲むことができると思う人は、8割近くを占めています。

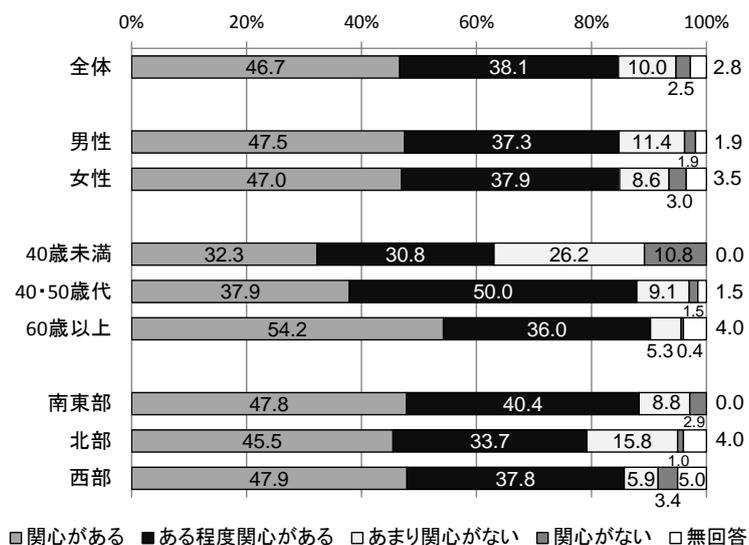
関心度

◇「上水道」への関心の有無

<全体>



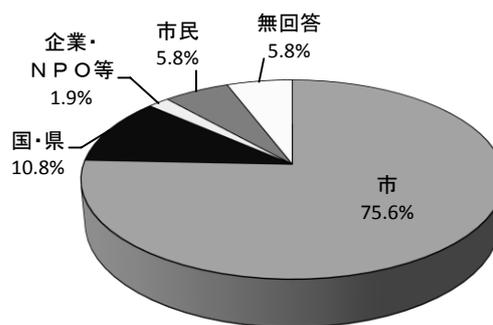
<属性別>



実現するための主体

◇「上水道」の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

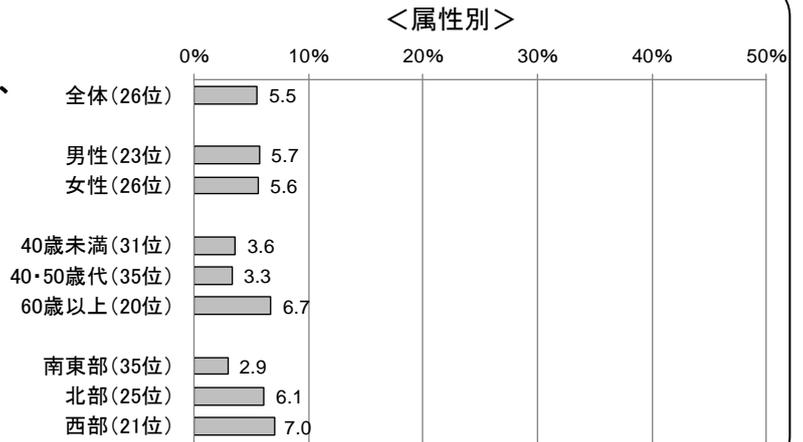


重要性

◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、
充実してほしい施策として「上水道」を
選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

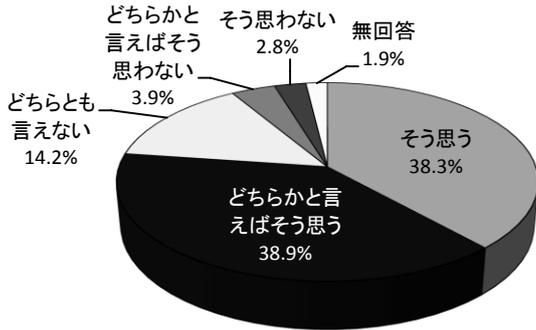
「上水道」 52施策中26位 (5.5%)



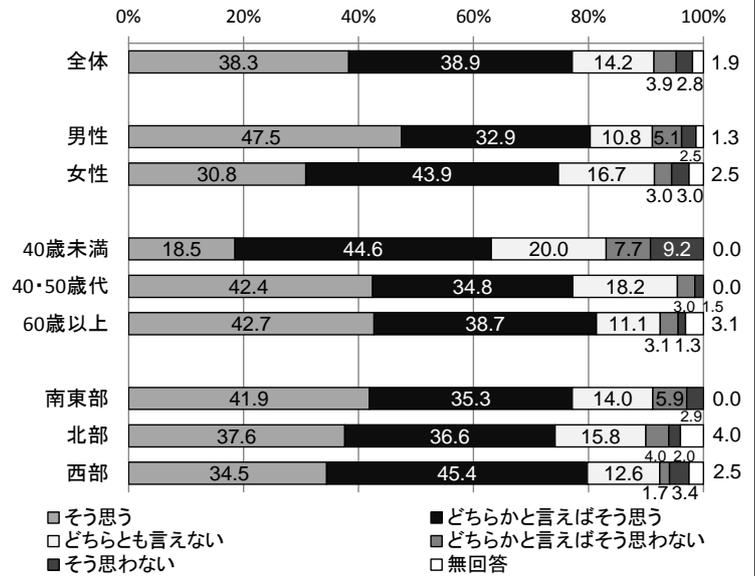
まちづくり指標の達成度

◇地下水を水源とした座間市の水道水を、安心して飲むことができると思う市民の割合

<全体>



<属性別>



39. 下水道

■目指す姿

市民は、公共下水道の汚水整備がされた区域において各家庭で水洗化が進み、快適に公共下水道を利用しています。

また、雨水対策が進み、集中豪雨等による被害が少ないまちになっています。

■施策の方向

- 雨水対策事業の推進
- 下水道施設の整備・維持管理
- 下水道事業の健全経営

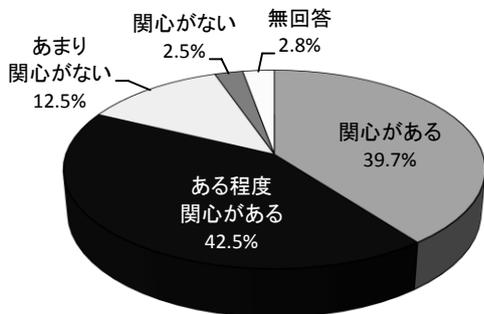
アンケート結果の概要

- ・ 関心度は高く、重要性は比較的低い施策となっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が約6割を占め、国・県が2割程度となっています。
- ・ 下水道の整備が進み、身近な川の水がきれいになってきていると思う人は約6割となっており、地域別ではとくに南東部と西部で高い割合となっています。

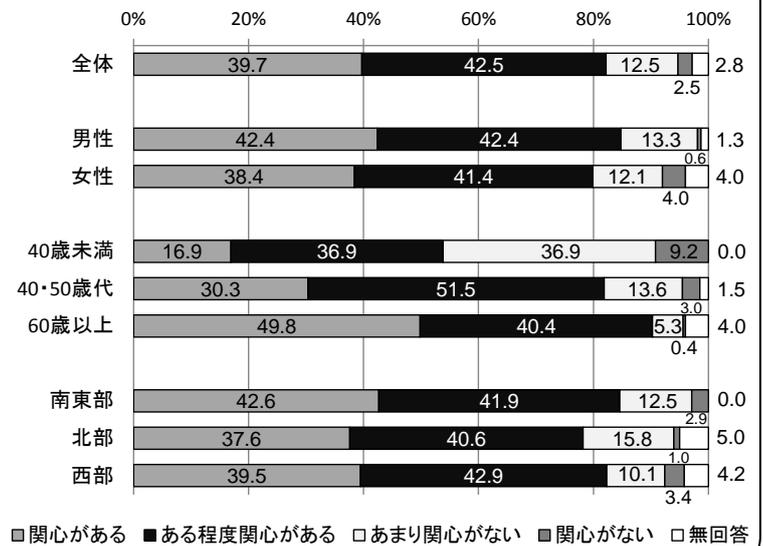
関心度

◇「下水道」への関心の有無

<全体>

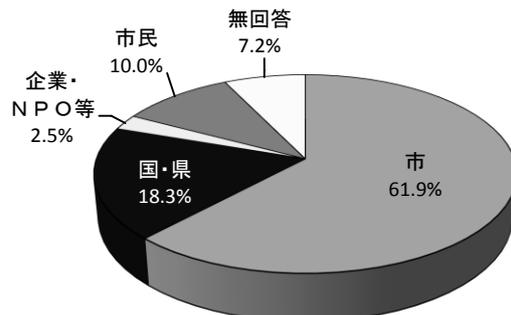


<属性別>



実現するための主体

◇「下水道」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

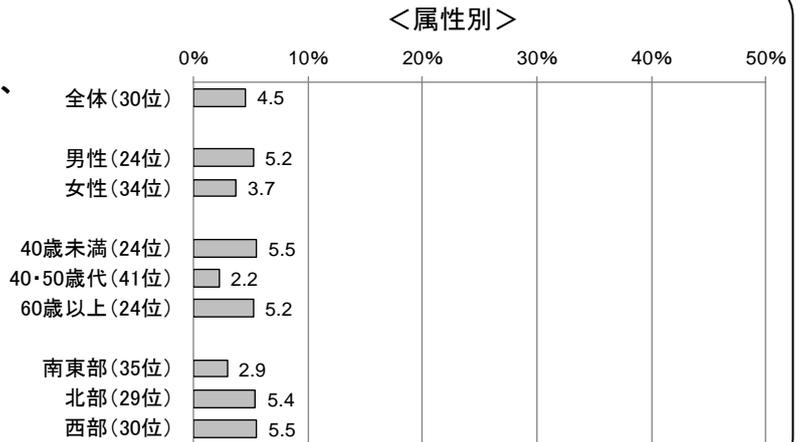


重要性

◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、
充実してほしい施策として「下水道」を
選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

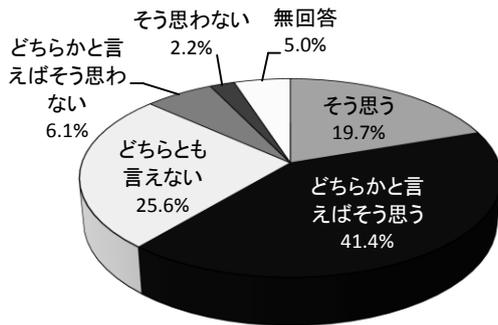
「下水道」 52施策中30位(4.5%)



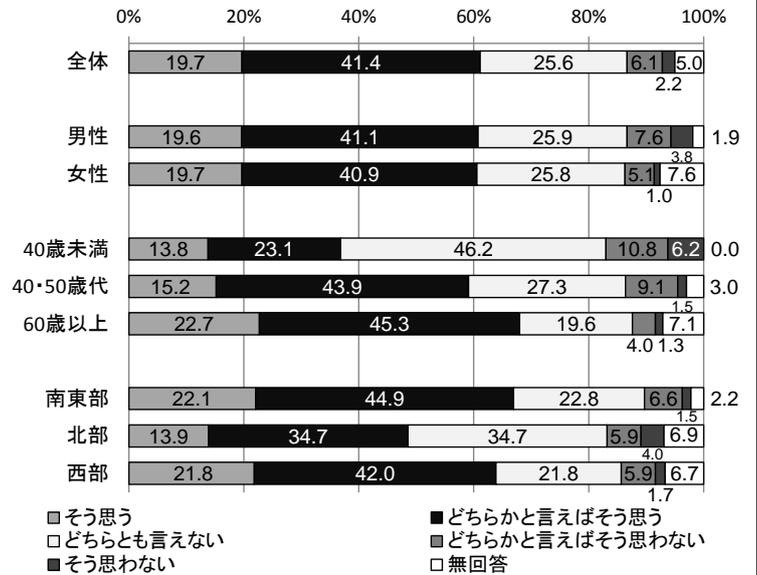
まちづくり指標の達成度

◇下水道の整備が進み、身近な川の水がきれいになってきていると思う市民の割合

<全体>



<属性別>



政策 7 地球にやさしい 活力あるまち

40. 環境保全

■目指す姿

市民や事業者は、人と自然が共生する静かでやすらぎのあるまちを目指し、地球環境への負荷の少ない生活を営んでいます。

■施策の方向

○協働による環境保全

○公害防止対策の推進

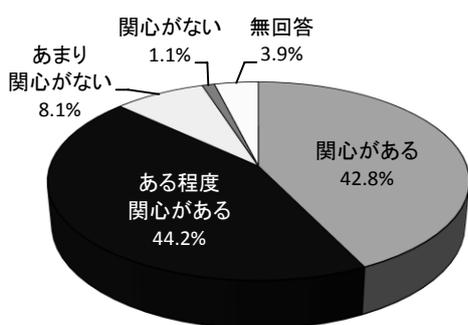
アンケート結果の概要

- ・ 関心度は非常に高く、重要性は低い施策となっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、国・県が3割を超え、市と市民が2割程度となっています。
- ・ 6割程度の方が家庭や地域、職場等で地球温暖化防止（温室効果ガス削減）に取り組んでいると回答しています。また、市が率先して環境保全に努めていると思う人は、3割程度となっています。
- ・ 環境のために、今後とも気を付けて実行したいと思っていることでは、「電気や水道水の無駄づかいをしない」と「ごみの分別の徹底」が4割を超えています。

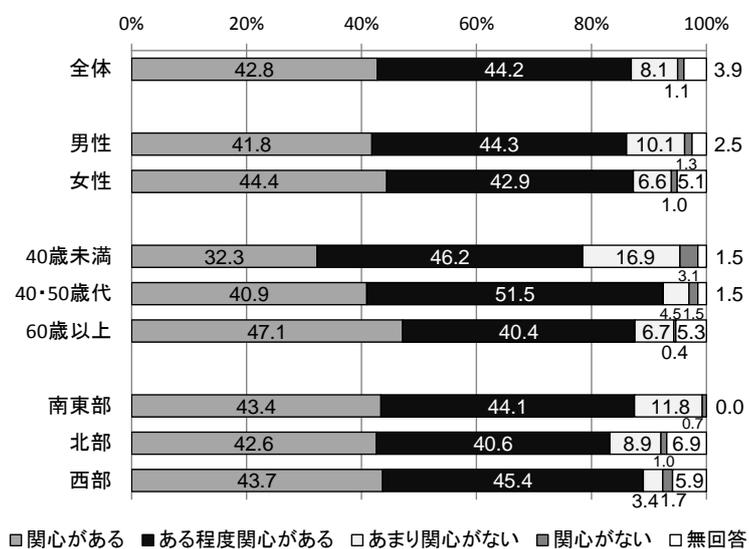
関心度

◇「環境保全」への関心の有無

<全体>



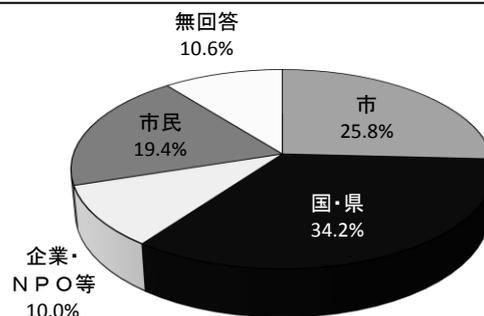
<属性別>



実現するための主体

◇「環境保全」の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

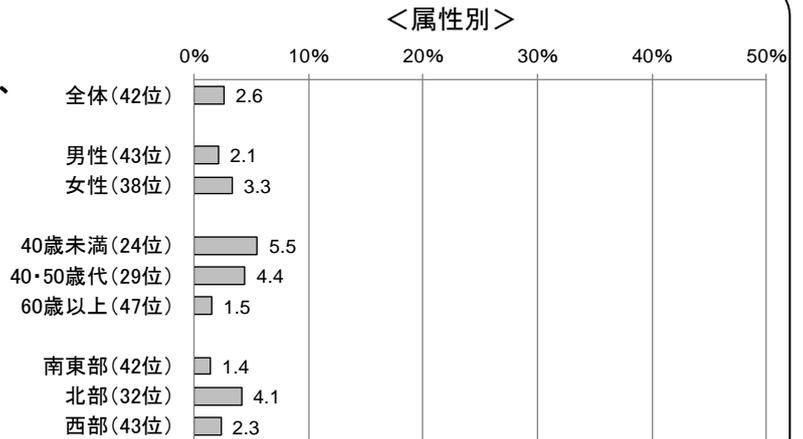


重要性

◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、
充実してほしい施策として「環境保全」
を選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

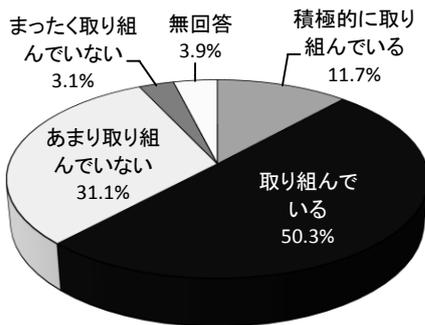
「環境保全」 52施策中42位 (2.6%)



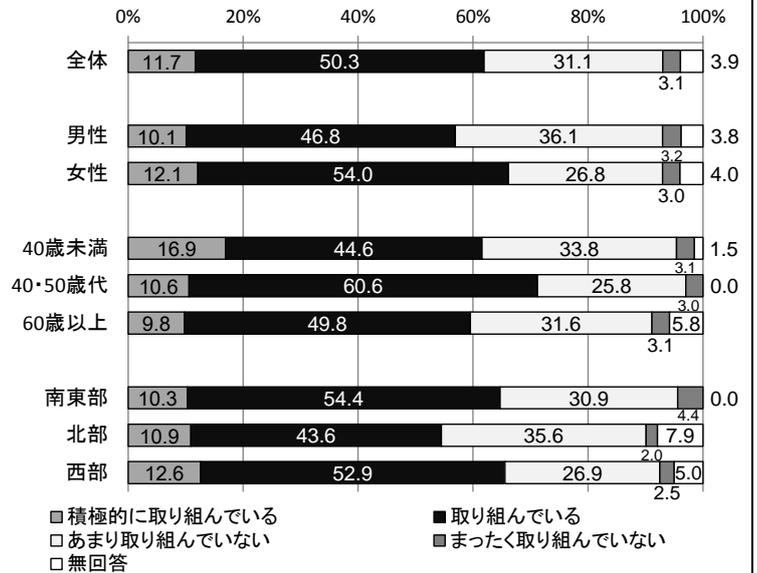
まちづくり指標の達成度

◇家庭や地域、職場等で地球温暖化防止（温室効果ガス削減）に取り組んでいる市民の割合

<全体>

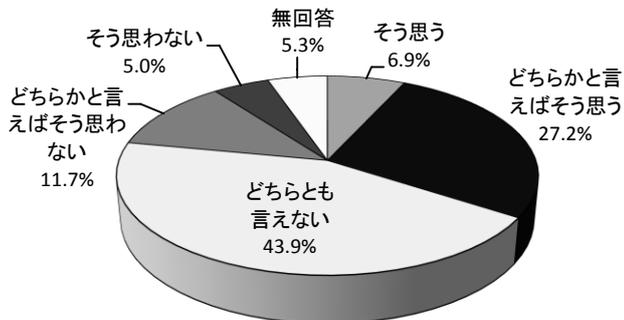


<属性別>

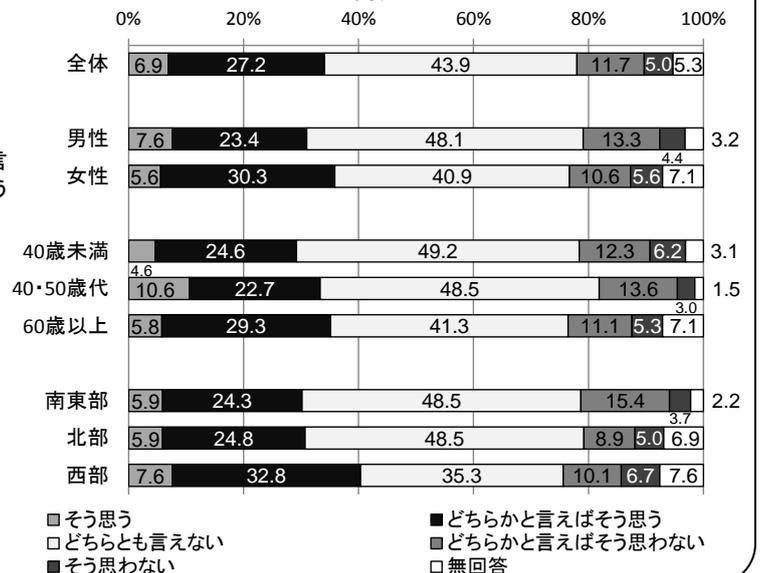


◇市が率先して環境保全に努めていると思う市民の割合

<全体>



<属性別>

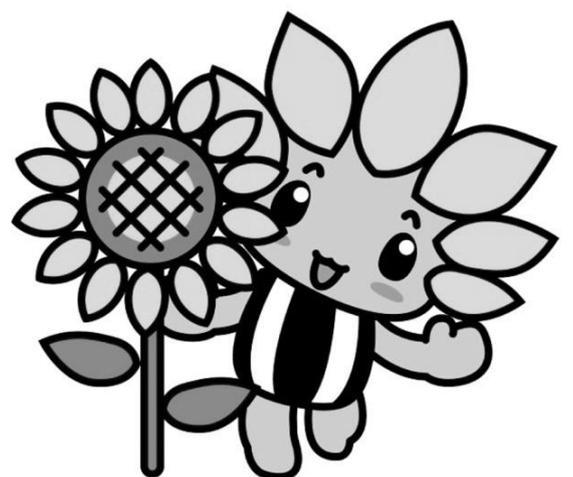


今後の取組について

◇環境のために、今後とも気を付けて実行したいと思っていること

(%)	家庭内のごみの減量化	ごみの分別の徹底	なるべく自家用車を使わない	自宅の植木や鉢植えを増やす	電気や水道水の無駄づかいをしない	油や味噌汁などを下水に流さない	雨水の地下浸透に努める	その他	無回答
全体	34.4	40.3	10.6	7.2	47.5	11.7	4.7	1.7	4.2

※実数 n = 360。この設問は複数回答を可としていますので、選択肢の合計が 100%以上となります。



41. 湧水・地下水保全

■目指す姿

市民は、湧水・地下水の水質及び水量の保全により市民生活に必要な水が確保され、うるおいのある生活を送っています。

■施策の方向

○地下水のかん養と管理

○地下水・土壌の汚染防止

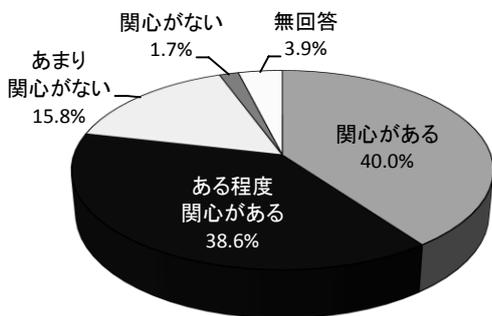
アンケート結果の概要

- ・ 関心度は比較的高く、重要性は高い施策となっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が6割を超えています。

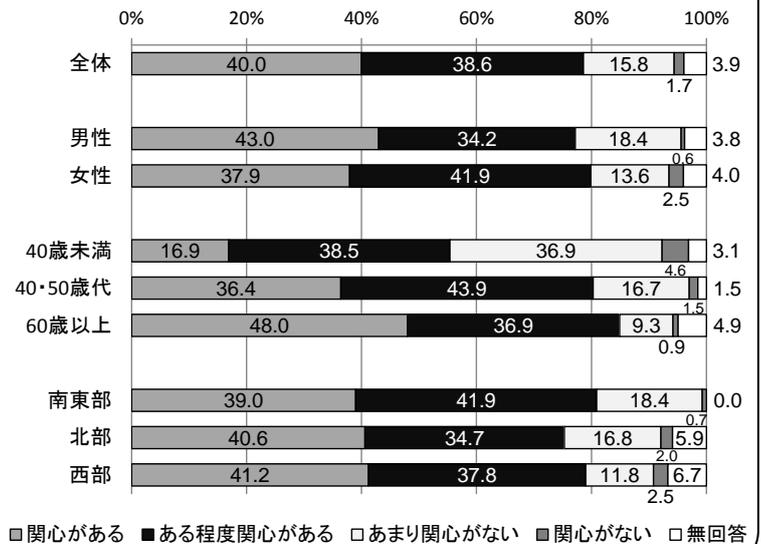
関心度

◇「湧水・地下水保全」への関心の有無

<全体>

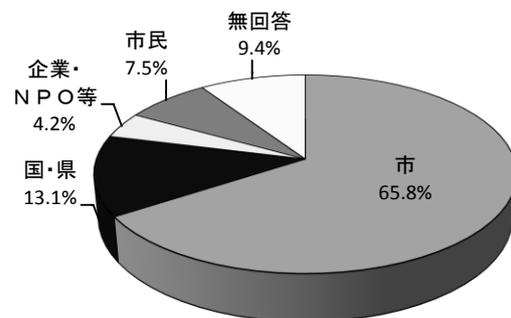


<属性別>



実現するための主体

◇「湧水・地下水保全」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



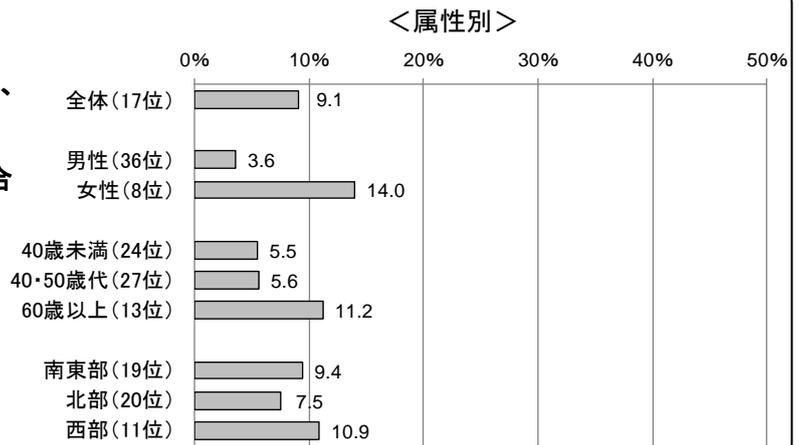
重要性

◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、
充実してほしい施策として
「湧水・地下水保全」を選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

「湧水・地下水保全」

52施策中17位(9.1%)



42. 資源循環社会

■目指す姿

ごみの分別や減量化・資源化に対して、市民や事業者の意識が高く、確実に進められています。

■施策の方向

- ごみ減量・分別等の啓発
- 資源物の有効利用
- 収集体制の整備
- 不法投棄対策

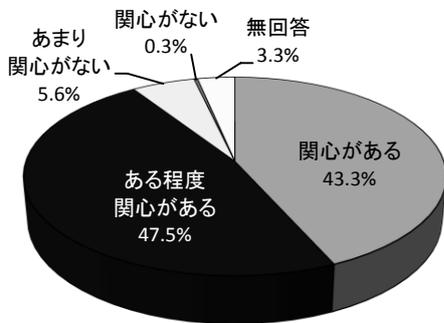
アンケート結果の概要

- ・ 関心度は非常に高く、重要性は比較的高い施策となっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市と市民がともに4割程度となっています。
- ・ 8割を超える人が、意識的にごみを減らそうとしていると回答しています。
- ・ ごみの減量化が進んでいると思う人は、半数程度となっています。ただし、年齢別では、ばらつきがみられます。

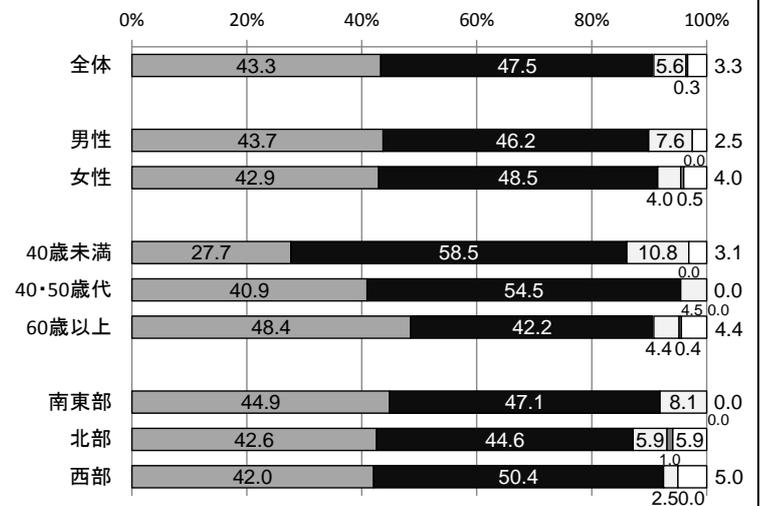
関心度

◇「資源循環社会」への関心の有無

<全体>



<属性別>

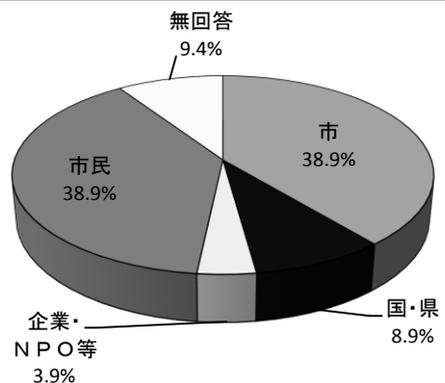


□関心がある ■ある程度関心がある □あまり関心がない ■関心がない □無回答

実現するための主体

◇「資源循環社会」の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



重要性

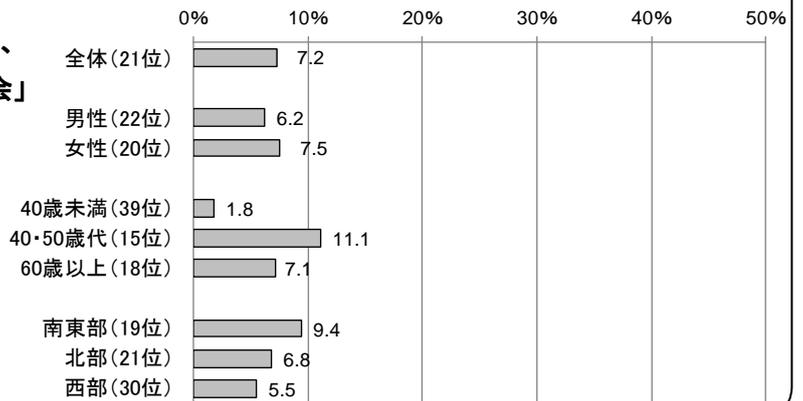
◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、
充実してほしい施策として「資源循環社会」
を選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

「資源循環社会」

52施策中21位(7.2%)

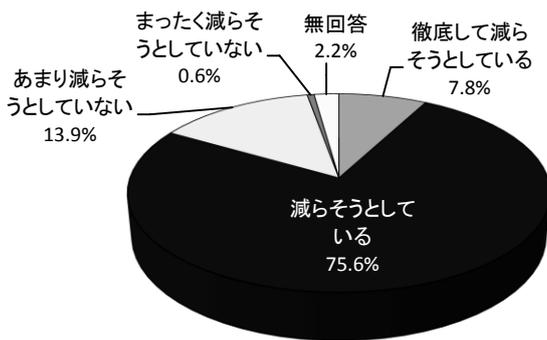
<属性別>



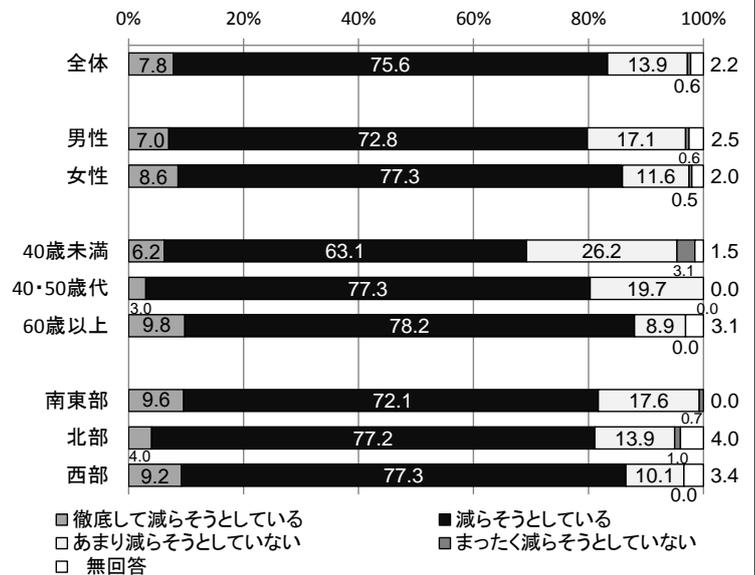
まちづくり指標の達成度

◇意識的にごみを減らそうとしている市民の割合

<全体>

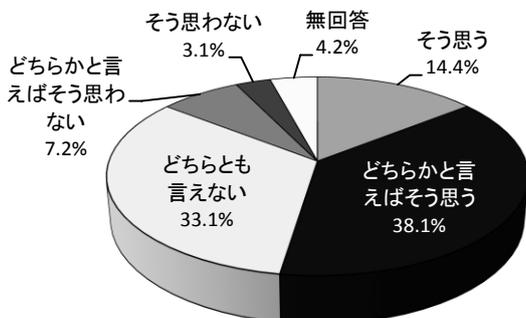


<属性別>

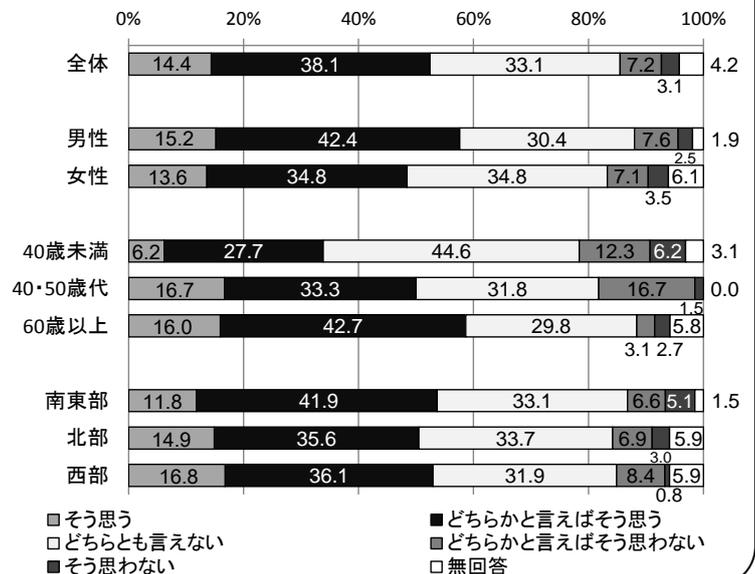


◇分別収集や資源物回収などによりごみの減量化が進んでいると思う市民の割合

<全体>



<属性別>



43. 農業

■目指す姿

農業の担い手は、意欲を持って規模拡大など経営の安定に努力しており、安全で安心な食料の供給をはじめ環境の保全にも大きく貢献しています。また、市民は、農地が果たす多面的な機能の重要性を認識しており、都市と調和した農業の維持が図られています。

■施策の方向

- 農地の有効利用・規模拡大
- 経営改善・地産地消の支援
- 農業生産基盤の整備

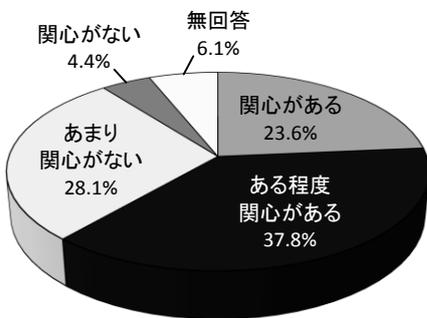
アンケート結果の概要

- ・ 関心度、重要性ともに低い施策となっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市と国・県がともに3割程度となっています。
- ・ 地産地消が進められてきていると思う人は3割程度となっています。

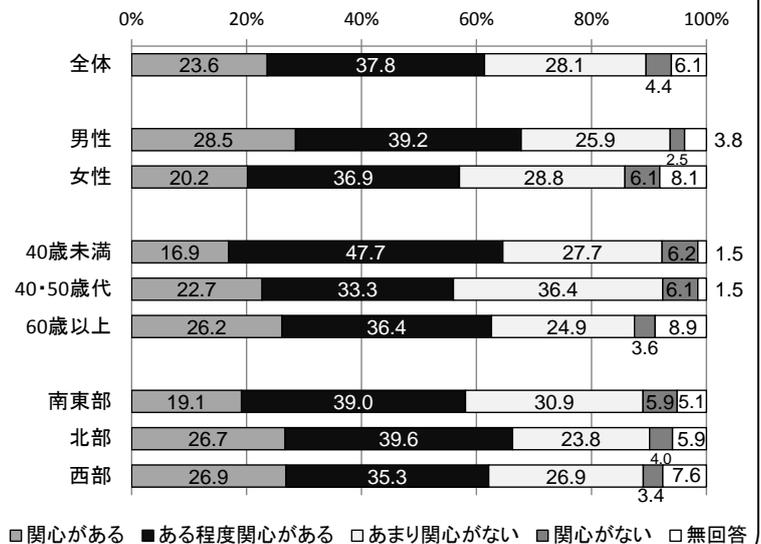
関心度

◇「農業」への関心の有無

<全体>

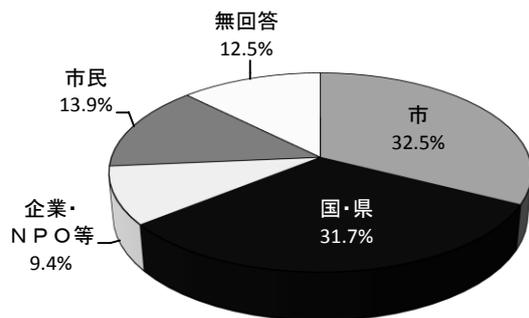


<属性別>



実現するための主体

◇「農業」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

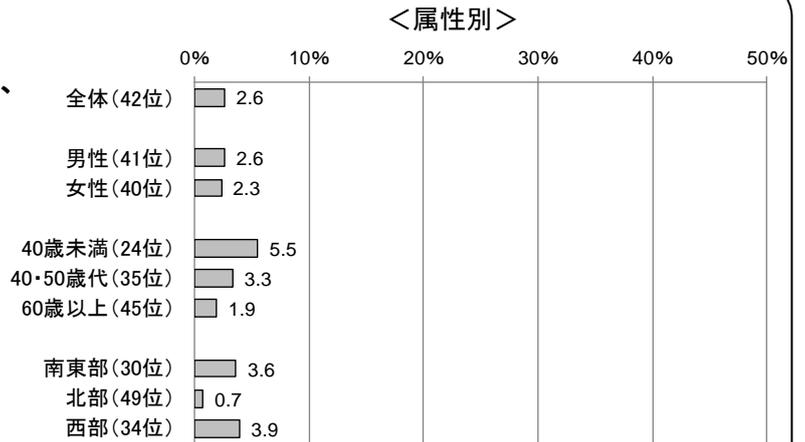


重要性

◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、
充実してほしい施策として「農業」を
選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

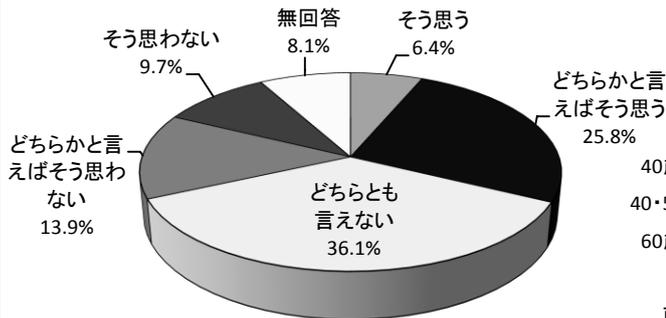
「農業」 52施策中42位 (2.6%)



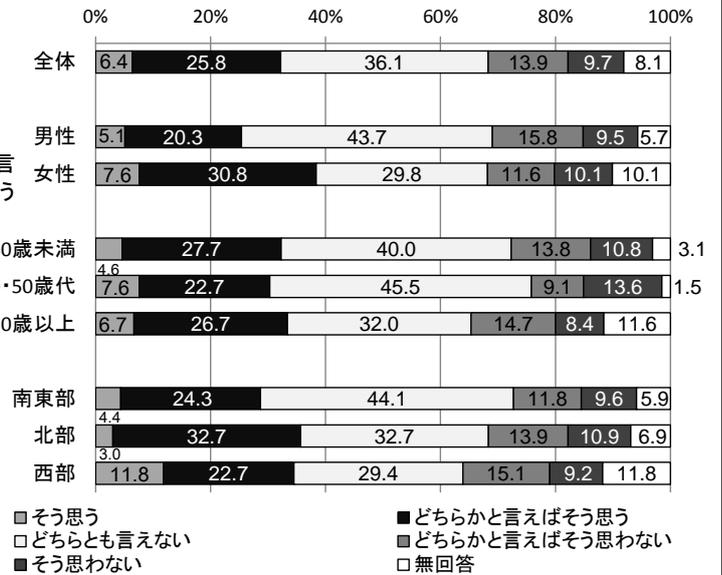
まちづくり指標の達成度

◇朝市などを通して地産地消が進められてきていると思う市民の割合

<全体>



<属性別>



■ そう思う
 □ どちらとも言えない
 ■ そう思わない
 ■ どちらかと言えばそう思う
 ■ どちらかと言えばそう思わない
 □ 無回答

44. 商・工業

■目指す姿

商業では、特産品などのブランド化や地産地消を定着させて商店街や個店が活気づいており、工業では、低炭素社会に対応した先端技術の導入を図りながら、製造品出荷額等も増加しています。

■施策の方向

○商工業の活性化促進

○事業者間の連携促進

○雇用・福利厚生への支援

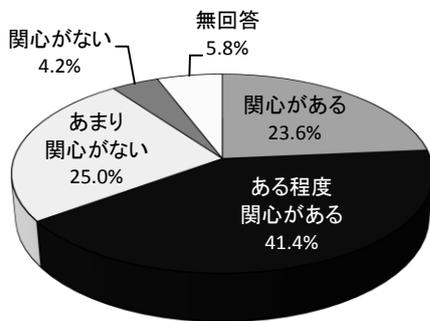
アンケート結果の概要

- ・ 関心度は低く、重要性は比較的低い施策となっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が約半数を占め、企業・NPO等は2割程度となっています。
- ・ 6割程度の方が地元商店街を利用していると回答しています。年齢別でみると、年齢が低くなるほど利用している割合が低くなっています。
- ・ 市内の産業振興への取組が積極的に行われていると思う人は、2割程度となっています。

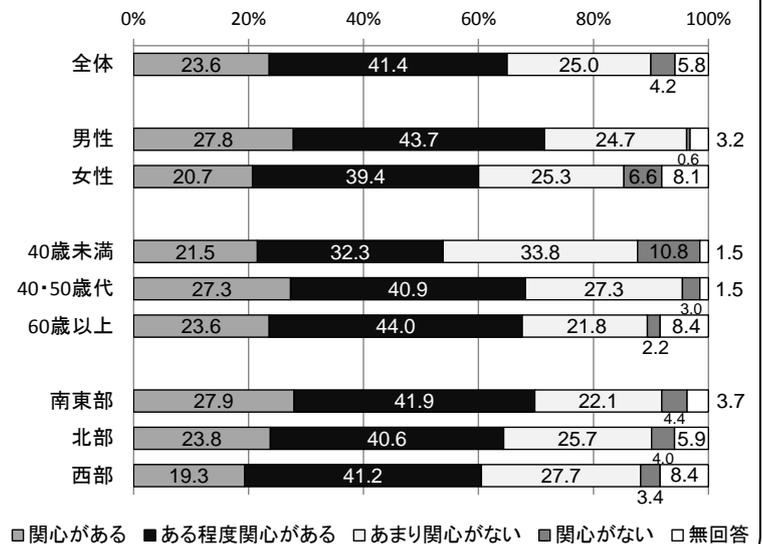
関心度

◇「商・工業」への関心の有無

<全体>



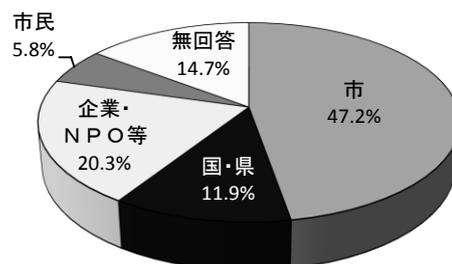
<属性別>



実現するための主体

◇「商・工業」の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

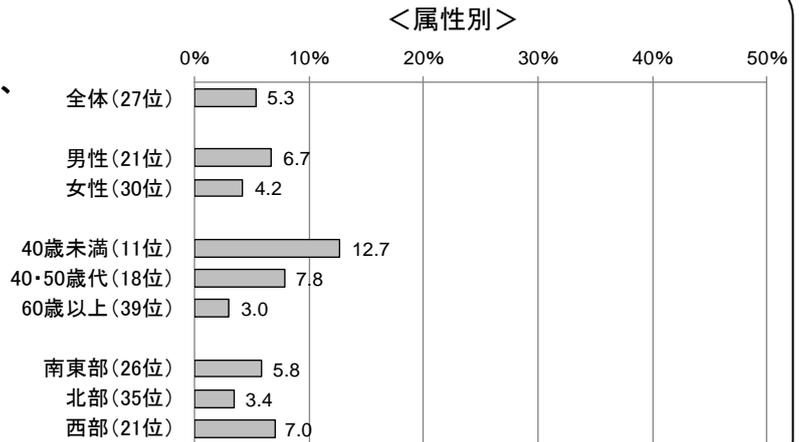


重要性

◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、
充実してほしい施策として「商・工業」
を選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

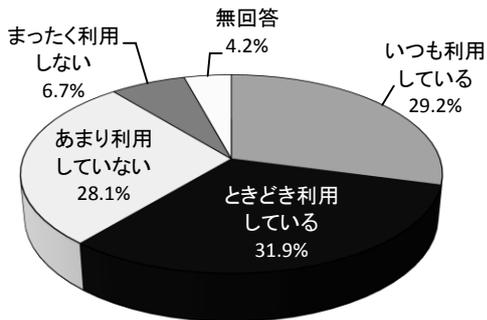
「商・工業」 52施策中27位 (5.3%)



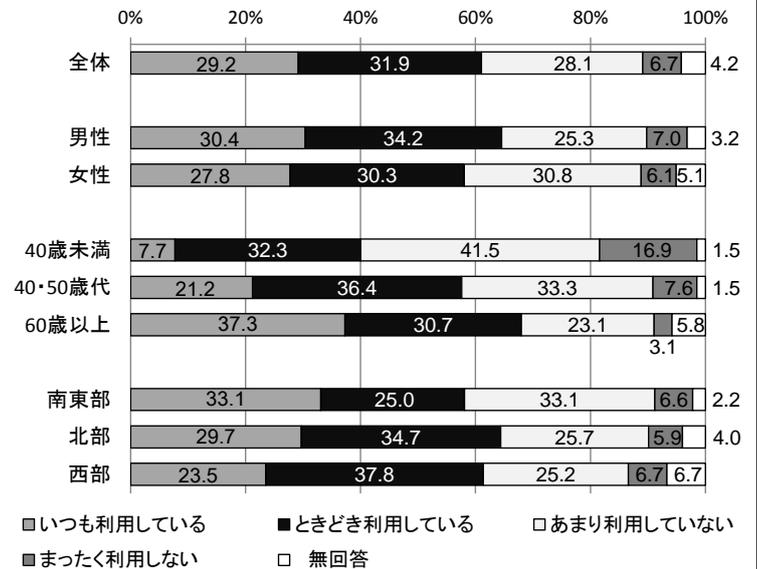
まちづくり指標の達成度

◇地元商店街を利用している市民の割合

<全体>

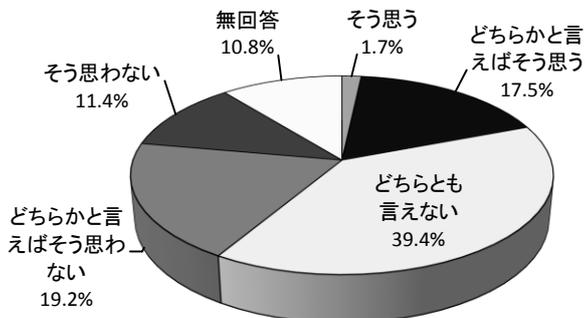


<属性別>

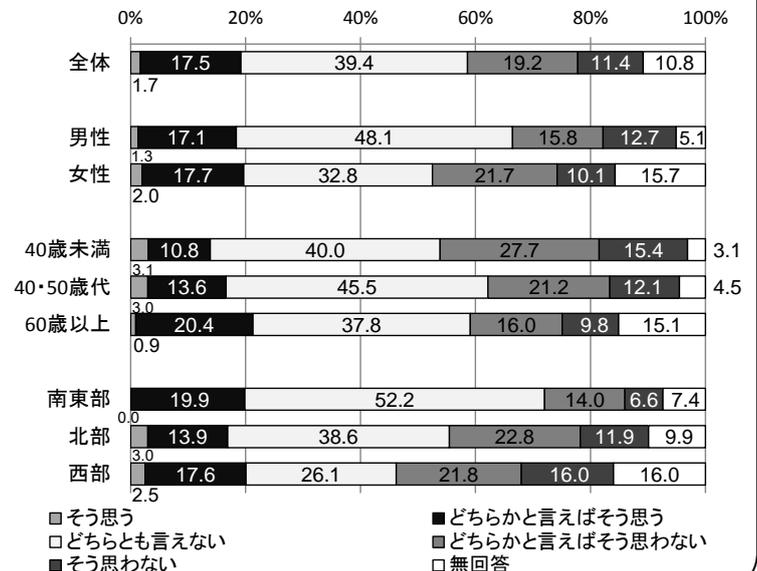


◇市内の産業振興への取組が積極的に行われていると思う市民の割合

<全体>



<属性別>



45. 観光

■目指す姿

市に固有の自然、歴史、文化、伝統行事、伝統芸能、産業などの地域資源を活用した観光イベントに参加した市民や来訪者は、座間市に愛着と好感を持つとともに、地域経済の活性化に寄与しています。

■施策の方向

○地域資源を生かした観光振興

○観光協会等の支援

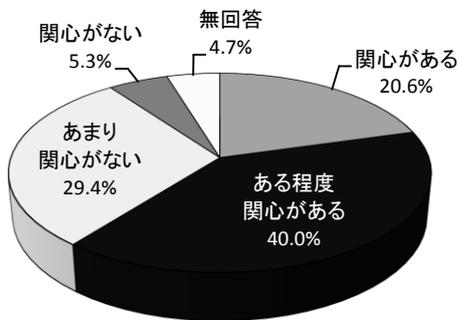
アンケート結果の概要

- ・ 関心度は低く、重要性は比較的低い施策となっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が7割近くを占めています。
- ・ 約4割の人が、市固有の地域資源に触れ、座間市に好感を持っていると回答しており、年齢別ではとくに60歳以上で高い割合となっています。

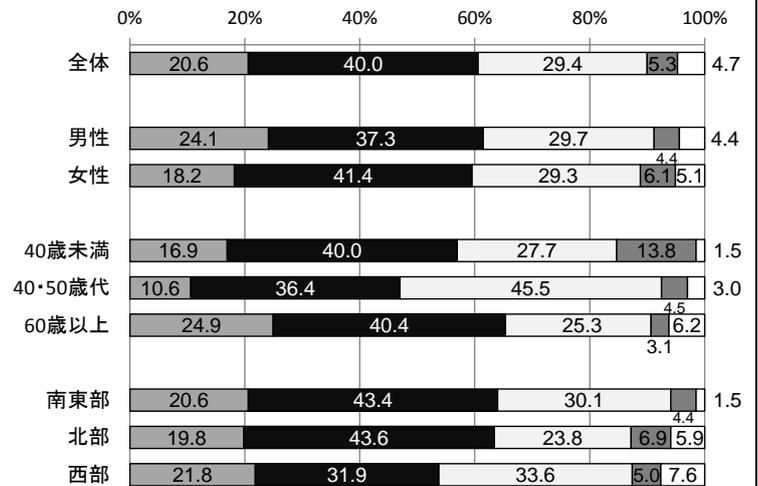
関心度

◇「観光」への関心の有無

<全体>



<属性別>

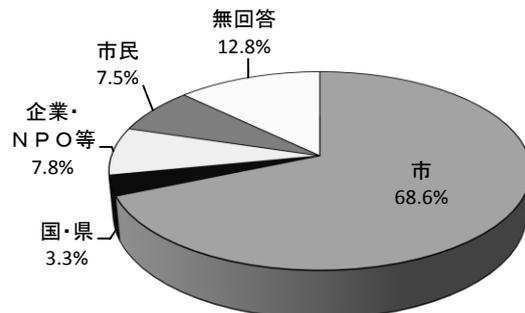


□関心がある ■ある程度関心がある □あまり関心がない ■関心がない □無回答

実現するための主体

◇「観光」の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

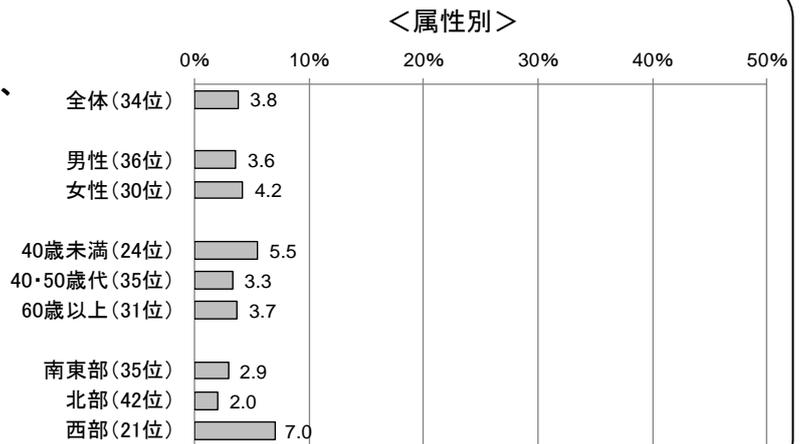


重要性

◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、
充実してほしい施策として「観光」を
選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

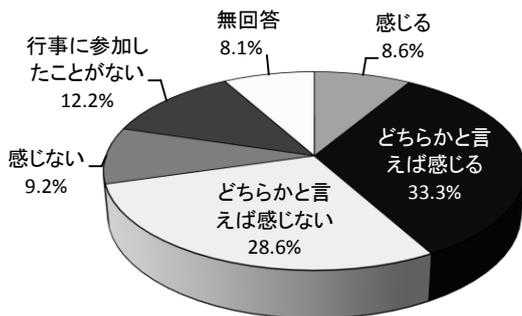
「観光」 52施策中34位 (3.8%)



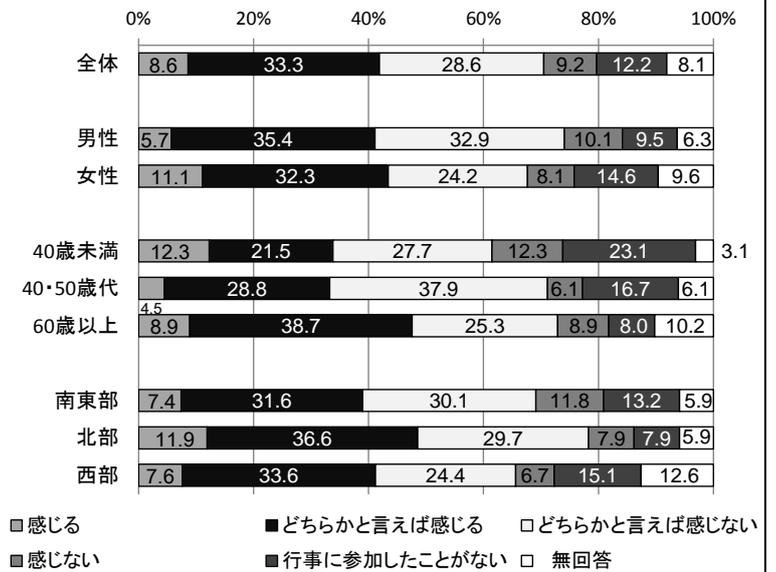
まちづくり指標の達成度

◇市固有の地域資源に触れ、座間市に好感を持つ市民の割合

<全体>



<属性別>



政策 8 未来志向 柔軟な発想 確かな行政経営

46. 戦略経営

■目指す姿

本市では、総合計画を中心として行政評価、予算編成、組織編成及び定員管理が連動し、時代の変化に対応した柔軟で機動性の高い意思決定と実践力の下、経営資源を有効にかつ総合的に活用した行政経営を行い、最少の経費で最大の市民サービスを提供しています。

■施策の方向

- 政策課題への機動的対応
- 行政評価の活用
- 行政改革の推進
- 広域行政の推進
- ファシリティマネジメント（持続可能な公共施設の維持管理）の推進

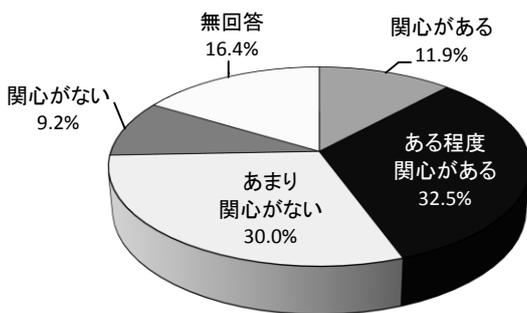
アンケート結果の概要

- ・ 関心度は非常に低く、重要性は低い施策となっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が半数を超えています。
- ・ 簡素で効率的な行政運営が行われていると思う人は、1割台となっており、年齢別では60歳以上で比較的高い割合となっています。

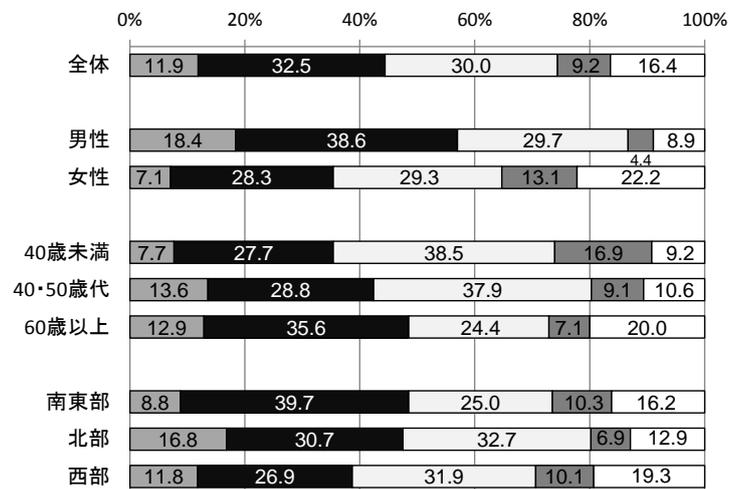
関心度

◇「戦略経営」への関心の有無

<全体>



<属性別>

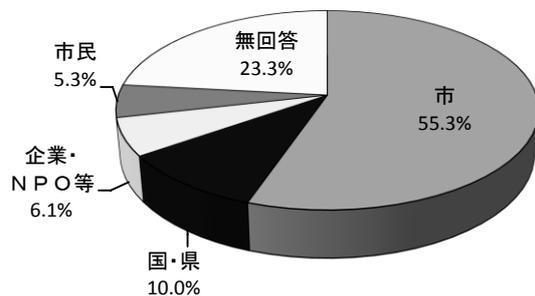


□関心がある ■ある程度関心がある □あまり関心がない ■関心がない □無回答

実現するための主体

◇「戦略経営」の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

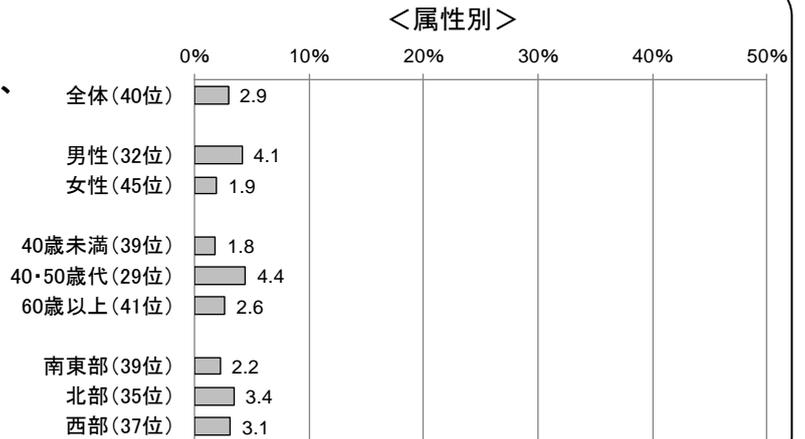


重要性

◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、
充実してほしい施策として「戦略経営」
を選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

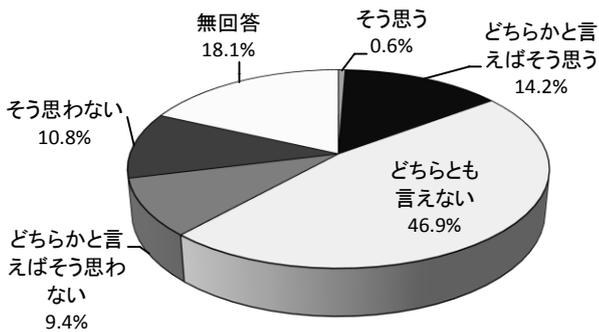
「戦略経営」 52施策中40位 (2.9%)



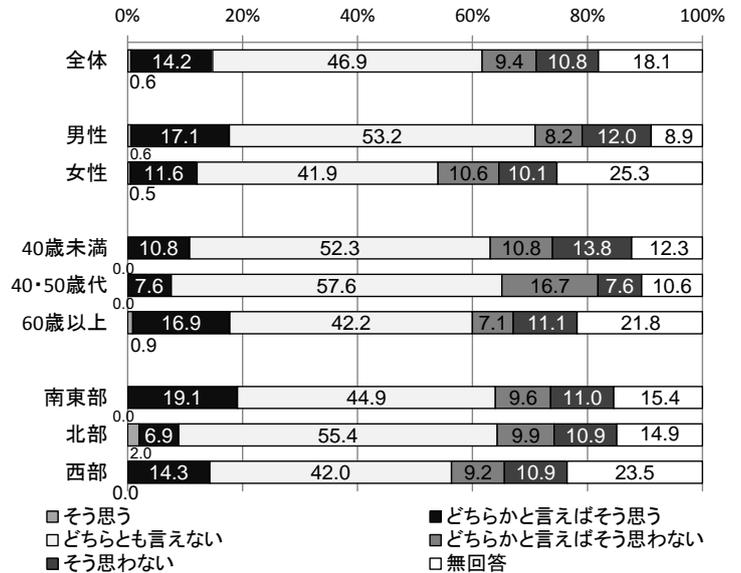
まちづくり指標の達成度

◇簡素で効率的な行政運営が行われていると思う市民の割合

<全体>



<属性別>



47. 財政運営

■目指す姿

将来にわたる財政基盤の強化及び効率的な財政運営を図るため、自主財源及び依存財源の確保はもとより、経常経費の抑制、財源の有効配分や債務の解消を確実にし、所有する財産の適切な管理を行う中で経営資源の有効な活用を図り、常に次世代に説明責任を果たすことができます。

■施策の方向

○効率的・機動的予算事務

○財政情報の公表

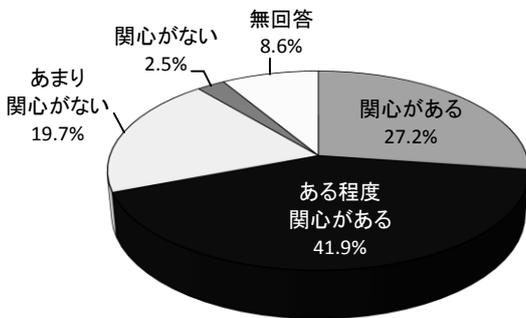
アンケート結果の概要

- ・ 関心度、重要性ともに比較的低い施策となっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が7割近くを占めています。
- ・ 健全な財政運営に向けて取り組んでいると思う人は2割台となっており、年齢別ではとくに60歳以上で高い割合となっています。

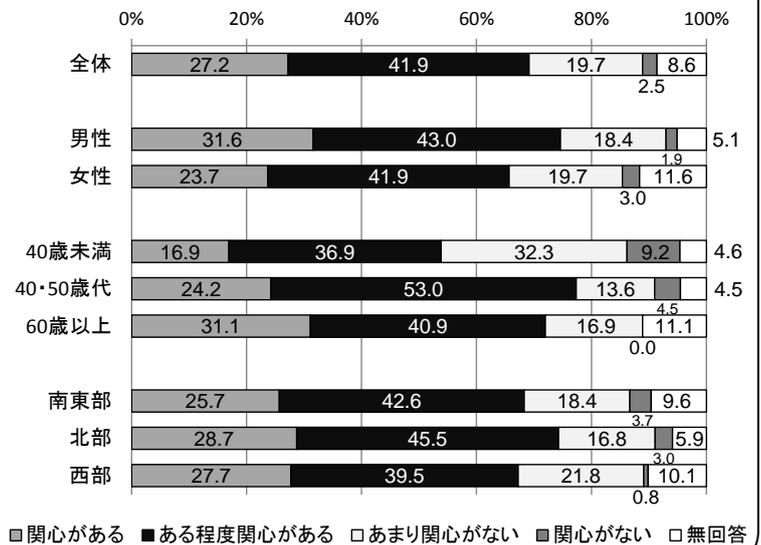
関心度

◇「財政運営」への関心の有無

<全体>



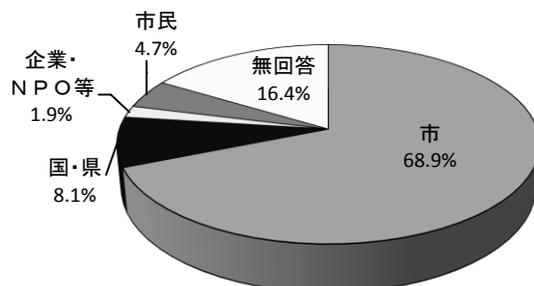
<属性別>



実現するための主体

◇「財政運営」の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

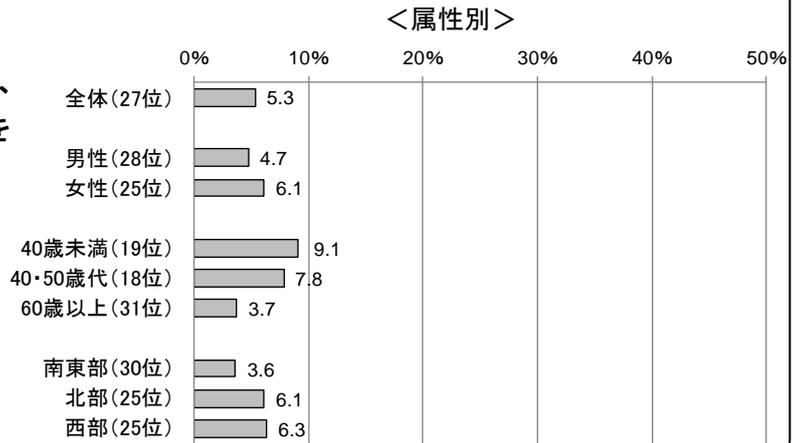


重要性

◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、
充実してほしい施策として「財政運営」を
選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

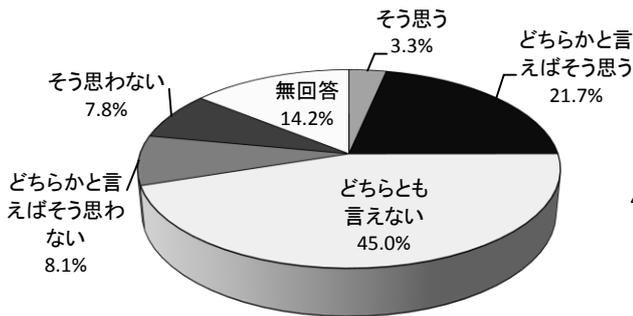
「財政運営」 52施策中27位 (5.3%)



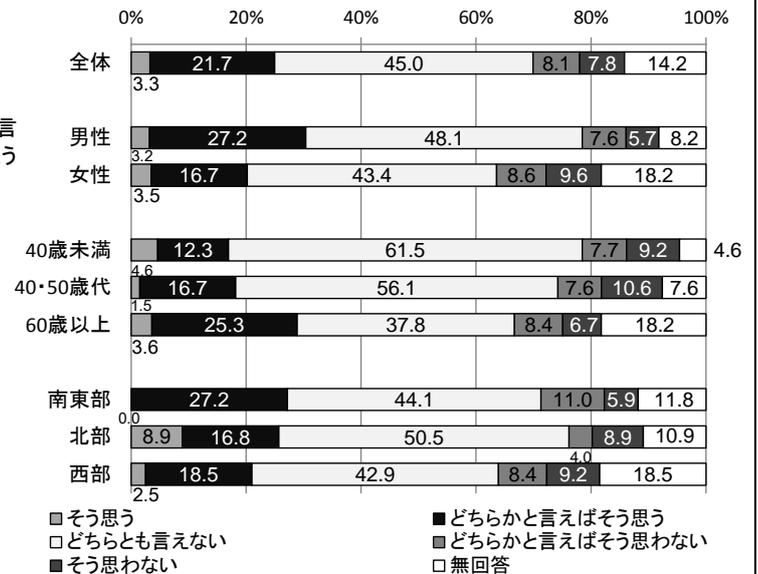
まちづくり指標の達成度

◇健全な財政運営に向けて取り組んでいると思う市民の割合

<全 体>



<属性別>



48. 賦課・徴収

■ 目指す姿

市民は、市が公平かつ的確な賦課、徴収を行っていると感じています。

■ 施策の方向

○ 公平かつ適正な課税

○ 市税徴収

○ 市税申告・納税環境の充実

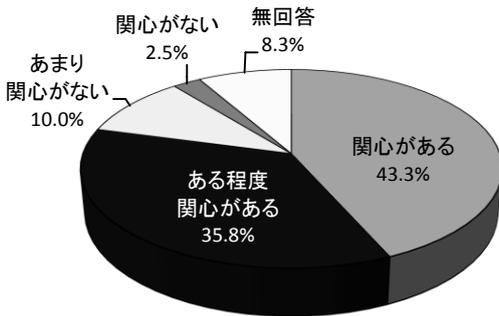
アンケート結果の概要

- ・ 関心度は高く、重要性は比較的高い施策となっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が6割近くを占めています。

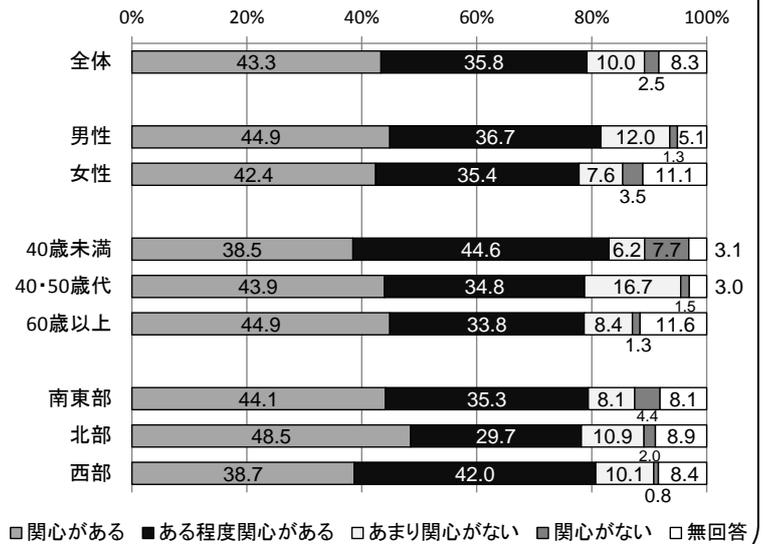
関心度

◇ 「賦課・徴収」への関心の有無

< 全 体 >

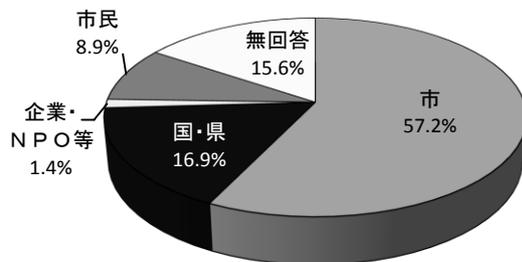


< 属性別 >



実現するための主体

◇ 「賦課・徴収」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



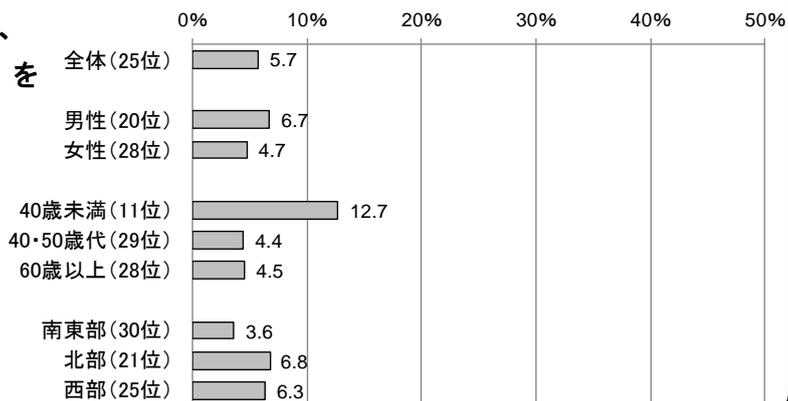
重要性

<属性別>

◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、
 充実してほしい施策として「賦課・徴収」を
 選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

「賦課・徴収」 52 施策中 25 位 (5.7%)



政策 9 市民起点 的確な判断と行動 信頼される行政運営

49. 職員育成

■目指す姿

座間市の職員は、地域主権社会において、中長期的展望を踏まえた行動目標を持ち、直面する課題解決に対し自ら考え、自ら行動しています。また、協働社会において、ニーズを的確に把握する中で、快適な市民サービスの提供を実践しています。

■施策の方向

- 職員研修の充実
- 適正な人事配置
- 服務規律の遵守徹底
- 職員の健康管理
- 職員給与の適正管理

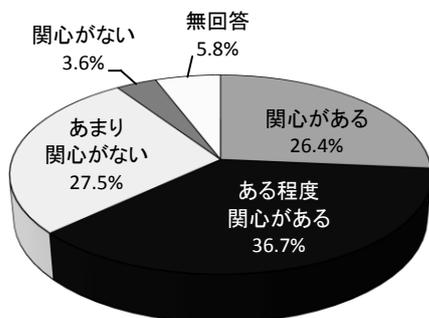
アンケート結果の概要

- ・ 関心度は低く、重要性は比較的低い施策となっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が8割近くを占めています。
- ・ 市職員の接遇には、4割程度の方がよい印象を持っています。

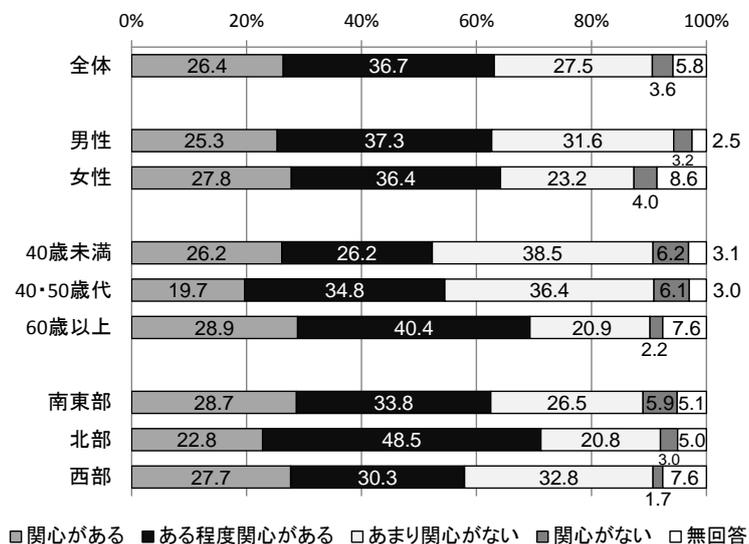
関心度

◇「職員育成」への関心の有無

<全体>



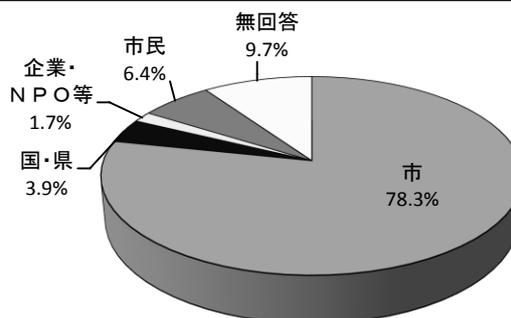
<属性別>



実現するための主体

◇「職員育成」の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

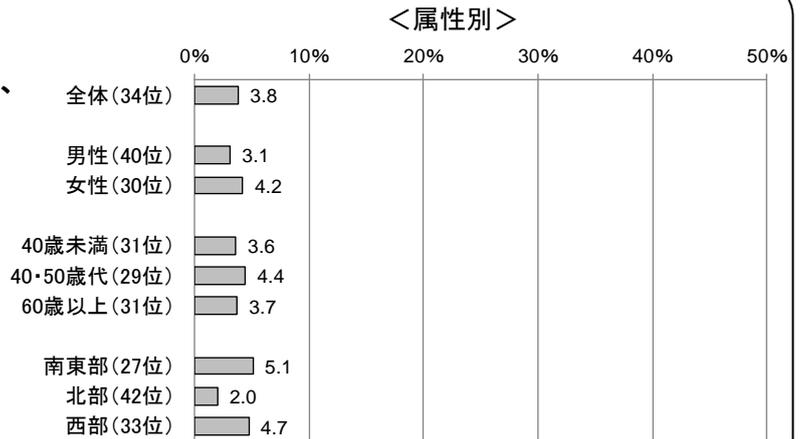


重要性

◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、
充実してほしい施策として「職員育成」
を選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

「職員育成」 52施策中34位 (3.8%)

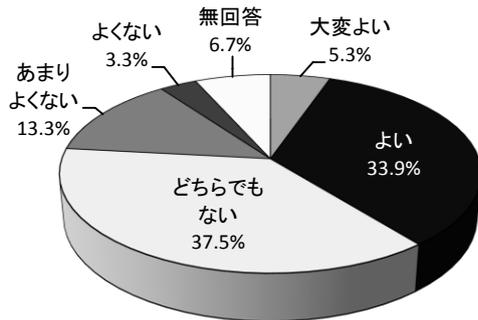


まちづくり指標の達成度

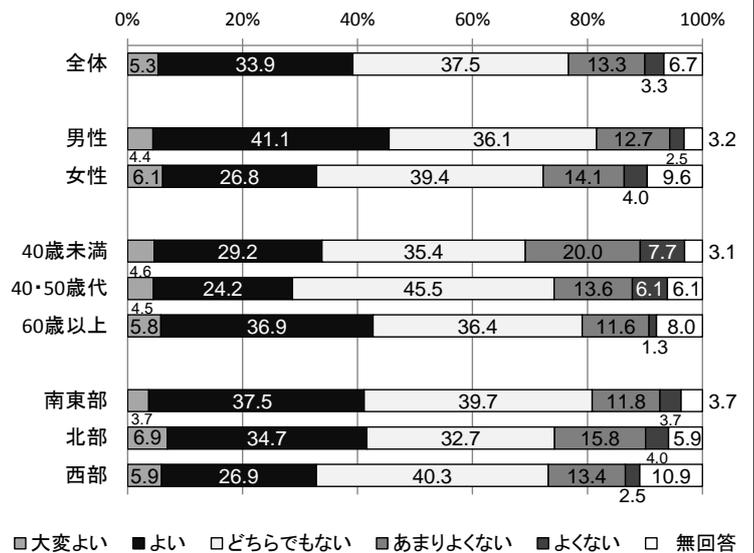
◇市職員の待遇（対応）に満足できる市民の割合

(あなたは、市職員の待遇（対応）にどのような印象を持ちますか?)

<全体>



<属性別>



50. 法務・情報公開

■目指す姿

本市では、条例や規則などが整備され、適切で透明性の高い行政経営が行われており、市民から信頼されています。

市民は、行政が保有する様々な情報の中から必要となる情報をより簡単に入手し、活用しています。

■施策の方向

- 体制整備と情報提供の推進
- 人材育成
- 適切な文書管理
- 個人情報保護の取組み
- 情報公開条例等の適正運用

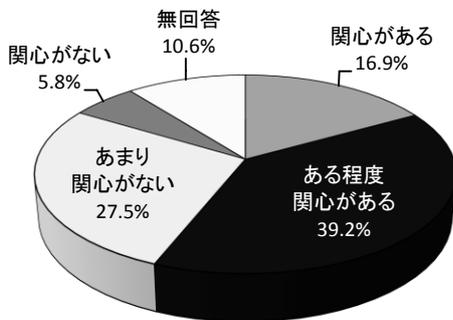
アンケート結果の概要

- ・ 関心度、重要性ともに非常に低い施策となっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が半数近くを占め、国・県が2割程度となっています。

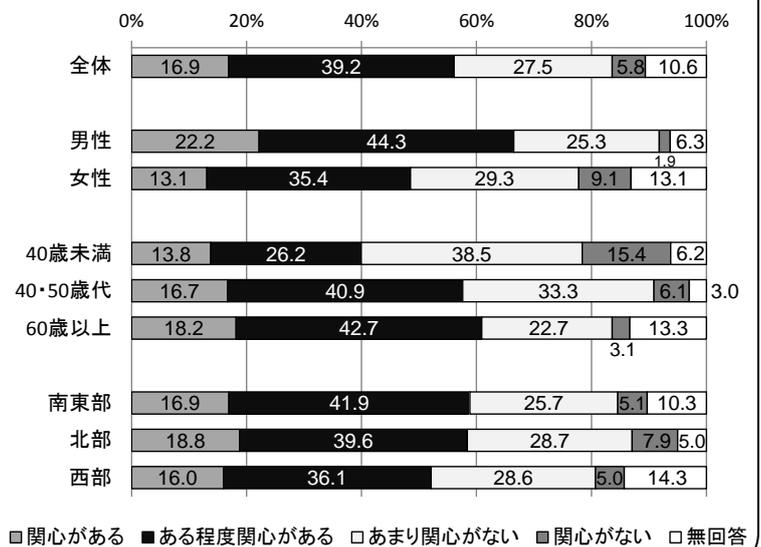
関心度

◇「法務・情報公開」への関心の有無

<全体>

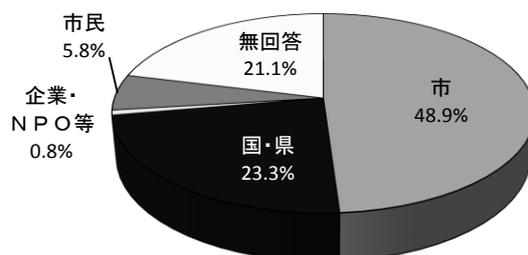


<属性別>



実現するための主体

◇「法務・情報公開」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



重要性

<属性別>

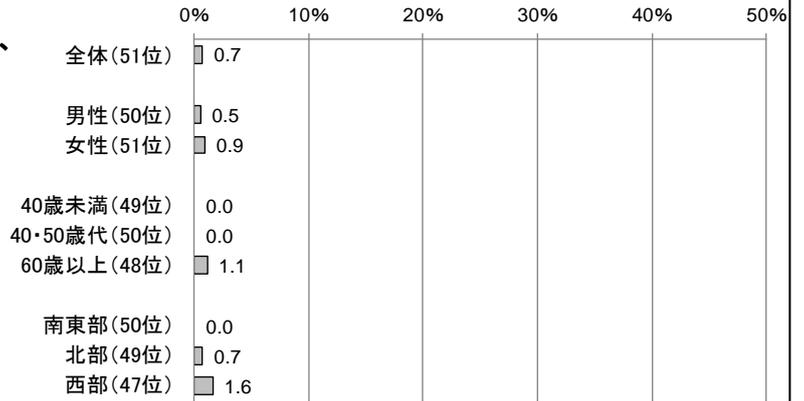
◇座間市が取り組んでいる 52 の施策の中で、
 充実してほしい施策として

「法務・情報公開」を選んだ市民の割合

※52 の施策から 5 つまで選択

「法務・情報公開」

52 施策中 51 位 (0.7%)



51. 電子自治体

■目指す姿

本市では、ICT（情報通信技術）と情報機器を活用し、情報システムの最適化が図られ、市民サービスの向上や行政事務の効率化を進める一方で、情報セキュリティが厳格に守られています。

■施策の方向

- 電子自治体化計画の推進
- 情報機器等の維持管理及びシステムの開発保守
- 情報セキュリティ対策の実施

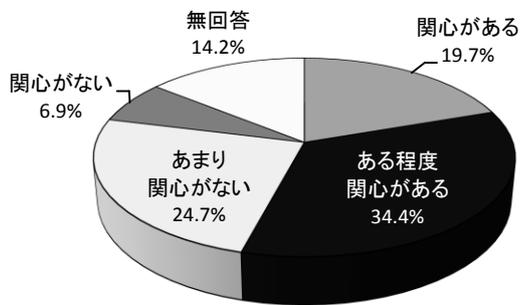
アンケート結果の概要

- ・ 関心度、重要性ともに非常に低い施策となっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が4割台で、国・県が2割程度となっています。

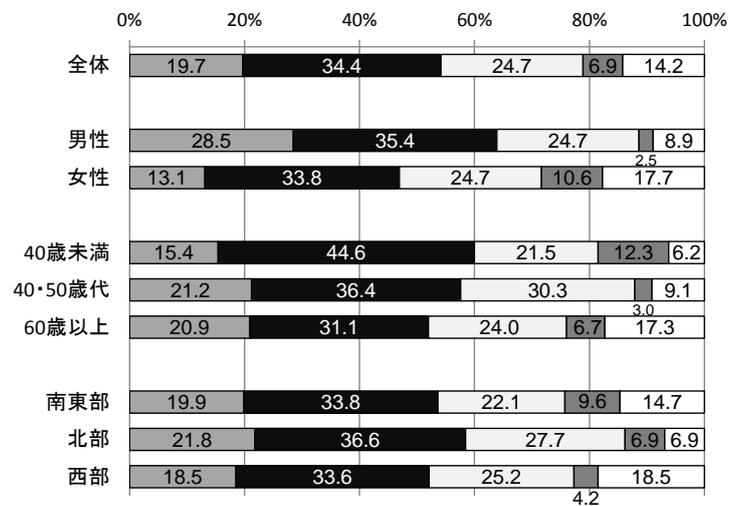
関心度

◇「電子自治体」への関心の有無

<全体>



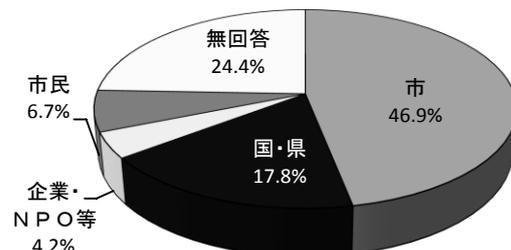
<属性別>



□関心がある ■ある程度関心がある □あまり関心がない ■関心がない □無回答

実現するための主体

◇「電子自治体」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



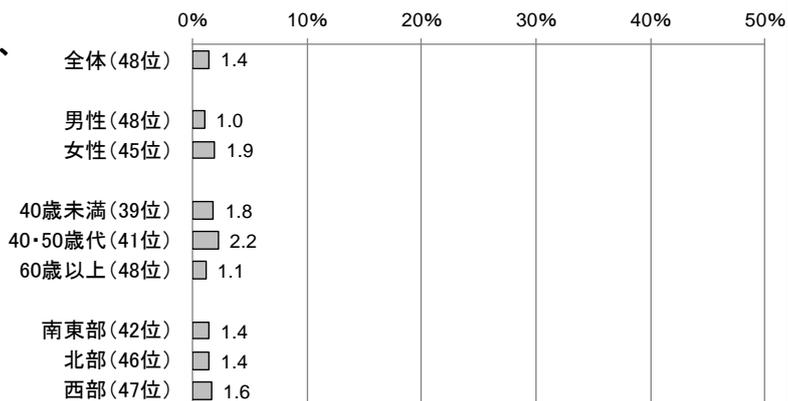
重要性

<属性別>

◇座間市が取り組んでいる 52 の施策の中で、
 充実してほしい施策として「電子自治体」
 を選んだ市民の割合

※52 の施策から 5 つまで選択

「電子自治体」 52 施策中 48 位 (1.4%)



52. 財務・財産管理

■目指す姿

市有財産を利用者の視点に立ち適切に維持管理するとともに、効率的で的確な会計処理、契約や検査を行っていることで、市民に信頼されています。

■施策の方向

- 公有財産管理システムの構築
- 市庁舎設備等の計画的更新
- 公用車の適正管理
- エネルギー使用量の削減対策
- 契約事務
- 適正な審査出納

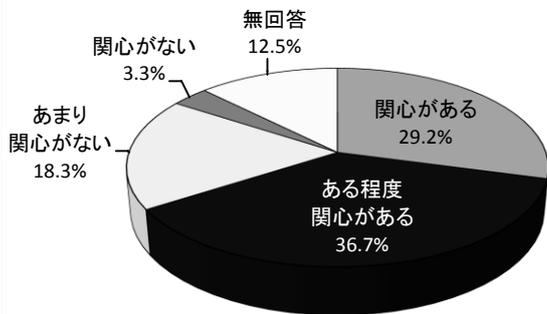
アンケート結果の概要

- ・ 関心度は比較的低い、重要性は低い施策となっています。
- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が6割近くとなっています。

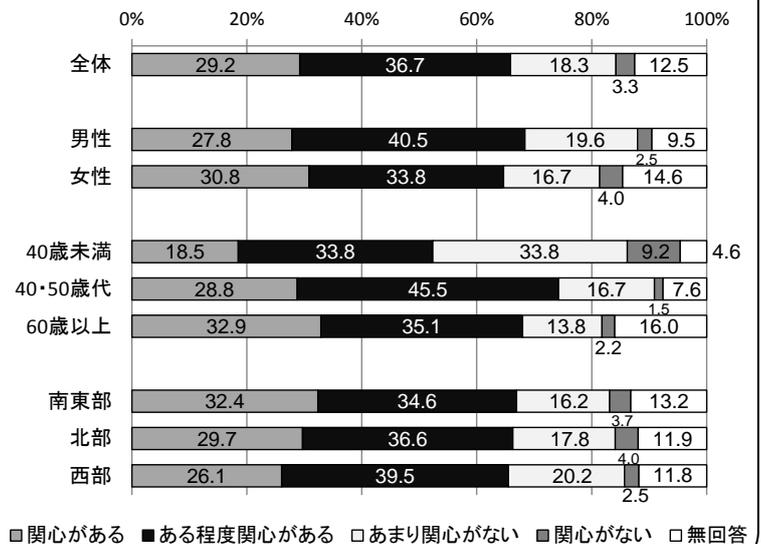
関心度

◇「財務・財産管理」への関心の有無

<全体>

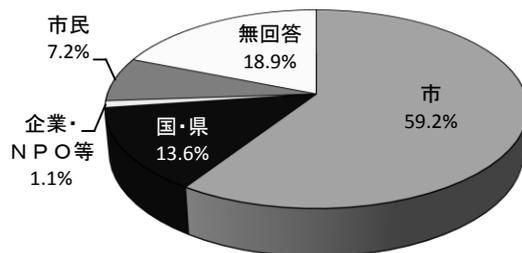


<属性別>



実現するための主体

◇「財務・財産管理」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



重要性

<属性別>

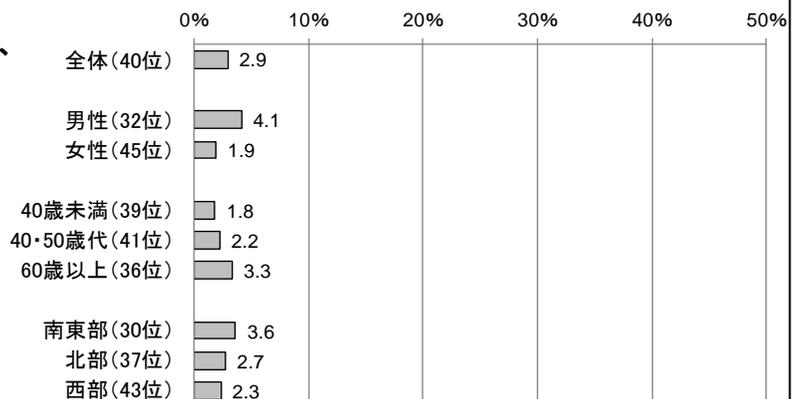
◇座間市が取り組んでいる52の施策の中で、
充実してほしい施策として

「財務・財産管理」を選んだ市民の割合

※52の施策から5つまで選択

「財務・財産管理」

52施策中40位(2.9%)



5 アンケート調査票



まちづくりのための 市民アンケート調査

質問票兼回答票



市のシンボルマーク(平成3年4月1日制定)
座間の頭文字Zをモチーフに、中央のラインは市内を流れる3つの川を、だ円は太陽と豊かな自然を表したものです。

A

あなた自身のことについておうかがいします。

次の各項目について、あなたにあてはまる番号を1つ○で囲んでください。

ア あなたの性別はどちらですか。

- 1 男性 2 女性

イ あなたの年齢はおいくつですか。

- 1 19歳以下 2 20歳代 3 30歳代 4 40歳代
5 50歳代 6 60歳代 7 70歳以上

ウ あなたは座間市にどのくらいお住まいですか。

- 1 1～5年未満 2 5～10年未満 3 10～20年未満
4 20年以上

エ あなたのお住まいの地域はどこですか。

- | | | |
|----------|--------|--------|
| 1 入谷 | 2 栗原 | 3 栗原中央 |
| 4 小松原 | 5 相模が丘 | 6 さがみ野 |
| 7 座間 | 8 新田宿 | 9 相武台 |
| 10 立野台 | 11 西栗原 | 12 東原 |
| 13 ひばりが丘 | 14 広野台 | 15 緑ヶ丘 |
| 16 南栗原 | 17 明王 | 18 四ツ谷 |

B

座間市では、第四次座間市総合計画（計画期間平成23年度～32年度）により、次の施策に取り組んでいます。これらの中で、充実してほしい分野について、5つまで施策番号を選んで、番号に○を付けてください。

施策番号	施策名称	施策の概要
1	健康づくり	・健康づくり事業の啓発 ・母子保健の充実 ・生活習慣病予防対策 ・市民健康センターの運営 ・関係団体の育成
2	保健衛生	・予防接種の推進 ・感染症の知識普及 ・感染症の医療体制の構築 ・食中毒予防運動の推進 ・動物愛護思想の啓発 ・献血の推進 ・広域大和斎場の管理運営 ・薬物乱用防止 ・衛生環境の保全
3	スポーツ・レクリエーション	・施設の整備・充実 ・生涯スポーツの推進 ・指導者・団体の育成 ・地域の活動場所の確保 ・情報提供 ・総合運動施設の調査研究
4	医療体制	・適正受診の啓発 ・広域救急医療体制の推進と充実 ・休日急患センターの管理運営 ・各種医療費の助成 ・災害時医療体制の充実
5	国民健康保険	・医療費の適正化 ・保険税収納の確保 ・国民健康保険制度の運用
6	介護保険	・介護保険制度の運営 ・介護サービスの適切提供 ・情報や相談の提供体制の整備 ・介護予防対策の充実 ・地域全体で支える体制の構築 ・高齢者虐待防止対策の推進
7	地域・高齢者福祉	・地域の協力体制の構築 ・ボランティアの育成 ・福祉意識の普及啓発 ・高齢者の就労と生きがい対策 ・在宅高齢者の自立支援 ・高齢者の日常生活支援 ・福祉施設の維持管理 ・災害時の要援護者支援システム構築 ・福祉団体の地域活動支援
8	障がい者福祉	・障がい者援護施設等の支援 ・地域福祉ネットワークの整備 ・生活用具等の援助 ・在宅福祉サービスの推進 ・障がい者の健康維持・生活安定 ・障がい者の文化・スポーツ活動の推進 ・障がい者福祉の啓発 ・権利擁護等の事業促進 ・自殺対策事業の推進 ・障がい者の就労支援 ・災害時の要援護者支援システム構築
9	保育対策	・保育園等の施設定員確保 ・保育内容の充実と保護者支援 ・私立保育園の支援 ・私立保育園との連携 ・小学校との情報連携強化 ・児童の健全育成
10	子育て支援	・児童の生活保障の支援 ・児童ホームの運営 ・ひとり親家庭の支援 ・子育てしやすい地域環境の整備
11	生活困窮対策	・生活保護世帯等の自立支援 ・生活安定支援
12	市政広報	・広報活動の展開 ・情報提供体制の充実
13	市民生活・広聴	・消費生活センター機能の充実 ・消費生活情報の提供 ・質的向上の啓発 ・消費者団体の支援 ・相談体制の充実 ・市民要望等の把握
14	男女共同参画	・性別役割分担意識の解消 ・女性の市政等への参画促進 ・DV被害者の支援 ・ワーク・ライフ・バランスの推進 ・各種団体との連携・支援 ・男女共同参画推進協議会等の運営
15	人権・平和	・人権啓発活動の推進 ・人権相談体制の充実 ・核兵器廃絶への取り組み
16	NPO・ボランティア活動	・市民活動サポートセンターの機能充実 ・市民の公益的活動支援
17	コミュニティ活動	・地域コミュニティのリーダー育成 ・コミュニティ施設の維持管理 ・地域活動等の支援
18	市民参画	・市民参画機会の充実 ・パートナーシップの推進
19	国内外交流	・市民による交流活動の支援 ・交流活動団体等の育成 ・居住外国人への庁内体制づくり
20	窓口サービス	・職員スキルの向上と人材確保 ・窓口サービスの充実
21	交通安全	・交通安全施設の整備 ・路上駐車対策の推進 ・交通安全教育と啓発
22	防犯	・市民・警察等との連携 ・防犯活動・防犯組織の充実 ・防犯活動団体の育成 ・防犯設備の整備 ・犯罪情報等の提供
23	防災・減災	・各種防災機材等の維持・更新 ・防災体制の整備 ・災害対応等の知識・技術の普及啓発 ・災害情報等の収集・提供
24	消防	・消防施設等の整備・充実 ・消防の広域化・共同化 ・職員の資質向上 ・水防対策の推進
25	教育環境	・安全・快適な教育施設環境の確保 ・情報機器等の整備 ・多面的な教育振興 ・教育センターの調査研究 ・教育委員会の運営
26	学校保健	・健康管理の実施 ・環境衛生の維持・改善 ・給食の施設・設備の充実 ・教職員の福利厚生事業の支援 ・保護者の経済的負担軽減

施策番号	施策名称	施策の概要
27	教育活動	・教育指導の計画的実施 ・地域連携による学校づくり ・児童生徒に適した指導・支援 ・情報化・国際化教育の推進 ・調査研究や研修講座の充実 ・教育相談体制の充実
28	生涯学習	・学習機会と拠点施設の充実 ・学習環境の整備 ・市民自主企画講座の支援 ・生涯学習活動指導者の養成 ・生涯学習施設運営への市民参加推進
29	市民文化	・文化施設の整備・維持管理及び運営 ・市民の文化活動支援 ・歴史・伝統文化の保存と継承
30	青少年育成	・青少年施設の充実 ・ボランティアの育成等の支援 ・青少年健全育成諸団体との連携 ・青少年相談業務の充実 ・青少年の健全化活動
31	公共交通	・輸送力強化の促進 ・総合交通体系の整備
32	まちづくり	・土地利用の規制・誘導 ・住居表示の推進 ・地域のまちづくりの推進 ・鉄道による市域分断解消 ・地域拠点計画づくりの推進 ・座間西部地域土地利用方針の具体化 ・栗原東部地域土地利用方針の策定
33	景観形成	・景観特性を生かしたまちづくり
34	公園・広場・緑地	・公園・広場等の整備 ・協働による維持管理 ・緑地・樹木地等の確保と保全 ・緑化意識の高揚
35	道路	・都市計画道路の整備 ・道路等の整備・維持管理 ・狭あい道路の解消 ・うるおいのある道路空間創出 ・橋りょうの長寿命化対策 ・景観等に配慮した橋りょう整備
36	住宅環境	・耐震診断・改修の普及啓発 ・建築指導の推進 ・市営住宅の居住環境確保 ・急斜面地/パトロール事業の推進 ・営繕業務の事務効率化
37	基地対策	・返還に関する取組み ・負担軽減策等の履行要請 ・返還土地の有効利用検討 ・基地周辺対策の充実強化
38	上水道	・上水道事業の健全運営 ・環境保全への貢献 ・水道水の安定供給
39	下水道	・雨水対策事業の推進 ・下水道施設の整備・維持管理 ・下水道事業の健全経営
40	環境保全	・協働による環境保全 ・公害防止対策の推進
41	湧水・地下水保全	・地下水のかん養と管理 ・地下水・土壌の汚染防止
42	資源循環社会	・ごみ減量・分別等の啓発 ・資源物の有効利用 ・収集体制の整備 ・不法投棄対策
43	農業	・農地の有効利用・規模拡大 ・経営改善・地産地消の支援 ・農業生産基盤の整備
44	商・工業	・商工業の活性化促進 ・事業者間の連携促進 ・雇用・福利厚生への支援
45	観光	・地域資源を生かした観光振興 ・観光協会等の支援
46	戦略経営	・政策課題への機動的対応 ・行政評価の活用 ・行政改革の推進 ・広域行政の推進 ・ファンリティマネジメント(持続可能な公共施設の維持管理)の推進
47	財政運営	・効率的・機動的予算事務 ・財政情報の公表
48	賦課・徴収	・公平かつ適正な課税 ・市税徴収 ・市税申告・納税環境の充実
49	職員育成	・職員研修の充実 ・適正な人事配置 ・服務規律の遵守徹底 ・職員の健康管理 ・職員給与の適正管理
50	法務・情報公開	・体制整備と情報提供の推進 ・人材育成 ・適切な文書管理 ・個人情報保護の取組み ・情報公開条例等の適正運用
51	電子自治体	・電子自治体化計画の推進 ・情報機器等の維持管理及びシステムの開発保守 ・情報セキュリティ対策の実施
52	財務・財産管理	・公有財産管理システムの構築 ・市庁舎設備等の計画的更新 ・公用車の適正管理 ・エネルギー使用量の削減対策 ・契約事務 ・適正な審査出納

C

座間市では、総合計画の下に、市民が市政に取組みを期待する最重要課題についての重点目標として戦略プロジェクト(平成23年度～平成26年度)に取り組んでいます。

これらの中で、充実してほしい分野を2つ選んで、番号に○を付けてください。

番号	戦略プロジェクト	説明
1	ボランティア等と協働し、地域を元気にします	第四次総合計画の基本構想では、地域主権時代を迎える中で、市が総合計画を着実に実施していくためには、協働の仕組みを作っていくことが不可欠としています。 そこで、①高齢者の自立した暮らしの応援、②ボランティアが活躍できる環境の整備、③自治会の活性化に向けた支援、に取り組む、ボランティアや自治会の皆さんと協働で地域を元気にしていきます。
2	保育園(私立を含む)の建替えを進めます	少子化が進む中で、親が子どもを育てながら働き続けられる環境を整備するため、老朽化した保育園の建替えを進めます。 その際、施設規模を拡大して、定員を増やし、待機児童の解消を図るとともに、延長保育、休日保育、一時保育等のメニューを加え、保育サービスの選択肢を増やします。 また、こうした建替えを効率的、効果的に実施するため、条件の整ったものから、一部の市立保育園の民営化を図ります。
3	地球温暖化防止に協働で取り組みます	地球温暖化については、人類の生存にかかわる脅威と言われていますが、その原因である温室効果ガス排出量の削減につながるのは、市民一人ひとりの行動ですので、地球規模の課題解決に地域を挙げて取り組む必要があります。 そこで、①地球環境に配慮したライフスタイルへの転換、②地球に優しい「座間っ子」を育成に取り組んでいきます。
4	住民と協働により相模が丘仲よし小道を再生します	相模が丘地域には緑道として通称「仲よし小道」があり、市民の皆さんに親しまれ愛され、桜の名所となっておりますが、桜の老木化に伴い風雨による倒木が危惧され、将来を考えなければならない時期となっております。 そこで、市民団体及び各自治会等と協働で策定した再生計画に基づき、事業を実施します。
5	ひまわりまつりを観光の重点事業に位置づけ、市の観光事業に道筋をつけます	「座間のひまわり」は首都圏で有数の植栽面積を誇り、開花時期に合わせ、ひまわりまつりを開催しています。 このひまわりまつりを市のイメージアップイベントとしてさらに充実を図り、利便性、快適性を高め集客力を向上させ、来訪者と市民の皆さんとの交流の輪を広げるとともに、農産物、特産品等を取り揃え販路拡大による地産地消を推進し、観光の重点事業に高めます。 ひまわりまつりをモデルとして、観光協会等の関係団体との連携やその仕組みであるサポートシステムを確立し、他の観光事業にも活用する中でレベルを高めて、市の観光事業に道筋をつけます。
6	公共施設の利活用指針を定め、身の丈に合った良質な資産として、次世代に引き継ぎます	本市にはその時々ニーズに応じて設置してきた公共施設が多数存在し、施設更新時には大きな財政負担が想定されており、良好な施設サービスを提供していくためには、持続可能な施設水準に再編するとともに、建物自体の長寿命化を図ることが不可欠です。 そこで、こうした課題に公共施設利活用指針を定めて取り組み、身の丈にあった良質な資産として次世代に引き継ぐことを目指します。
7	まちづくりの骨格である東西軸として座間南林間線を整備します	座間南林間線は、市の中央部を横断する東西軸とし、まちづくりの重要な骨格として位置づけられています。 また、相模川西岸に整備中の圏央道が完成すると圏央厚木インターへのアクセス道路としても重要な道路となります。 しかし、市役所付近(市道17号線)から県道42号相模原茅ヶ崎に至る1.6km区間が未整備となっており、早急な整備が必要であることから取り組みます。

座間市では、新たに平成27～30年度を期間とした戦略プロジェクトを策定予定です。戦略プロジェクトの策定の参考にしますので、市政に取組みを期待する最重要課題について、ご意見・ご要望がありましたらお書きください。

1 「健康づくり」

についておうかがいがいします。

座間市では、第四次座間市総合計画（計画期間平成23年度～32年度）により、次の施策に取り組んでいます。

施策「健康づくり」の概要

- 健康づくり事業の啓発
- 母子保健の充実
- 生活習慣病予防対策
- 市民健康センターの運営
- 関係団体の育成

【設問】施策の概要を参考にしながら、ご回答ください。

※回答はすべて回答票 **A** に記入してください。

なお、質問の内容が分からない場合は、空欄のままにしてください。

①あなたは、「健康づくり」の施策について関心がありますか？

- 1 関心がある 2 ある程度関心がある 3 あまり関心がない
4 関心がない

②あなたは、運動習慣（1回30分、週2回、1年以上運動を継続している）がありますか？

- 1 ある 2 運動習慣まではいかないが3ヶ月以上運動を続けている 3 ない

③座間市では、健康づくりのイベントや健康教育の実施などにより、運動習慣を持つ人が多くなってきていると感じますか？

- 1 そう思う 2 どちらかと言えばそう思う 3 どちらとも言えない
4 どちらかと言えばそう思わない 5 そう思わない

④「健康づくり」の実現において、もっとも重要な役割を果たすべきとあなたが考えるものを選んでください。

- 1 市 2 国・県 3 企業・NPO等 4 市民

別冊「まちづくりのための市民アンケート調査質問票」をご覧になって、
あなたの考えにもっともちかいものに○を付けてください。



設問番号 施策名称		①				②					③					④				
		1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
1	健康づくり	1	2	3	4	1	2	3	/	/	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
2	保健衛生	1	2	3	4	1	2	3	4	/	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
3	スポーツ・レクリエーション	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4	/	/	/	/	/	
4	医療体制	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4	/	/	/	/	/	
5	国民健康保険	1	2	3	4	1	2	3	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
6	介護保険	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4	/	/	/	/	/	
7	地域・高齢者福祉	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4	/	/	/	/	/	
8	障がい者福祉	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4	/	/	/	/	/	
9	保育対策	1	2	3	4	1	2	3	4	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
10	子育て支援	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4	/	/	/	/	/	
11	生活困窮対策	1	2	3	4	1	2	3	4	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
12	市政広報	1	2	3	4	1	2	/	/	/	1	2	3	/	/	/	/	/	/	
13	市民生活・広聴	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	/	/	/	1	2	3	4	
14	男女共同参画	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4	/	/	/	/	/	
15	人権・平和	1	2	3	4	1	2	/	/	/	1	2	3	4	/	/	/	/	/	
16	NPO・ボランティア活動	1	2	3	4	1	2	/	/	/	1	2	3	4	5	/	/	/	/	/
17	コミュニティ活動	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4	/	/	/	/	/	



市のシンボルマーク(平成3年4月1日制定)

座間の頭文字 **Z** をモチーフに、中央のラインは
市内を流れる3つの川を、だ円は太陽と豊かな
自然を表したものです。

平成26年度

「まちづくりのための市民アンケート調査」報告書

発行日 平成26年8月
編集・発行 座間市企画財政部企画政策課行政改革係
〒252-8566 座間市緑ヶ丘一丁目1番1号
TEL 046(255)1111 (代表)
FAX 046(255)3550
